第４章 便利な機能
＜暮らしの事典＞

SDメモリーカードについては ☞4-17 ページへ

その他の便利な機能については ☞4-35 ページへ

収録内容について

便利な＜暮らしの事典＞として、「家庭の医学」「栄養と料理」の２種類を搭載しています。

家庭の医学：索引項目　約8,000項目
病気の解説や医学の知識など、収録された項目を参照できます。また、「キーワード検索」機能を使用して、調べたい病名や症状を入力し、関係する項目を検索することもできます。

栄養と料理　朝・昼・夕の献立カレンダー
栄養バランスの取れた１年分毎日の献立を収録しています。また、一日一品をおすすめの料理として、写真とレシピを紹介しています。

お知らせ

- この製品に収録されている内容は、下記の書籍にもとづき編集しています。
  - ·『最新　家庭の医学（第12次改訂版）』時事通信社
    （Copyright © JIJI PRESS, 2003）
  - ·『栄養と料理　朝・昼・夕の献立カレンダー』　女子栄養大学出版部
    （Copyright © Kagawa Education Institute of Nutrition, 2003）
- 上記の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- この取扱説明書の説明用画面は、実際の画面と異なる場合があります。

「家庭の医学」の見かた

「家庭の医学」には、病気についての解説や、医学と健康の知識などが収録されています。先頭ページから順に、調べたい項目を選びながら進みます。また、「キーワード検索」機能を使って、病名や症状などキーワードを入力し、関係する項目を検索することもできます。（☞4-7ページ）

医師の診断を受けて、病名を知ったときはここから見ます。病気の原因、症状、診断、検査法、治療法、予防などについて詳細を知ることができます。子ども・女性・高齢者特有の病気について説明している項目と、頭、胸、腹といったからだの部位別に分類されている項目があります。

子どもの病気／女性の病気／高齢者と病気／こころの病気／妊娠・出産／頭部／胸部／腹部／背骨と手足／全身

ピックアップ **妊娠・出産**

「結婚の医学」「妊娠」「出産」「乳幼児の育て方」といった、これから新たな生命を迎えようとする方に役立つ知識が解説されています。

こんな症状はどんな病気？

症状から病気をみる

自覚症状があらわれたときの不安と疑問に答え、その症状から考えられる病気の見当をつけることができます。症状が局部に限っていないときは「一般的な症状」を、特定部分にあらわれているときは「各部位の症状」を見ます。

見分けかたのめやす／一刻をあらそう症状／一般的な症状／各部位の症状

キーワード検索

病名や症状などキーワードを入力して、関連する項目を検索できます。

知っておきたい知識

医学や医療に関する、知っておきたい知識がまとめられています。病気を予防するための日常の知識や、重要な医学用語の解説、応急手当ての知識などの項目があります。

医師への上手なかかりかた／病気の予防と家庭での健康知識／最新医学の基礎知識／検査の知識と正常値／応急手当て／人体の構造図

ピックアップ **病気の予防と家庭での健康知識**

「病気の予防」では、病気を防ぐ日常生活の注意と、生活習慣病やがんといった病気の危険因子とその取り除きかたを、「介護のしかた」では社会との連携をとりながら家庭でおこなう介護を、「家庭でのリハビリテーション」では病気別にリハビリの方法を具体的に解説しています。

ピックアップ **最新医学の基礎知識**

話題の医療・医学用語を知りたいときにご利用下さい。重要な医学用語や、日進月歩で変化する医学界のトピックスについて知ることができます。５０音順に並んでいますので、気になる話題をすぐに探し出すことができます。

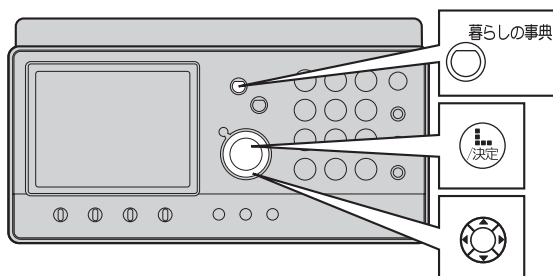
ピックアップ **応急手当て**

病気・事故やけがで一刻をあらそうときに役立つ情報です。人工呼吸や心臓マッサージ、止血など時に生死にかかわるものから軽い外傷の手当てまで、イラストとともにわかりやすく解説しています。とっさの場合、的確な対応をするのはむずかしいものなので、ふだんからこの項をひと通り読んでどこに何が書いてあるのかを知っておくと役に立ちます。

ピックアップ **人体の構造図**

人体の構造・名称を知りたいときに使います。人体のしくみについて詳細なイラストで解説しています。また、各カテゴリーごとに「構造とはたらき」を詳解しています。医師の説明を受けるときに便利です。

ご注意！	ひとつの症状に対して、さまざまな病気や原因がありますので、自己診断は禁物です。必ず早めに医師の診察を受けてください。

知りたい内容を探す

操作のしかた

1 暮らしの事典 を押し、 で“家庭の医学”の「はじめから見る」を選ぶ

<暮らしの事典画面>

● 使いかた を押すと、操作説明が表示されます。

2 決定 を押す

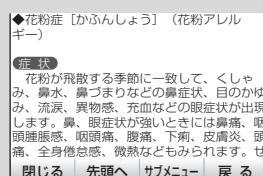
3 で見たい項目を選ぶ

<先頭ページ>

● で1行ずつ、 で1画面ずつ表示を移動します。

4 決定 を押す

5 手順3～4を繰り返して、知りたい内容の詳細を表示する

◆花粉症［かふんしょう］（花粉アレルギー）
症 状
花粉が飛散する季節に一致して、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの鼻症状、目のかゆみ、流涙、異物感、充血などの眼症状が出現します。鼻、眼症状が強いときには鼻痛、咽頭腫脹感、咽頭痛、腹痛、下痢、皮膚炎、頭痛、全身倦怠感、微熱などもみられます。ぜ
閉じる　先頭へ　サブメニュー　戻る

● で1行ずつ表示を移動します。文中に他のページへリンクしている部分や、イラストがあるときは、その部分が選ばれます。

 で1画面ずつ表示を移動します。

■ **先頭ページを表示するときは**

先頭へ を押します。

■ **1つ前の項目一覧を表示するときは**

戻る を押します。

■ **待受画面に戻るときは**

停止 を押します。

■ **前回に見たところの続きを見るときは**

① 暮らしの事典 を押す

② で“家庭の医学”の「前のつづきを見る」を選ぶ

③ 決定 を押す

前回閉じた画面が表示されます。

■ **画面の見かたやサブメニューの使い方は**

「暮らしの事典のおもな操作と画面の見かた」(☞4-12～4-14ページ)、「よく見るページにしおりをはさむ」(☞4-15ページ)をご覧ください。

■ **「栄養と料理」や別の電子ブックを見るときは**

閉じる を押します。暮らしの事典画面が表示されます。

■ **しおりを使うときは（☞4-15ページ）**

■ **文字サイズを変えたり、目次メニューを使うときは（☞4-13ページ）**

■ **プリントするときは（☞4-16ページ）**

お知らせ

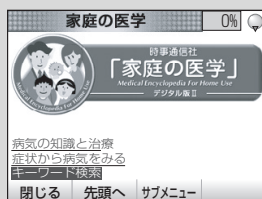
● 「家庭の医学」では、表示の縦書き／横書きを切り替えることはできません。

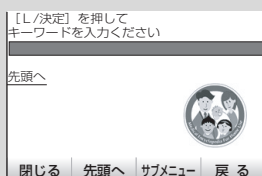
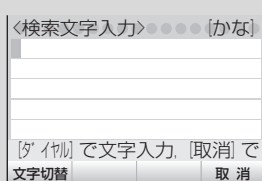
キーワード検索を使う

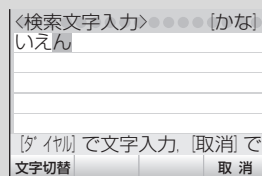
「家庭の医学」では、キーワードを入力し、その言葉を含む項目を検索することができます。

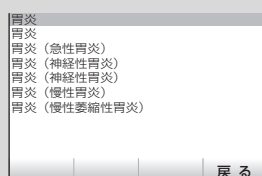
操作のしかた

1 先頭ページを表示し、◎で「キーワード検索」を選ぶ

●先頭ページ以外のページを表示しているときは 先頭へ を押します。

2 (L/決定) を押し、◎ でキーワード入力欄を選ぶ

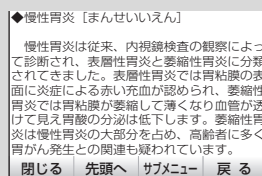
3 (L/決定) を押す

■ **文字を入力するときは**
（☞ 2-26～2-30ページ）

4 検索するキーワードを入力する（漢字は入力できません）

5 入力が終わったら、(L/決定) を押す

●検索結果が表示されます。

6 表示された検索結果から、見たい項目を ◎ で選び、(L/決定) を押して詳細を表示する

◆慢性胃炎［まんせいいえん］

慢性胃炎は従来、内視鏡検査の観察によって診断され、表層性胃炎と萎縮性胃炎に分類されてきました。表層性胃炎では胃粘膜の表面に炎症による赤い充血が認められ、萎縮性胃炎では胃粘膜が萎縮して薄くなり血管が透けて見え胃酸の分泌は低下します。萎縮性胃炎は慢性胃炎の大部分を占め、高齢者に多く胃がん発生との関連も疑われています。

閉じる　先頭へ　ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ　戻 る

「栄養と料理」を使う

「栄養と料理」の見かた

栄養バランスの取れた朝、昼、夕の献立が、「献立カレンダー」として１年分収録されています。一日一品、おすすめの料理を写真とレシピで紹介しています。また、料理の種類からレシピを探すことができます。

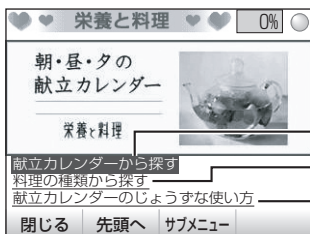
＜先頭ページの内容＞

献立カレンダーから探す

日付を指定して、その日の朝・昼・夕の献立を見たいときにここから探します。

＜例＞３月 24 日の内容

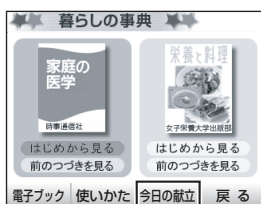
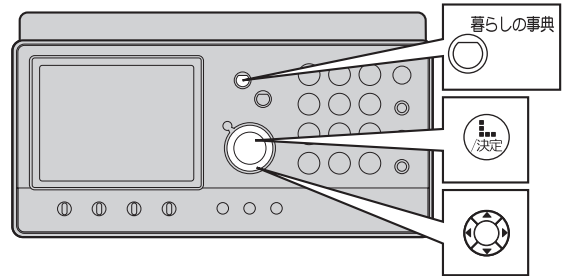
以下の内容は一度には画面に表示されません。
画面をスクロールして見ます。

料理の種類から探す

「卵料理」「牛肉料理」「魚料理」など、料理の種類からレシピを探すことができます。

献立カレンダーのじょうずな使い方

献立カレンダーをじょうずに使っていただくために、使い方などを説明しています。ご利用になるにあたって一度、ご覧ください。

今日の献立を見る

暮らしの事典画面で 今日の献立 0 を押すと、今日１日の献立を見ることができます。

１日の献立やレシピを見る

操作のしかた

1 暮らしの事典 を押し、
で“栄養と料理”の「はじめから見る」を選ぶ

<暮らしの事典画面>

● 使いかた を押すと、操作説明が表示されます。

2 /決定 を押し、
で見たい項目を選ぶ

<先頭ページ>

3 「献立カレンダーから探す」のとき

/決定 を押し、
で見たい「月」を選ぶ

「料理の種類から探す」のとき

/決定 を押し、
で料理の種類を選ぶ

● で１行ずつ、 で１画面ずつ表示を移動します。

4 「献立カレンダーから探す」のとき

/決定 を押し、
で見たい「日」を選ぶ

「料理の種類から探す」のとき

/決定 を押し、
で見たい料理を選ぶ

● で１行ずつ、 で１画面ずつ表示を移動します。

5 /決定 を押す

6 で画面をスクロールしてレシピや献立を見る

● で１行ずつ、 で１画面ずつ表示を移動します。

7 別の内容を見るときは 戻る を押して選び直す

■ **先頭ページを表示するときは**

先頭へ を押します。

■ **前回に見た所の続きを見るときは**

① 暮らしの事典 を押す

② で“栄養と料理”の「前のつづきを見る」を選ぶ

③ 決定 を押す

前回閉じた画面が表示されます。

■ **「今日」の献立やレシピを見るときは**

暮らしの事典画面で 今日の献立 を押します。

親機で設定されている今日の日付の内容が表示されます。親機の日付・時刻設定（☞ 1-22〜1-23ページ）を正しく行ってください。

「栄養と料理」の画面で サブメニュー を押し、 で「今日の献立」を選んで 決定 を押しても見ることができます。

■ **待受画面に戻るときは**

停止 を押します。

■ **「家庭の医学」や別の電子ブックを見るときは**

閉じる を押します。暮らしの事典画面が表示されます。

■ **しおりを使うときは（☞ 4-15ページ）**

■ **文字サイズを変えるときは（☞ 4-13ページ）**

■ **プリントするときは（☞ 4-16ページ）**

■ **画面の見かたやサブメニューの使い方は**

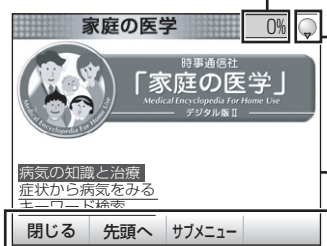
「暮らしの事典のおもな操作と画面の見かた」（☞ 4-12〜4-14ページ）、「よく見るページにしおりをはさむ」（☞ 4-15ページ）をご覧ください。

お知らせ

● 「栄養と料理」では表示の縦書き／横書きを切り替えることはできません。

暮らしの事典のおもな操作と画面の見かた

画面表示とボタン操作

＜画面表示について＞

表示中の画面が、ブック全体のどのあたりにあるか示しています。

表示されている方向に を押して画面を切り替えることができます。

で選択できる項目は、決定 を押して詳細な内容を表示することができます。

操作可能なソフトボタンが表示されます。状態によって表示されるボタンは変わります。
操作するときは、表示の下の を押してください。

＜ボタン操作について＞

閉じる …開いている「暮らしの事典」を閉じて、「暮らしの事典画面」に戻ります。（電子ブック（☞4-33ページ）を開いてるときは、閉じる を押すと、電子ブック一覧が表示され、電子ブック一覧で 戻る を押すと、「暮らしの事典画面」に戻ります。）

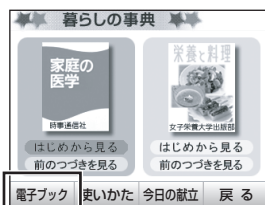
サブメニュー …よく利用するページを登録する（しおり）、特定のページへ移動する、文字の大きさやルビ（ふりがな）の設定をするなどのメニューを表示します。

戻る …画面表示をひとつ前に戻します。

先頭へ …先頭ページを表示します。

決定 … 項目の決定の表示に使います。

停止 … 待受画面に戻ります。

コピー/印刷 … 表示内容を印刷します。（☞4-16ページ）

電子ブック …SDメモリーカード（市販品）に収録されている電子ブックの一覧を表示します。（☞4-33ページ）

キャッチ/消去 L回線断 …暮らしの事典画面で キャッチ/消去 L回線断 を押すと、設定したしおりやフォントなどの情報を消去して、初期状態に戻します。

【画面表示をスクロール（移動）する】

…表示を１行ずつ上へスクロールさせます。

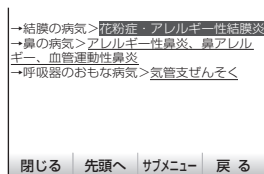
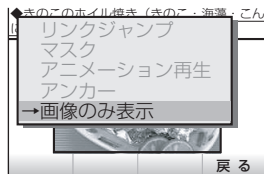
…表示を１行ずつ下へスクロールさせます。

…表示を１画面分ずつ上へスクロールさせます。

…表示を１画面分ずつ下へスクロールさせます。

※縦書きで表示しているときは、 で１画面ごとのスクロール、 で行のスクロールになります。

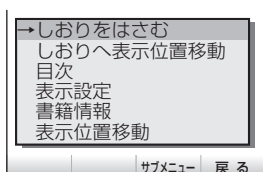
【項目や画像が選ばれているとき】

●表示中の内容に、他のページへリンクしている部分があるときは、その部分が青く反転します。
決定 を押すと、リンクしているページへ移ります。

●表示中の内容に画像があるときは、その画像表示部分が青枠で囲まれます。
決定 を押すと画面メニューが表示されます。
（☞4-14ページ）

文字サイズや横書き／縦書き表示を変える

■ **フォント（文字）の表示サイズを切り替えるには**

「中」または「小」に設定できます。

① サブメニュー を押す

＜サブメニュー＞

「家庭の医学」のときの画面例

サブメニュー表示中に 戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります。

② で「表示設定」を選び、決定 を押す

③ で「フォント」を選び、決定 を押す

④ で「中」または「小」を選び、決定 を押す

■ **電子ブック（☞4-33ページ）のルビ（ふりがな）の有無を切り替えるには**

「あり」または「なし」に設定できます。ルビが設定されている電子ブックの場合は、ルビが表示されます。

① サブメニュー を押す

② で「表示設定」を選び、決定 を押す

③ で「ルビ」を選び、決定 を押す

④ で「あり」または「なし」を選び、決定 を押す

■ **電子ブック（☞4-33ページ）の表示の縦書きと横書きを切り替えるには**

表示の縦書きと横書きを設定できます。（「家庭の医学」と「栄養と料理」は、横書きのみの表示となります。）

① サブメニュー を押す

② で「表示設定」を選び、決定 を押す

③ で「縦横」を選び、決定 を押す

④ で「横書き」または「縦書き」を選び、決定 を押す

目次を使ったり、位置を指定してページを移る

■ **目次メニューを使うには**

サブメニューとして登録されている目次を呼び出すことができます。（「栄養と料理」のサブメニューには「目次」はありません。）

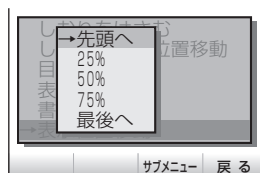
① サブメニュー を押す

② で「目次」を選び、決定 を押す

③ で見たいページを選び、決定 を押す

■ **位置を指定して、他のページへ移動するには**

① サブメニュー を押す

② で「表示位置移動」を選び、決定 を押す

「家庭の医学」のときの画面例

③「先頭へ」「25%」「50%」「75%」「最後へ」のいずれかを で選び、決定 を押す

■ **よく利用するページを登録するには（☞4-15ページ）**

■ **書籍情報を表示するには**

① サブメニュー を押す

② で「書籍情報」を選び、決定 を押す

③ 元の画面に戻るときは 戻る を押す

画像メニューを使う

画面内の画像が選択されている（青い枠で囲まれている）状態で（決定）を押すと、以下のメニューが表示されます。（「家庭の医学」「栄養と料理」では、「画像のみ表示」がご利用になれます。「画像のみ表示」以外は、それらに対応した電子ブック（☞4-33ページ）を見るときに利用します。）
各項目を（上下）で選び、（決定）を押して実行します。

リンクジャンプ
設定されている移動先へ移動します。

マスク
マスクされている状態（一部分を隠して表示している状態）から表示している状態に切り替えます。再度「マスク」を選んで（決定）を押すと、マスクされている状態に戻ります。

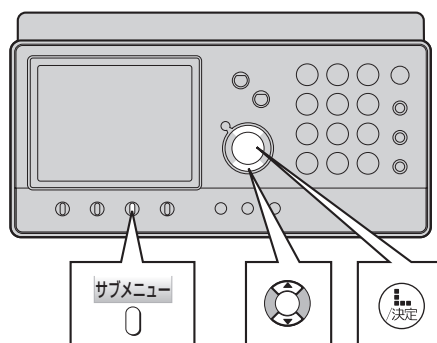
アニメーション再生
設定されているアニメーションを再生します。

アンカー
設定されているPHONE TO/MAIL TO/WEB TO機能が働きます。「アンカー」を選んで（決定）を押し、「OK」を選んで（決定）を押すと、電話を発信したり、メールやブラウザの機能が働きます。
※あらかじめ、「Lモード」に接続できるように設定しておく必要があります。（☞5-5ページ）

画像のみ表示
画像だけを表示します。（決定）を押すと元の表示に戻ります。
画像表示中に（サブメニュー）を押すと表示倍率メニューが表示されます。「50%」「75%」「100%」「200%」「300%」「画面ぴったり」の中から（上下）で選び、（決定）を押して表示倍率を設定します。

よく見るページにしおりをはさむ

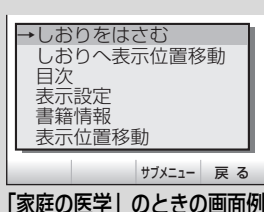
しおりを登録する

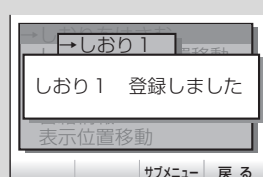
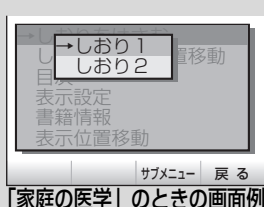
よく使うページに「しおり」を登録しておくと、他のページからでも、すぐにそのページを呼び出すことができます。
しおりは、それぞれの事典や電子ブック（☞4-33ページ）に2か所まで登録できます。
また、前回とその前に読んでいたページには、自動的にしおりが登録されます。

操作のしかた

1 しおりを登録したいページの表示中に、サブメニュー を押す

「家庭の医学」のときの画面例

2 「しおりをはさむ」を選び、決定 を押す

「家庭の医学」のときの画面例

3 ◎ で「しおり１」または「しおり２」を選び、決定 を押す

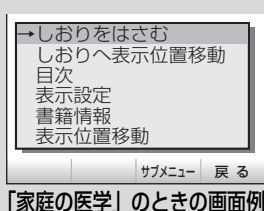
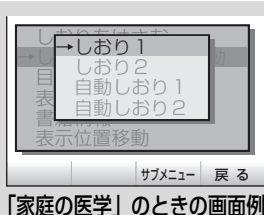
しおり１　登録しました

●表示中のページにしおりが登録されます。

しおりを登録したページを表示する

操作のしかた

1 ページの表示中に、サブメニュー を押す

「家庭の医学」のときの画面例

2 ◎ で「しおりへ表示位置移動」を選び、決定 を押す

「家庭の医学」のときの画面例

3 ◎ でしおりを選び、決定 を押す

●移動先を登録していないしおりは、灰色で表示されます。

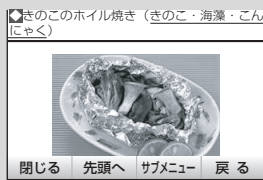
■ **前回読んでいたページを開くには**

事典を閉じたときなどは、読んでいたページに自動的にしおりがつき、「自動しおり１」に登録されます。次に事典を閉じたりすると、新しいしおりが「自動しおり１」に登録され、以前の「自動しおり１」は自動的に「自動しおり２」に移ります。（以前の「自動しおり２」は消えます。）
前回読んでいたページを開くときは、サブメニューの「しおりへ表示位置移動」を選んで、決定 を押し、「自動しおり1」を選んで 決定 を押します。

ページの内容をプリントする

ページの内容を印刷することができます。（モノクロ印刷）

操作のしかた

1 印刷したいページを表示する

2 コピー/印刷 を押す

3 印刷が始まる

●用紙１枚分の印刷が行われます。
●印刷不可のデータのときは、「印刷できないデータです」と表示され、印刷できません。

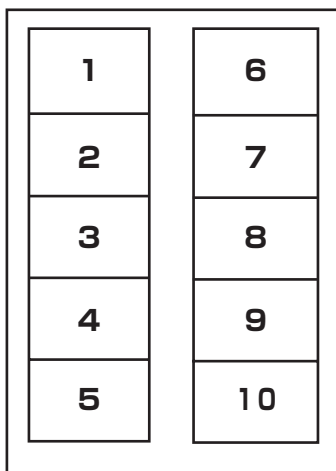
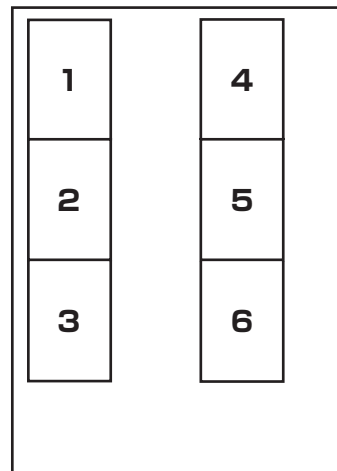
4 続けて次のページを印刷するときは **/決定 を押す**
印刷をやめるときは **停止 を押す**

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 印刷レイアウトについて

【横書きのとき】
A4の用紙１枚に10画面分印刷されます。

1	6
2	7
3	8
4	9
5	10

【縦書きのとき】
A4の用紙１枚に６画面分印刷されます。
（「家庭の医学」「栄養と料理」は縦書き表示はできません。電子ブック（☞4-33ページ）では縦書きで表示できるものがあります。）

※データ内に改ページの指定があるときは、次の列から印刷されます。
　改ページにより、横書き／縦書きが変わるときは、印刷内容も横書き／縦書きが混在します。

第4章 便利な機能 <SDカード>

ページ

SDメモリーカード（市販品）を使う

SDメモリーカードについて

この製品では、市販のメモリーカードをご利用になって次のことができます。

- SDメモリーカード対応携帯電話やデジタルカメラなどで撮った写真を見たり、FAX送信、メール送信、印刷ができます。画像データは、DCF規格に準拠している必要があります。
  ※DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
  ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- 電子ブック（XMDFファイル）を読むことができます。
  電子ブックは、当社のホームページSharp Space Townの「Space Townブックス」（下記URL）で販売しており、パソコンなどを使ってダウンロードすることができます。
  URL:　http://www.spacetown.ne.jp/dynamic/app/F101/book/index.jsp
  ※この製品を使って、電子ブックをダウンロードすることはできません。
  ※この製品ではTEXT形式の電子ブックは扱えません。
  ※XMDFとは
  XMDF（モバイル・ドキュメント・フォーマット）とは、シャープ株式会社が開発した電子書籍のフォーマットです。
  テキストのみでなく、画像やアニメーションも再生することが可能です。
- SDメモリーカード対応携帯電話の電話帳データ（vCARD形式）を、この製品に取り込むことができます。

■ 推奨SDメモリーカード

この製品で推奨するメモリーカードは、8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128MバイトのSDメモリーカードです。

お知らせ

- SDメモリーカードは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。たとえば、8MBのSDメモリーカードのときは、ユーザー領域は約6.5MBになります。
- SDメモリーカードの登録内容は、使い方を誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。（パソコンへコピーしたり、SDメモリーカードに登録したデータをいったん本体メモリーにコピーして別のSDメモリーカードへ本体メモリーからコピーするなど）なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- SDメモリーカードは推奨のものをご使用ください。推奨以外のものでは、使用できない場合や正しく動作しない場合があります。
- JPEG形式以外の画像データ（TIFF形式など）は、扱えません。
- デジタルカメラなどで記録された動画は扱えません。
- フォーマット（初期化）されていないSDメモリーカードを使うときは、本商品で初期化する必要があります（☞8-9ページ）。また、他の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは本商品で正常に使用できないことがあります。ただし、初期化するとSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
- SD SDロゴは商標です。

SDメモリーカードを取り付ける

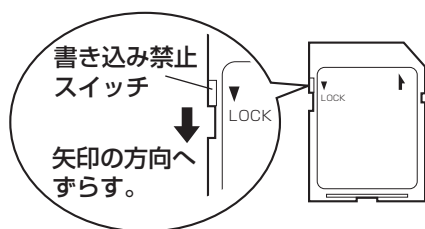
操作のしかた

1 裏表を間違わないようにして、「カチッ」と音がするまでSDメモリーカードスロットへ奥まで挿入する

表面

書き込み禁止スイッチ

■ **書き込み禁止スイッチについて**

SDメモリーカードには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」がついています。「LOCK」側にすると、データの消去や登録ができなくなります。
画像データをダウンロードするときなどは、書き込み禁止スイッチを解除してください。

⚠ 注意

SDメモリーカードを挿入するときは、SDメモリーカードがスロットに確実に挿入されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。
SDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、SDメモリーカードを挿入しないでください。
急に指を離すとSDメモリーカードが飛び出し、けがの原因となります。

お知らせ

- SD メモリーカード以外のものを挿入すると、破損する恐れがあります。
- SD メモリーカードは精密電子機器です。強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温多湿の場所、またホコリの多いところや腐食性のガスが発生するようなところでの使用・保管はしないでください。

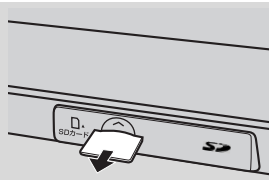
SDメモリーカードを取り外す

データを登録中や読み出し中などは、絶対にSDメモリーカードを取り外さないでください。この製品やSDメモリーカードが破損する恐れがあります。

操作のしかた

1 SDメモリーカードの端を指で軽く押し込む

●SDメモリーカードが少し飛び出してきます。

2 まっすぐに、ゆっくりSDメモリーカードを抜き取る

⚠ 注意

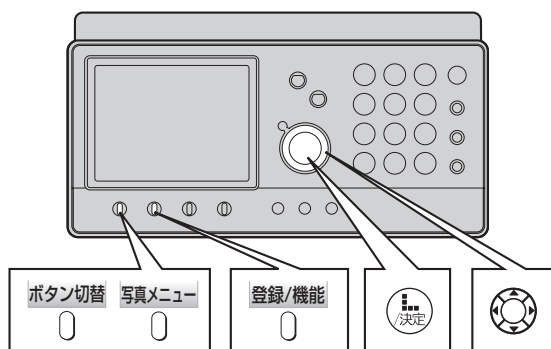
SDメモリーカードを取り外すときは、指でSDメモリーカードを押し込み、SDメモリーカードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。
SDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、SDメモリーカードを取り外さないでください。
急に指を離すとSDメモリーカードが飛び出し、けがの原因となります。

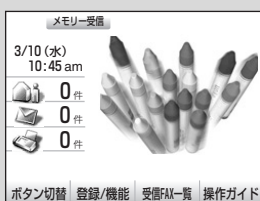
お知らせ

● SD メモリーカードを無理に抜き取ると、この製品やSDメモリーカードが破損することがあります。

写真を見る・送る

画像を見る

SDメモリーカードに保存されている画像データを見ることができます。

操作のしかた

1 ボタン切替 **を押す**

2 登録/機能 **を押し、** 写真メニュー **を押す**

3 **で見たい画像を選び、**（/決定）**を押してフル画面表示にする**

4 **で前後の画像データを表示する**

5 （/決定）**を押して一覧画面表示に戻る**

■ **親機に登録されている写真を見るときは**
（☞4-30ページ）

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **画像を印刷するときは**
（☞4-24ページ）

■ **画像をファクスで送るときは**
（☞4-23ページ）

■ **画像をメールで送るときは**
（☞4-23ページ）

■ **画像を消去するときは**
（☞4-25ページ）

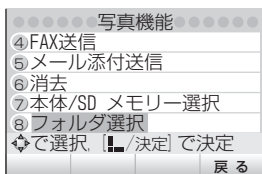
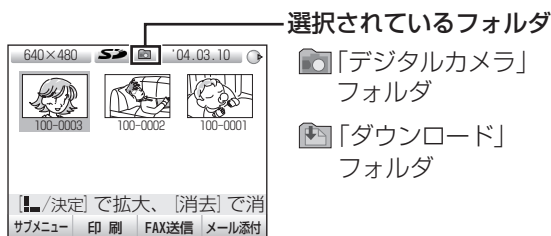
■ **他のフォルダのデータを見るときは**

① サブメニュー を押し、 で「フォルダ選択」を選ぶ

② を押し、表示するフォルダを選ぶ

③ を押す

④ 戻る を押す

選択されているフォルダ

「デジタルカメラ」フォルダ

「ダウンロード」フォルダ

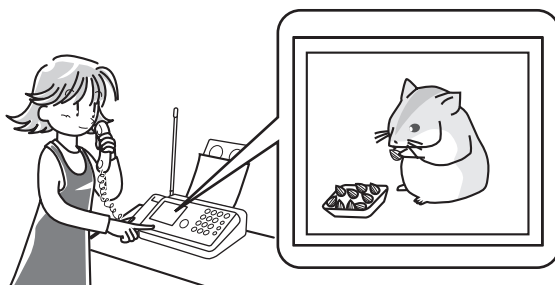
各フォルダには、次のように画像データが保存されます。

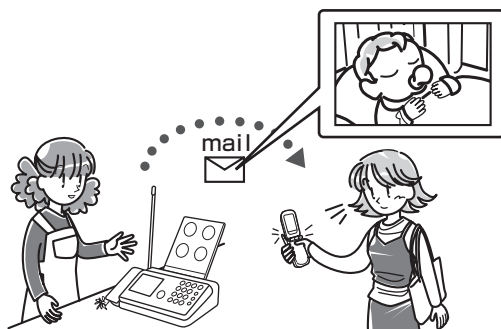
- 「デジタルカメラ」フォルダ
  携帯電話やデジタルカメラで撮影した画像が保存されています。（DCF 規格に準拠している必要があります。）
- 「ダウンロード」フォルダ
  受信メールに添付されている画像を SD メモリーカードにダウンロードすると、このフォルダに保存されます。

お知らせ

- 本商品で扱える画像サイズは次のとおりです。このサイズ以外の画像は と表示され、「削除」以外はできません。
  32ドット≦縦≦4000ドット
  32ドット≦横≦2880ドット
- ファイル名の前に「＊」が付いている画像は、本商品では扱えない可能性がある画像(※)です。
  (※) DCF規格に対応していない画像（パソコンで編集された画像も含む）や上記のサイズ以外の画像

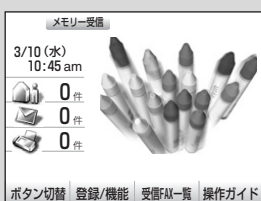
画像をファクスで送る

画像をファクスで送ることができます。（相手側のファクスでは、モノクロで受信されます。）
操作のしかたは、「画像データをファクスで送る」（☞3-11ページ）をご覧ください。

画像をメールで送る

画像をメールに添付して、送ることができます。
操作のしかたは、「写真付きのメールを作る」（☞5-29ページ）をご覧ください。

- Ｌモード利用者や携帯電話宛てに送ると、相手側はメッセージとURL付きの通知メールを受け取り、そのURLにアクセスして画像を見ます。
- パソコン宛てに送ると、相手側は添付データとして画像を受信します。

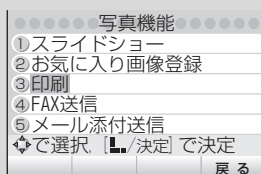
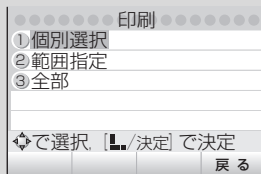
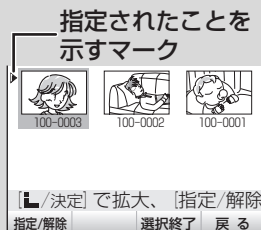
画像を印刷する

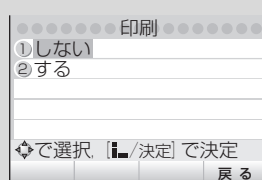
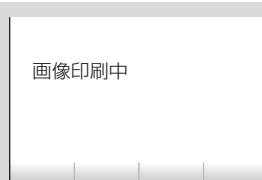
画像を印刷することができます。（モノクロ印刷）

1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、写真メニュー を押す

●このあと、（十字キー）で印刷したいデータを選び、印 刷 を押してそのデータのみを印刷することもできます。

3 サブメニュー を押し、（十字キー）で「印刷」を選ぶ

4 （決定）を押し、「個別選択」を選んで（決定）を押す

5 （十字キー）で印刷する画像データを選び、指定/解除 を押す

6 複数のデータを印刷するときは、手順５をくり返して指定する

7 指定が終わったら 選択終了 を押す

8 「する」を選び、（決定）を押す

●選択した画像データが印刷されます。

■ **すべてのデータを印刷するときは**

選択しているフォルダ内のすべてのデータをまとめて印刷します。

① 操作のしかた の手順4で、「全部」を選んで（決定）を押す

②「する」を選んで（決定）を押す

■ **連続した範囲の画像データを印刷するときは**

① 操作のしかた の手順4で、「範囲指定」を選び、（決定）を押す

②（十字キー）で印刷する範囲の最初の画像データを選び、指定/解除 を押す

③（十字キー）で印刷する範囲の最後の画像データを選び、選択終了 を押す

④「する」を選んで（決定）を押す

■ **別のフォルダやメモリーに保存されている画像データを印刷するときは**

「フォルダ選択」や「本体/SD メモリー選択」の設定を変えます。（☞4-22、4-30ページ）

お知らせ

- 画像を印刷中に、SD メモリーカードを取り外さないでください。
- ✕と表示されている画像は印刷されません。
- 複数の画像を印刷するときは、A4の記録紙１枚に2つの画像を印刷します。

画像を消去する

消去したいデータを指定して、消去します。複数のデータを選択することもできます。

操作のしかた

1

を押す

2 登録/機能 **を押し、** 写真メニュー **を押す**

3 サブメニュー **を押し、「消去」を選ぶ**

4 (決定) **を押し、「個別選択」を選ぶ**

5 (決定) **を押す**

6 (◎) **で消去する画像データを選び、** 指定/解除 **を押す**

●複数のデータを指定するときは手順5を繰り返します。

7 指定が終わったら 選択終了 **を押す**

8 (◎) **で「する」を選び、**(決定)**を押す**

●指定した画像データが消去されます。
消去したデータは戻りませんのでご注意ください。

■ 1つの画像データだけを消去するときは

① 操作のしかた の手順１の画面で、消去する画像データを選ぶ

② キャッチ/消去 (L回線断) を押す

③「する」を選んで (決定) を押す

■ 範囲を指定して消去するときは

① 操作のしかた の手順３で、「範囲指定」を選び、(決定) を押す

② (◎) で消去する範囲の最初の画像データを選び、 指定/解除 を押す

③ (◎) で消去する範囲の最後の画像データを選び、 選択終了 を押す

④「する」を選び、(決定) を押す

■ すべてのデータを消去するときは

選択しているフォルダ内のすべてのデータをまとめて消去します。

① 操作のしかた の手順３で、「全部」を選ぶ

② (決定) を押し、「する」を選ぶ

③ (決定) を押す

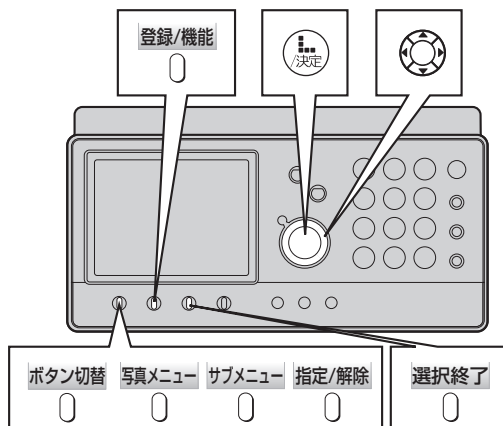
■ 別のフォルダやメモリーに保存されている画像データを消去するときは

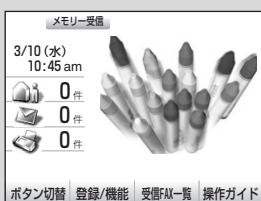
「フォルダ選択」や「本体/SD メモリー選択」の設定を変えます。(☞4-22、4-30ページ)

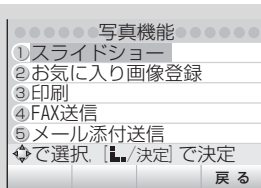
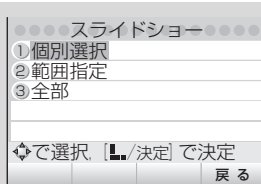
お知らせ

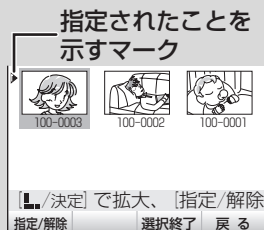
- SD メモリーカード内のファイルのうち、本商品でファイル名を認識できないファイルは消去できません。
- 消去中は、SD メモリーカードを取り外さないでください。
- 途中で受話器をあげたり、着信があったときは、消去が中止されます。

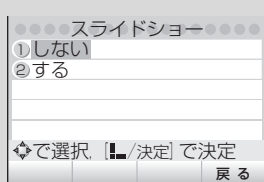
スライドショーで画像を見る

指定した複数の画像データを、順番に切り替えて、連続表示することができます。

操作のしかた

1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、写真メニュー を押す

3 サブメニュー を押し、◎で「スライドショー」を選ぶ

4 /決定 を押し、「個別選択」を選ぶ

5 /決定 を押す

6 ◎で スライドショーで表示したい画像を選び、指定/解除 を押す

●手順6をくり返して画像を指定します。

7 指定が終わったら 選択終了 を押す

8 ◎で「する」を選び、/決定 を押す

●指定した画像データが、3秒ごとに順番に表示されます。
●最後の画像まで表示されると、最初の画像に戻って再度、スライドショーが行われます。
●10分経過するとスライドショーは終了します。また、途中でいずれかのキーを押したときは、スライドショーは終了します。

■ **連続した範囲の画像データを指定してスライドショーを行うときは**

① 操作のしかた の手順4で、「範囲指定」を選び、決定 を押す

② でスライドショーを行う範囲の最初の画像データを選び、指定/解除 を押す

③ でスライドショーを行う範囲の最後の画像データを選び、選択終了 を押す

④「する」を選び、決定 を押す

■ **すべてのデータのスライドショーを行うときは**

選択しているフォルダ内のすべてのデータのスライドショーを行います。

① 操作のしかた の手順4で、「全部」を選ぶ

② 決定 を押し、「する」を選ぶ

③ 決定 を押す

■ **別のフォルダやメモリーに保存されている画像データのスライドショーをするときは**

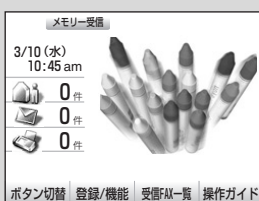
「フォルダ選択」や「本体/SD メモリー選択」の設定を変えます。(☞4-22、4-30ページ)

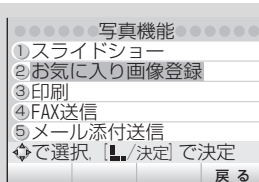
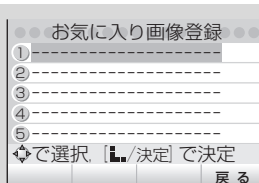
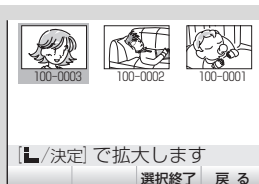
お知らせ

● 写真の種類や大きさにより、表示されるまでの時間は異なります。

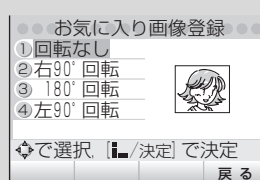
お気に入りの画像を登録する

お気に入りの画像を登録しておくと、すぐにそれらの画像を見ることができます。（最大10 件まで）

1 ボタン切替 **を押す**

2 登録/機能 **を押し、** 写真メニュー **を押す**

3 サブメニュー **を押し、 で「お気に入り画像登録」を選ぶ**

4 （決定） **を押し、 で保存する場所を選ぶ**

5 （決定） **を押し、 で登録する画像を選ぶ**

6 選択終了 **を押す**

画像を回転させて登録するときは

で回転のしかたを選ぶ

7 （決定） **を押す**

●お気に入り画像として登録されます。

■ **お気に入り画像登録した画像を見るときは**

① 操作のしかた の手順4で、 で表示したい画像を選ぶ

② （決定） を押し、「表示する」を選ぶ

③ （決定） を押す

■ **からくり時計の表示をお気に入り画像登録した画像にするときは（☞4-54ページ）**

■ **一度登録されている場所に別の画像を登録するときは**

① 操作のしかた の手順4で、 で上書きしたい場所を選ぶ

② （決定） を押し、「上書きする」を選ぶ

③ 操作のしかた の手順4～6を行う

■ **お気に入り画像登録した画像を消去するときは**

① 操作のしかた の手順4で、 で消去したい画像を選ぶ

② （決定） を押し、「消去する」を選ぶ

③ （決定） を押し、「する」を選ぶ

④ （決定） を押す

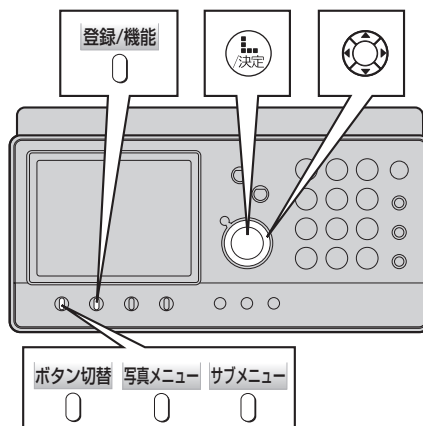
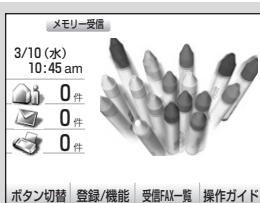
■ **別のフォルダやメモリーに保存されている画像データをお気に入り画像登録するときは**

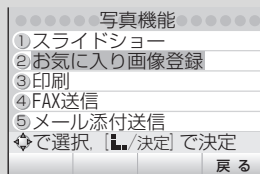
「フォルダ選択」や「本体/SD メモリー選択」の設定を変えます。（☞4-22、4-30ページ）

お知らせ

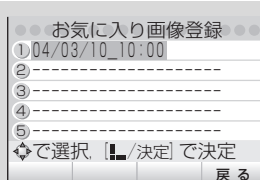
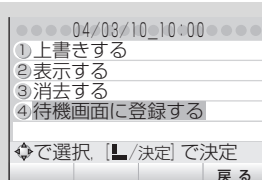
- 登録中に、SD メモリーカードを取り外さないでください。正しく登録されずに ✕ と表示されることがあります。
- 登録中に受話器をあげたり着信があると、登録が中止されます。（上書きしているときは、前の登録内容も消えることがあります。）
- 本体画像メモリーが一杯のときは登録できません。不要な画像を消去してから登録しなおしてください。（☞4-25、4-30ページ ）

お気に入りの画像を待受画面にする

お気に入り画像として登録した画像を、親機の待受画面（待機画面）に表示させることができます。

1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、写真メニュー を押す

3 サブメニュー を押し、で「お気に入り画像登録」を選ぶ

4 （決定）を押し、で待受画面に表示したい画像を選ぶ

5 （決定）を押し、で「待機画面に登録する」を選ぶ

●●●●04/03/10_10:00●●●●
1 上書きする
2 表示する
3 消去する
4 待機画面に登録する
で選択，［/決定］で決定
戻る

6 （決定）を押す

7 第４章<その他の便利な機能>の「親機の待受画面を変える」の手順で、待受画面設定を「お気に入り画像」にする

■ **親機の待受画面を変えるときは**
（☞4-36ページ）

お知らせ

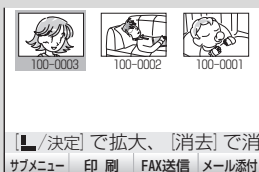
● 登録中に受話器をあげたり、着信があったときは、登録が中止されます。（以前に登録していた待機画面も消えることがあります。）

親機に登録されている画像を見る（使用するメモリーを切り替える）

メールに添付されている画像を親機に登録したり、SDメモリーカードから親機へ画像をコピーしたときは、メモリーを切り替えると、それらの画像を見ることができます。

操作のしかた

1 ボタン切替 **を押す**

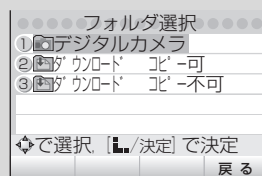
2 登録/機能 **を押し、** 写真メニュー **を押す**

●SDメモリーカードが親機に取り付けられていないときは、「カードが入っていません」としばらく表示されたあと、手順2の画面が表示されます。

3 サブメニュー **を押し、** **で「本体/SDメモリー選択」を選ぶ**

4 **を押し、** **で「本体メモリー」を選ぶ**

5 **を押す**

●メモリーが切り替わります。画面上側に 本体： などが表示されます。

6 **フォルダを切り替えるときは、「フォルダ選択」が選ばれた状態で** **を押す**

7 **で表示するフォルダを選び** **を押す**

8 戻 る **を押す**

■ **本体メモリーの画像を扱うときは**

メモリーを切り替えたあと、SDメモリーカードと同じ操作で画像を扱います。(☞4-21 〜4-29ページ)

■ **本体メモリーのフォルダについて**

本体メモリーには、「デジタルカメラ」、「ダウンロード　コピー可」、「ダウンロード　コピー不可」3つのフォルダがあります。それぞれ、次のように画像データが保存されています。

● 「デジタルカメラ」フォルダ
SD メモリーカードの「デジタルカメラ」フォルダの画像データをコピーすると、このフォルダに保存されます。

●（青）「ダウンロード　コピー可」フォルダ
受信メールに添付されている画像をダウンロードすると、このフォルダに保存されます。

●（赤）「ダウンロード　コピー不可」フォルダ
L モード有料コンテンツなどの画像をダウンロードすると、このフォルダに保存されます。

■ **本体メモリーの残量を確認するときは**

① ボタン切替 を押す

② 登録/機能 を押し、 で「詳細設定」を選ぶ

③ を押し、 で「メモリー残量表示」を選ぶ

④ を押し、 で「本体画像メモリー」を選ぶ

⑤ を押す（メモリーの残量が表示されます）

⑥ 停止 を押す(待受画面に戻ります)

※「本体画像メモリー」は、本体メモリーの「デジタルカメラ」フォルダ、「ダウンロード　コピー可」フォルダ、「ダウンロード　コピー不可」フォルダ、「お気に入り画像登録」、「送信メールの添付画像」が保存されるメモリーです。(合わせて約2.0MB)

■ **SDメモリーカードに切り替えるときは**

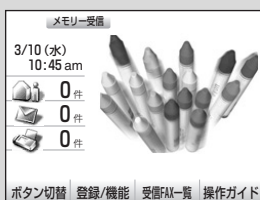
操作のしかた の手順4で「SDカード」を選びます。

SDメモリーカードと親機の間で画像を転送する

SDメモリーカードから親機へデータをコピーする

SDメモリーカードから親機へ、指定したデータをコピーできます。最大で48枚まで指定することができます。

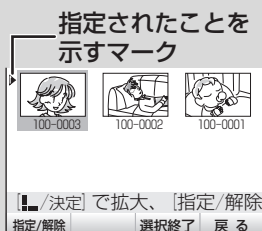
操作のしかた SDカードメモリーが選択されている状態にしてから操作します。(☞4-30ページ)

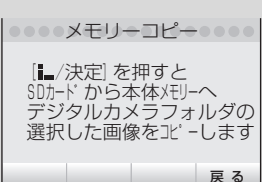
1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、写真メニュー を押す

3 画面の上側の表示が SD:📷 またはSD:📥 (青) になっていることを確認する

● 本体:📷 などになっているときはメモリーを切り替えます。
●表示中のフォルダ以外のデータをコピーしたいときは、フォルダを切り替えます。

4 サブメニュー を押し、で「メモリーコピー」を選んで /決定 を押す

5 コピーする画像データを選び、指定/解除 を押す

●複数のデータを指定するときは、手順5をくり返します。(一度にまとめて全データを選択することはできません。)

6 選択終了 を押す

7 /決定 を押す

●指定した画像データが親機へコピーされます。「デジタルカメラ」フォルダの画像は親機の「デジタルカメラ」フォルダへ、「ダウンロード」フォルダの画像は親機の「ダウンロードコピー可」フォルダへコピーされます。
●コピー中は、SDメモリーカードを取り外さないでください。途中で取り外すと、データが壊れる恐れがあります。(コピー中は「コピー中…」と表示されます。)

■ **メモリーを切り替えるときは(☞4-30ページ)**

■ **フォルダを切り替えるときは(☞4-22ページ)**

■ **コピー先のメモリーの空きが足りないときは**
「本体の画像メモリーが一杯です」と表示され、コピーできません。親機の「本体画像メモリー」に登録されている不要な画像データを消去してメモリーを空けてください。
(「画像データを消去する」☞4-25、4-30ページ)
または、コピーする画像を減らしてください。

■ **途中でコピーを中止するときは**
停止 を押します。
中止されるまでの画像はコピーされます。

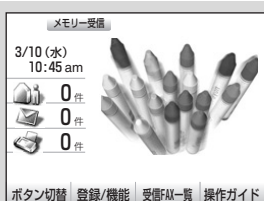
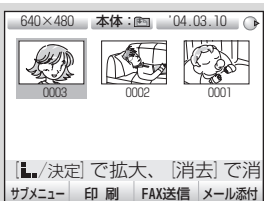
お知らせ

● コピーすると、コピー先ではファイル名は変わります。(「ダウンロード」フォルダのデータをコピーする際に、コピー先にデータがないときなどはファイル名が変わらないこともあります。)
● データをコピー中などは、絶対に SD メモリーカードを取り外さないでください。本体やSDメモリーカードが破損することがあります。
● コピー中に受話器をあげたり、着信があったときは途中で中止されます。コピーされなかった画像データは再度コピーしてください。

SDメモリーカードと親機の間で画像を転送する

親機からSDメモリーカードへデータをコピーする

親機からSDメモリーカードへ、選択しているフォルダ内のデータをコピーできます。(「ダウンロード　コピー不可」フォルダのデータはコピーされません)

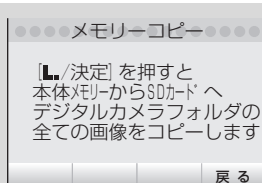
操作のしかた　本体メモリーが選択されている状態にしてから操作します。(☞4-30ページ)

1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、写真メニュー を押す

3 **画面の上側の表示が 本体: または 本体: (青) になっていることを確認する**

- SD: などになっているときはメモリーを切り替えます。
- 表示中のフォルダ以外のデータをコピーしたいときは、フォルダを切り替えます。

4 サブメニュー を押し、で「メモリーコピー」を選ぶ

5 /決定 を押す

6 /決定 を押す

- コピー中は、SDメモリーカードを取り外さないでください。途中で取り外すと、データが壊れる恐れがあります。(コピー中は「コピー中…」と表示されます。)
- 「デジタルカメラ」フォルダの画像はSDメモリーカードの「デジタルカメラ」フォルダへ、「ダウンロードコピー可」フォルダの画像はSDメモリーカードの「ダウンロード」フォルダへコピーされます。

■ **メモリーを切り替えるときは (☞4-30ページ)**

■ **フォルダを切り替えるときは (☞4-22ページ)**

■ **途中でコピーを中止するときは**

停止 を押します。
中止されるまでの画像はコピーされます。

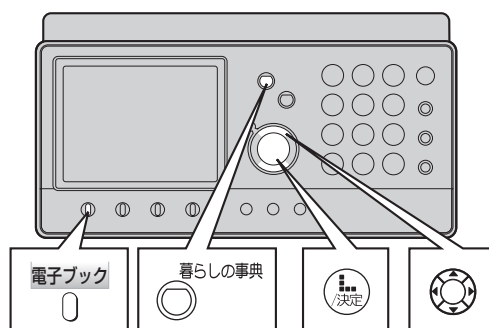
■ **コピー先のメモリーの空きが足りないときは**

「SDカードメモリーが一杯です」と表示され、コピーできません。SDメモリーカードに登録されている不要な画像データを消去してメモリーを空けてください。
(「画像データを消去する」 ☞4-25ページ)

お知らせ

- コピーすると、コピー先ではファイル名は変わります。(「ダウンロード」フォルダのデータをコピーする際に、コピー先にデータがないときなどはファイル名が変わらないこともあります。)
- データをコピー中などは、絶対に SD メモリーカードを取り外さないでください。本体やSDメモリーカードが破損することがあります。
- コピー中に受話器をあげたり、着信があったときは、途中で中止されます。コピーされなかった画像データは再度コピーしてください。

電子ブックを読む

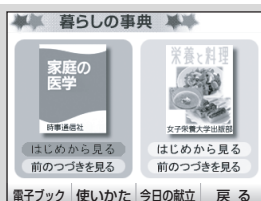
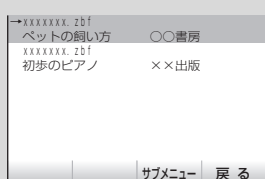
電子ブック(XMDFファイル)を保存したSDメモリーカードを利用することができます。(☞4-18ページ)
操作については、「暮らしの事典について」の「暮らしの事典のおもな操作と画面の見かた」(☞4-12～4-14ページ)をご覧ください。

電子ブックを表示する

操作のしかた

1 SDメモリーカードを親機に取り付ける

2 暮らしの事典 を押す

3 電子ブック を押す

<電子ブック一覧>

●電子ブック一覧には、SDメモリーカード内の電子ブックのタイトル以外のものも表示されますが扱うことはできません。(たとえば、[DCIM]は写真データが保存されているフォルダ名です。)

4 (上下左右ボタン) で表示したい電子ブックを選び、(L/決定) を押す

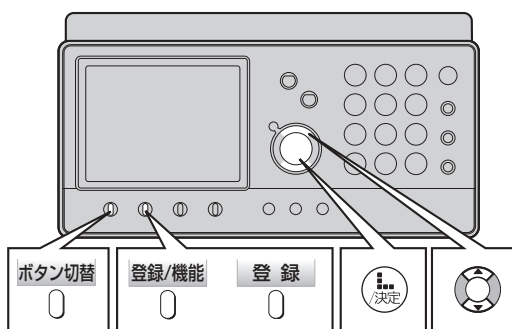
●横書きの電子ブックのときは、(上下ボタン) で1行ずつ、(左右ボタン) で1画面ずつ表示を移動します。
●縦書きの電子ブックのときは、(左右ボタン) で1行ずつ、(上下ボタン) で1画面ずつ表示を移動します。
●電子ブックを選んだ状態で サブメニュー を押し、「書籍情報」を選んでL/決定ボタンを押すと、書籍情報を見ることができます。

電子ブックの操作方法について

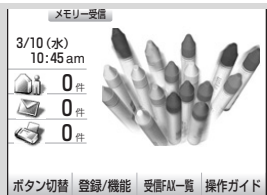
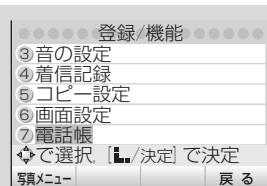
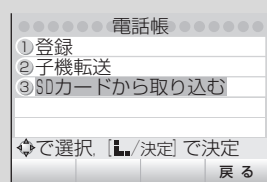
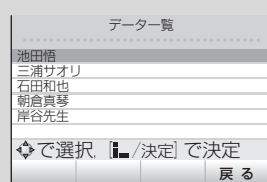
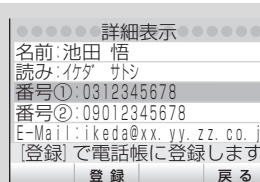
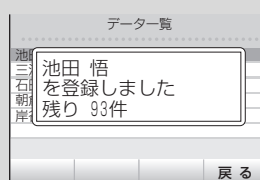
電子ブックの画面表示や、ボタン操作などは「暮らしの事典」と同じです。文字サイズや縦書き／横書きを切り替えたり、しおりをはさむことができます。
「暮らしの事典のおもな操作と画面の見かた」(☞4-12～4-14ページ)、「よく見るページにしおりをはさむ」(☞4-15ページ)、「ページの内容をプリントする」(☞4-16ページ)をご覧ください。

SDメモリーカードの電話帳を取り込む

次の携帯電話の電話帳データをSDメモリーカードを使って取り込むことができます。

- NTTドコモ ムーバSH505i
  （2003年12月現在）

操作のしかた

1 SDメモリーカードを親機に取り付ける

2 ボタン切替 を押す

3 登録/機能 を押し、 で「電話帳」を選ぶ

4 /決定 を押し、 で「SDカードから取り込む」を選ぶ

5 /決定 を押し、 で取り込みたいデータを選ぶ

6 /決定 を押して登録する内容を確認する

7 登 録 を押す

- SDカードから親機へ電話帳データが取り込まれます。
- 電話帳データは1件ずつ取り込みます。続けて取り込むときは、手順5～7をくり返します。
- 停止ボタンを押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 絵文字や特殊文字は親機には取り込めません。（スペースに置きかわります。）
- 携帯電話によっては電話番号を３件以上入力できるものがありますが、３件目以降は親機へ取り込むことはできません。また、メールアドレスも２件目以降は取り込むことはできません。
- 親機の電話帳にない項目は、SD メモリーカードから取り込むことはできません。
- 電話帳には100件まで登録することができます。
- SD メモリーカード内の電話帳を表示している画面（手順5～6の画面）から、電話番号を選んで電話をかけることはできません。
- 携帯電話からバックアップされたデータは扱えません。

第4章 便利な機能
＜その他の便利な機能＞

親機の待受画面を変える

親機の待受画面（待機画面）は、はじめは「内蔵アニメーション」になっていますが、「からくり時計」、「カレンダー」、「ダウンロード画像（Ｌモードからダウンロードした画像）」、「お気に入り画像」に変えることができます。

操作のしかた

1

を押す

2

を押し、
 で「画面設定」を選ぶ

3 （決定）**を押し、「待機画面設定」を選ぶ**

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
戻る を押します。

■ **ダウンロード画像を待受画面用として登録するときは**
（☞5-77〜5-78ページ）

■ **登録したダウンロード画像を変更するときは**
ダウンロード画像を変更するときは、もう一度待受画面に登録（☞5-77〜5-78ページ）すると書き換えられます。書き換えせずにダウンロード画像を消去することはできません。

■ **お気に入り画像を待受画面用として登録するときは**
（☞4-29ページ）

■ **登録したお気に入り画像を変更するときは**
お気に入り画像を変更するときは、もう一度待受画面に登録（☞4-29ページ）すると書き換えられます。書き換えせずにお気に入り画像を消去することはできません。

■ **からくり時計機能を使うときは**
（☞4-53〜4-54ページ）

■ **カレンダーに予定を登録するときは**
（☞4-55〜4-57ページ）

4
を押し、で表示させたい画像を選ぶ

- 「ダウンロード画像」（４番の項目）は、あらかじめＬモードで待受画面用として画像を登録しておかないと表示されません。
- 「お気に入り画像」（５番の項目）は、あらかじめ待受画面用として画像を登録しておかないと表示されません。

内蔵アニメーション

からくり時計

カレンダー

March						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

5 （決定）**を押す**

6 停止 **を押す**
- 待受画面に表示されます。

お知らせ

- からくり時計機能（☞4-53〜4-54ページ）を「停止」以外に設定している場合、設定された時刻にはからくり時計機能が動作し、画面の表示が変わります。
- 日付・時刻の設定が正しくないと、からくり時計やカレンダーは正しく表示されません。

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

通話内容を録音する

操作のしかた

1 通話中に ボタン切替 **を押す**

2 登録/機能 **を押し、** **で「音の設定」を選ぶ**

登録/機能
1 初期登録
2 おもしろ機能設定
3 音の設定
4 着信記録
5 コピー設定
で選択，[/決定] で決定
戻る

3 /決定 **を押し、** **で「メモ録音・通話録音」を選ぶ**

音の設定
1 音量調整
2 親機着信音
3 メール到着通知音
4 メール受信完了音
5 メモ録音・通話録音
で選択，[/決定] で決定
戻る

●内線通話中は、通話録音できません。

4 /決定 **を押して録音を開始する**

通話録音中
[停止] で終了

録音をやめるときは 停止 **を押す**

●録音が終わったら、日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

伝言メモを録音する

操作のしかた

1 **受話器を取る**

2 通話中に ボタン切替 **を押す**

3 登録/機能 **を押し、** **で「音の設定」を選ぶ**

登録/機能
1 初期登録
2 おもしろ機能設定
3 音の設定
4 着信記録
5 コピー設定
で選択，[/決定] で決定
写真メニュー　戻る

4 /決定 **を押し、** **で「メモ録音・通話録音」を選ぶ**

音の設定
1 音量調整
2 親機着信音
3 メール到着通知音
4 メール受信完了音
5 メモ録音・通話録音
で選択，[/決定] で決定
戻る

■ **伝言メモを録音中に電話がかかってきたときは**
録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

5 /決定 **を押し、受話器で伝言を話す**

6 話し終わったら 停止 **を押してから、受話器を置く**

●録音が終わったら、日時と件数が自動的に録音され留守ボタンが点滅します。（日時スタンプ機能）

■ **録音内容を再生するときは** **（☞2-54～2-55ページ）**

■ **録音内容を消去するときは** **（☞2-56ページ）**

お知らせ

- 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。
- 伝言メモ録音中にドアホンから呼び出しがあったときは、一度受話器を戻してから、受話器を取ってドアホン通話します。

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）

子機では再ダイヤルに記憶した電話番号を電話帳に登録することができます。
再ダイヤルは直前にかけたものから新しい順に、最大３件までの電話番号を記憶しています。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ◁ を押す

0312345678

●最後にかけた相手の方を表示します。

2 ◎ で登録する電話番号を選んだあと、機能 を押す

ナマエ?

■ **文字を入力するときは**
（☞2-37〜2-40ページ）

3 名前を入れる（最大12文字）

イケダ　サトシ

●名前の入力を省略するときは手順４へ進みます。

4 機能 を押す

ノコリ 95

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

お知らせ

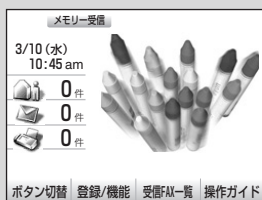
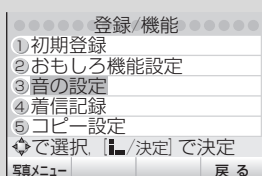
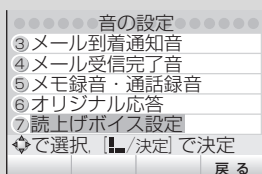
● 親機では、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）

読上げボイス設定を解除／設定する

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を音声（読上げボイス）でお知らせすることができます。
工場出荷時は読上げボイス設定が「あり」になっています。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

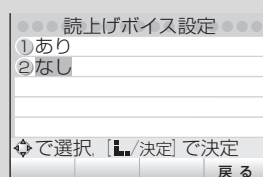
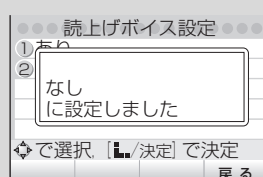
1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、で「音の設定」を選ぶ

3 決定 を押し、で「読上げボイス設定」を選ぶ

4 決定 を押し、で「なし」を選ぶ

●設定するときは「あり」を選びます。

5 決定 を押す

6 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

を押します

■ **読上げボイスダイヤル機能を設定するときは**
手順4で「あり」を選びます。

■ **読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは**
「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-36ページ）

お知らせ

- 受話器を取った状態やオンフックボタンを押した状態では、設定を変更できません。
- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。
- ダイヤルを始めてから、読上げボイスダイヤル機能を設定／解除することはできません。

モーニングコールを利用する（子機）

モーニングコールを設定する

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。（約５分間隔で1分間鳴り７回くり返します。）

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押し、** で**「アラームセッテイ」を選ぶ**

アラームセッテイ

2 機能 **を押し、** で**「ON」を選ぶ**

▶ON OFF

3 機能 **を押す**

00:00

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で４ケタ入力します）

07:00

●すでに設定している時刻を変更するときは、 で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 機能 **を押す**

●マークが表示されます。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

■ **毎日モーニングコールをご利用になるときは**
モーニングコールの設定は、アラーム音でのお知らせを７回くり返したあとは自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときは毎日設定してください。

■ **モーニングコールの音を途中で止めるときは**
モーニングコールのアラーム音が鳴っているときに子機のいずれかのボタンを押すと、アラーム音はいったん止まります。（クイック通話の設定を「ON」にしているときは、充電器に戻したり、取り上げたりしても止まります。）このあと約５分後には再びアラーム音が鳴り始めます。

お知らせ

● 子機の時計を設定していないときはモーニングコールの設定はできません。（☞ 1-38ページ）

モーニングコールを解除する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押し、** **で「アラームセッテイ」を選ぶ**

アラームセッテイ

2 機能 **を押し、** **で「OFF」を選ぶ**

ON ▶OFF

3 機能 **を押す**

●マークが消えます。

お知らせ

- 子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから（☞1-38ページ）、モーニングコールを設定してください。
- モーニングコールを設定したあとに、子機の時刻合わせを行うと、モーニングコールは解除されます。
- アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。「キリ」に設定しているときは「ショウ」の大きさで鳴ります。
- アラームが動作中に子機を充電器から取るなど何かの操作を行うとアラームは停止し子機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合もアラームは停止します。

親機をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーので選びます。
工場出荷時は に設定されています。

FAX受信方法を選ぶ

はたらき	ファクスを受信するときの方法を選びます。 ・**見てからプリント**　いったんメモリーに記録し、内容を画面に表示して確認することができます。 ・**メモリー受信**　ファクスをメモリー受信してから自動的にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。 ・**記録紙受信**　直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。(受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれて印刷されることがあります。)
手順	親機で設定します ボタン切替 ➡ 登録/機能 ➡ 「**詳細設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**FAX ／コピー**」を選ぶ ➡ 決定 ➡➡ ➡➡ 「**FAX 受信方法**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ １：見てからプリント ２：メモリー受信 ３：記録紙受信 から選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

終了音を鳴らす

はたらき	コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了音を設定します。 ・**アラーム音**　「ピー」という音でお知らせします。 ・**なし**　終了音を鳴らしません。
手順	親機で設定します ボタン切替 ➡ 登録/機能 ➡ 「**詳細設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**FAX ／コピー**」を選ぶ ➡ 決定 ➡➡ ➡➡ 「**終了音**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ １：アラーム音 ２：なし から選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

キータッチ音を鳴らす

はたらき	親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**あり**　親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**なし**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。
手順	親機で設定します ボタン切替 ➡ 登録/機能 ➡ 「**詳細設定**」を選ぶ ➡ 決定 ➡ 「**キータッチ音**」を選ぶ ➡ 決定 ➡➡ ➡➡ １：あり ２：なし のどちらかを選ぶ ➡ 決定 ➡ 停止

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
戻る を押します。

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

クイック通話を設定する

はたらき	子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。 ・ON　着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。 ・OFF　子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。
手順	子機で設定します 「**クイックツウワ**」を選ぶ マルチファンクションキーの で 「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ 機能

キータッチ音を鳴らす

はたらき	子機のボタンを押したときに、「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・ON　子機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・OFF　「ピッ」という音（キータッチトーン）は鳴りません。
手順	子機で設定します 「**キータッチトーン**」を選ぶ マルチファンクションキーの で 「ON」「OFF」のどちらかを選ぶ 機能

待ち受け時間を選ぶ

はたらき	充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。 ・**ヒョウジュン**　待ち受け時間は約 200 時間になります。 ・**チョウジカン**　待ち受け時間は約 240 時間になります。 （「チョウジカン」にすると「ヒョウジュン」のときよりも子機の着信音が遅れて鳴ることがあります。） 待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり着信音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。
手順	子機で設定します 「**マチウケジカン**」を選ぶ マルチファンクションキーの で 「**ヒョウジュン**」「**チョウジカン**」のどちらかを選ぶ 機能

■ **途中でやめるときは**

を押します。

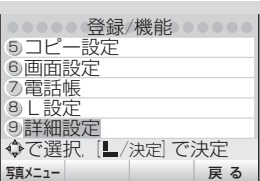
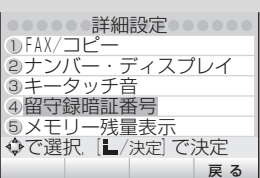
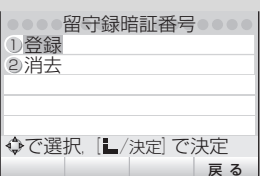
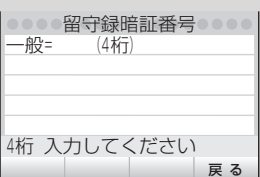
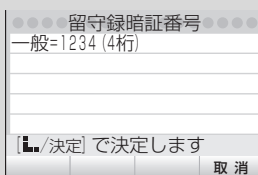
外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

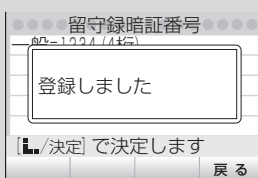
暗証番号を登録する

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 ［ボタン切替］を押す

2 ［登録/機能］を押し、（方向キー）で「詳細設定」を選ぶ

3 （決定）を押し、「留守録暗証番号」を選ぶ

4 （決定）を押し、「登録」を選ぶ

5 （決定）を押す

6 暗証番号を入れる（4ケタ）

●番号を押しまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

7 （決定）を押す

8 （停止）を押す

■ **暗証番号を変えるときは**
もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**
忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

■ **途中でやめるときは**
（停止）を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
［戻る］または［取消］を押します。

■ **登録した暗証番号を消すときは**
① 操作のしかた の手順4で「消去」を選ぶ
② （決定）を押す
③ （方向キー）で「する」を選ぶ
④ （決定）を押す
⑤ （停止）を押す

外出先からリモート操作する

操作のしかた

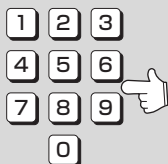
1 自宅に電話をかける

●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

2 応答メッセージが聞こえている間に ＃ を押す

●＃ を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度 ＃ を押してください。

3 暗証番号（4ケタ）を押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

4 ＃ を押す

5 音声メッセージを聞いたあと **リモート操作番号を押す**

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃

（例）録音内容を聞くときは、
1 ＃ と押します。

6 リモート操作が終わったら **電話を切る**

■ リモート操作表

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の１件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 # ※設定するには、親機の「在宅時コール回数」を「回数選択」に設定しておく必要があります。（☞ 3-24 ページ）

■ **暗証番号を押すときは**

●10秒以上あいだをあけると「ピピピピ」という音が聞こえます。手順３からやり直してください。

●番号をまちがえると、「暗証番号がまちがっています。」と聞こえます。正しく入れ直します。（２回まちがえると電話は切れます。）

■ **一般録音の内容を聞くときは**

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

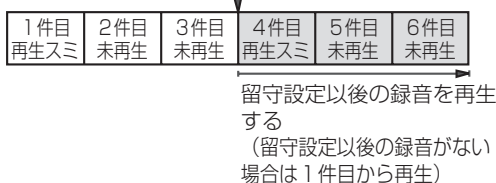
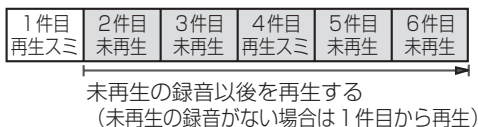
留守設定（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

●留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ **トールセーバーとは**

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、着信音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します。（留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。☞ 2-52ページ）

■ **トールセーバー機能の使いかた**

着信音が２回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。３回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

お知らせ

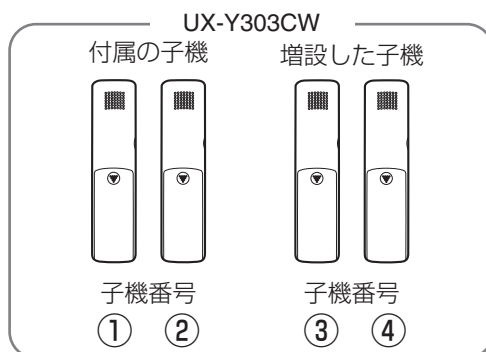
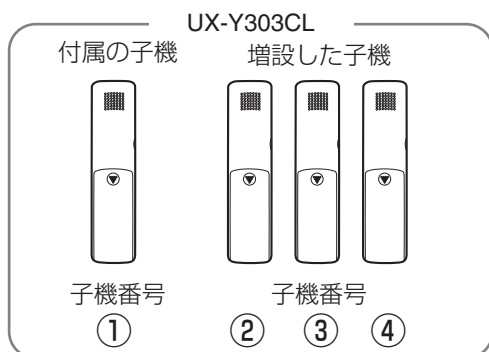
● 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。
（☞ 巻末　xi〜xiiページ）

● 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。

● 操作は１分以内に行ってください。（１分以上あけると電話が切れます。）

● 親機が在宅モードで「在宅時コール回数」が「無制限呼出」のときはリモート操作できません。

子機を増設する（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

- 子機は、付属の子機以外に３台まで、UX-Y303CWは２台まで増設することができます。
- 増設できる子機はCJ-KS50、CJ-KS4、CJ-KS7です。また、BS/CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
- CJ-KS4、CJ-KS7を増設したときは、子機間通話はできません。
  CJ-KS50を増設すると、子機間通話（トランシーバー方式）ができます。
- 機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。
- 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。
  （CJ-KS50以外の増設子機では、増設登録手順タイプＡと記載されています。）
- 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-Y303CL/UX-Y303CWに増設した場合の機能比較

機能名 ＼ 機種名		付属の子機	CJ-KS50	CJ-KS4	CJ-KS7	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100 人）	○（100 人）	○（100 人）	○（100 人）	2-33
	電話帳転送（親機⇔子機）	○	○	○	○	2-43 ～ 2-44
	再ダイヤル	○（3件）	○（3件）	○（3件）	○（10 件）	2-11
	ダイヤルボタン点灯	×	×	×	○	―――
	優先呼出	○	○	○	○	2-8
	モーニングコール	○	○	○	○	4-40
	子機間通話（トランシーバー方式）	○	○	×	×	2-14
	子機間ひと声通知	×	×	○	○	4-48
	受話音量切換	特大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	1-37
	スピーカーホン通話	○	○	○	○	2-6
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	6-2
	着信記録	○	○	○	○	6-13
	着信鳴り分け	○	○	○	○	6-22

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

CJ-KS4、CJ-KS7を増設してお使いのときは、子機から子機へメッセージを伝えることができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）
なお、CJ-KS50を増設したときは、トランシーバー方式で子機間通話ができます。（☞2-14ページ）

操作のしかた

1 子機

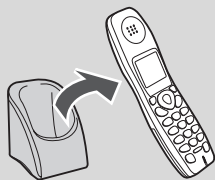
子機を充電器から取って 内線/クリア（保留） を押す

2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

●通話ボタンが点滅します。
●呼び出した子機が応答するまで「プププププ…」と鳴ります。通話ボタンが点灯します。

3 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

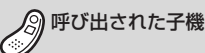
4 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

●呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージが終わったら
（切） **を押す**

●この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

■ **途中でやめるときは**
（切） を押します。

子機から子機へ電話を転送する（ひと声転送）

CJ-KS4、CJ-KS7を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話をひと声だけメッセージを伝えて他の子機へ転送することができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）
なお、CJ-KS50を増設したときは、トランシーバー方式で子機間通話をしたあと、転送することができます。（☞2-17ページ）

操作のしかた

1 子 機

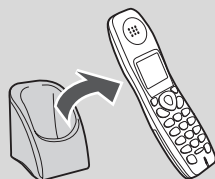
子機で外線通話中に
内線/クリア 保留 **を押す**

2 子 機

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。
- 呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。
- 通話ボタンが点滅します。

3 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「OFF」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

■ **呼び出している子機が出ないときは**

内線/クリア 保留 を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア 保留 または 通話 を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

4 子 機

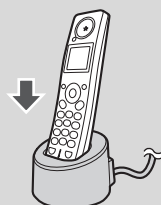
呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子 機

メッセージが
終わったら
子機を充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

7 呼び出された子機

通話 **を押す**
または
内線/クリア 保留 **を押す**

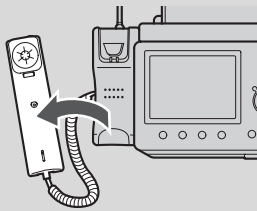
- 外線の相手の方と通話できます。

プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

親機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 受話器を取る

2 各種サービスにダイヤルする

3 （トーン）を押す

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

子機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 （通話）を押す

- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 （トーン）を押す

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。
ダイヤル回線でご契約されている方でも、（トーン）（親機の場合）または（トーン）（子機の場合）を押すと、このトーン信号を出すことができます。

お知らせ

- サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。（読上げボイスダイヤルの設定は「なし」にしてください。）

キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するにはNTTとの契約（有料）が必要です。

親機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に着信音が聞こえたら キャッチ/消去 L回線断 **を押す**

キャッチ

ボタン切替 | ホットライン1 | ホットライン2 | ホットライン3

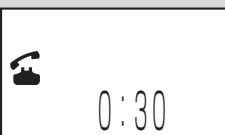
●キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

2 もとの通話に戻るときはもう一度 キャッチ/消去 L回線断 **を押す**

子機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に着信音が聞こえたら カナ/キャッチ **を押す**

0:30

●キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

2 もとの通話に戻るときはもう一度 カナ/キャッチ **を押す**

■ **キャッチホン・ディスプレイを契約するときは（☞6-8ページ）**

■ **キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは（☞8-9ページ）**
キャッチホンの切替時間を変えることができます。

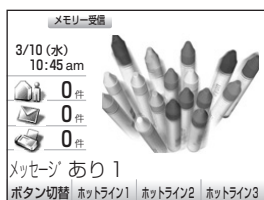
お知らせ

● キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
● ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
● 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAX スタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
● 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
● キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中、「Lモード」との通信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
● キャッチホン・ディスプレイを契約すると、着信音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（☞6-8〜6-11ページ）

メッセージ到着お知らせサービスを利用する（親機）

メッセージ到着お知らせサービスは、キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったことをお知らせするサービスです。
また、「Lモード」ご利用時には新着メールが届いたことをお知らせします。(☞5-32〜5-33ページ)

マジックボックスやキャッチホンⅡ、メッセージ到着お知らせサービスは、NTTとの契約が必要です。詳しくは局番なしの116番または、NTTの営業所等へお問い合わせください。

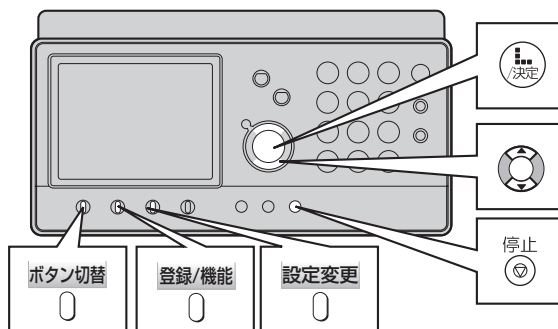
キャッチホンⅡやマジックボックスにメッセージが入ったら

メッセージ到着お知らせサービスを利用すると、キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージが、メッセージセンタに入ると、親機のディスプレイに「メッセージあり１」と表示し、バックライト消灯時はお知らせ確認ランプが赤色に点滅します。（メッセージ有り通知）
メッセージ有り通知の着信履歴は「センタ１　Ｍ１」と表示されます。この場合、キャッチホンⅡやマジックボックス（センタ１）に音声メッセージ（Ｍ１）が入ったことを意味しています。

お知らせ

- メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「使用する」になっていることを確認してください。(☞6-3ページ）メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイを契約されていなくても利用することができます。
- 通話中や操作中は、メッセージ有り通知を表示しません。
- 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
- 停電中にメッセージ消去通知を受信したり電話がかかってきたりすると応答時に「ビュッ」という音が聞こえることがあります。この場合は電話を切ってください。再度着信音が聞こえたら応答してください。
- メッセージ有り通知を表示中に停電し、その後復旧してもメッセージ有りの表示は戻りません。
- メッセージ到着お知らせサービスで 146 をダイヤルし、メッセージを聞いた後、そのメッセージを削除してもメッセージ有りの表示は消えません。メッセージ有りの表示は、メッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。

からくり時計を利用する（親機）

からくり時計を設定／変更する

決まった時刻（毎時0分）になると、液晶ディスプレイにアニメーションを表示したり、メロディーなどを演奏することができます。
時間ごとにアニメーション表示とメロディー演奏をするかどうかの動作を設定することができます。
また、アニメーションの替わりに、お気に入り画像登録しているデータを表示することもできます。

操作のしかた

1 ボタン切替 を押す

メモリー受信
3/10（水）
10:45 am
0件
0件
0件
ボタン切替 登録/機能 受信FAX一覧 操作ガイド

2 登録/機能 を押し、◇ で「おもしろ機能設定」を選ぶ

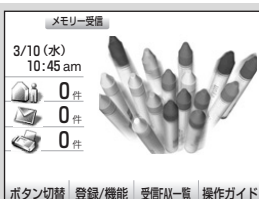
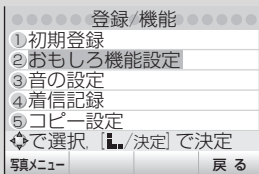
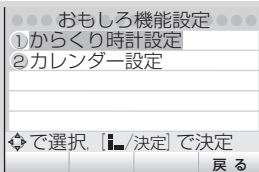
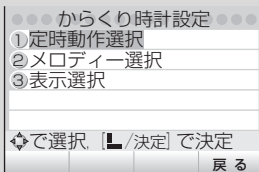
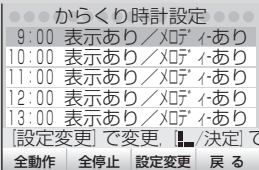
3 決定 を押し、「からくり時計設定」を選ぶ

おもしろ機能設定
①からくり時計設定
②カレンダー設定
で選択，[/決定]で決定
戻る

4 決定 を押し、「定時動作選択」を選ぶ

からくり時計設定
①定時動作選択
②メロディー選択
③表示選択
で選択，[/決定]で決定
戻る

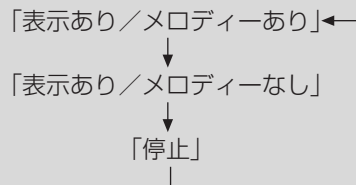
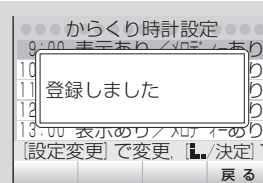
5 決定 を押す

からくり時計設定
9:00 表示あり／メロディ-あり
10:00 表示あり／メロディ-あり
11:00 表示あり／メロディ-あり
12:00 表示あり／メロディ-あり
13:00 表示あり／メロディ-あり
[設定変更]で変更，[/決定]で
全動作 全停止 設定変更 戻る

●表示あり／メロディーあり
　アニメーションを表示し、メロディーを鳴らします。
●表示あり／メロディーなし
　アニメーションを表示し、メロディーは鳴りません。
●停止
　アニメーションもメロディーも動作しません。

6 ◇ で設定したい時間を選ぶ

7 設定変更 を数回押して、動作を選ぶ

●設定変更ボタンを押すたびに、以下の順で動作メニューが切り替わります。

「表示あり／メロディーあり」
↓
「表示あり／メロディーなし」
↓
「停止」
（「表示あり／メロディーあり」に戻る）

8 決定 を押す

9 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **演奏するメロディーを変更するときは**

① ボタン切替 を押す
② 登録/機能 を押し、 で「おもしろ機能設定」を選ぶ
③ 決定 を押し、「からくり時計設定」を選ぶ
④ 決定 を押し、 で「メロディー選択」を選ぶ
⑤ 決定 を押し、 でメロディーを選ぶ
⑥ 決定 を押し、 で「登録する」を選ぶ
⑦ 決定 を押す
⑥で「演奏する」を選び、決定 を押すと、選んだメロディーを聞くことができます。
Lモードでダウンロードした曲も演奏できます。
⑧ 停止 を押す

■ **全ての時間の動作を一括で設定するときは**

①「からくり時計を設定／変更する」の手順５まで操作を行う
② 全ての時間でアニメーション表示、メロディー演奏をするときは 全動作 を押す
全ての時間でアニメーション表示、メロディー演奏をしないときは 全停止 を押す
③ 決定 を押す
④ 停止 を押す

■ **表示をお気に入り画像にするときは**

① ボタン切替 を押す
② 登録/機能 を押し、 で「おもしろ機能設定」を選ぶ
③ 決定 を押し、「からくり時計設定」を選ぶ
④ 決定 を押し、 で「表示選択」を選ぶ
⑤ 決定 を押し、 で「お気に入り画像」を選ぶ
⑥ 決定 を押す
⑦ 停止 を押す

※「お気に入り画像登録」をしていないときは、登録してください。（☞4-28ページ）

お知らせ

● 日付・時刻の設定がされていないとき（待受画面の日付・時刻表示が「1/1（木）0:00am」のまま点滅状態）は、からくり時計は動作しません。日付・時刻を設定してください。（☞1-23ページ）
● 親機や子機を使っているとき（通話中やコピー時など）は、からくり時計は動作しません。
● からくり時計が動作中に受話器を取るなど何かの操作を行うとからくり時計は停止し親機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合もからくり時計は停止します。
● Lモードで着信メロディーをダウンロードして、からくり時計のメロディーにすることができます。（着信メロディーダウンロード ☞5-65ページ）
● 設定したメロディーは、すべての時刻で共通です。時刻ごとにちがうメロディーの設定はできません。
● メロディー音の大きさは、親機の着信音量と連動しています。大きさを変えるときは、「親機の着信音量を変える」操作で変えてください。（☞1-32ページ）
● 親機の着信音を「切」に設定しているときはメロディーは流れません。
● からくり時計が動作するのは毎時０分です。そのほかの時刻に設定することはできません。
● 固定メロディー（「森のくまさん」など）とダウンロードメロディーでは再生回数が異なります。
ダウンロードメロディー：
　アニメーション表示終了まで繰り返し
固定メロディー：
　あらかじめ決められている回数で終了（メロディーによって再生回数が異なります。また、アニメーション表示の途中でメロディーが終了することもあります）
● 待受画面の設定をからくり時計にしていなくても、本機能ははたらきます。
● 表示やメロディーをありに設定していても、毎時０分から１分以上通話などを行っていた場合は、動作が省略されます。（毎時０分から１分以内に操作を終了すればその時点で動作します）
● 時刻は、めやすとしてご利用ください。
なお、誤差が生じた場合は、日付・時刻の設定（☞1-23ページ）をやり直してください。
（時計精度：平均月差±60秒以内）
● 「お気に入り画像」は登録されたすべての画像が表示されます。登録画像を個別に選ぶことはできません。

カレンダー機能を利用する（親機）

カレンダーに予定を登録する

親機のカレンダーに１日２件までの予定を登録しておくことができます。（最大100件）
予定を登録した日の前日と当日に液晶ディスプレイに表示してお知らせします。（カレンダー）

操作のしかた

1 ボタン切替 を押す

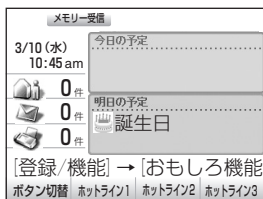
2 登録/機能 を押し、 で「おもしろ機能設定」を選ぶ

3 決定 を押し、 で「カレンダー設定」を選ぶ

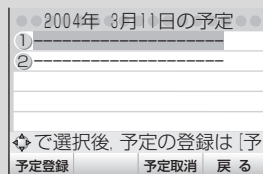
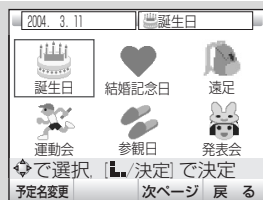
4 決定 を押す

●すでに予定が登録されている日には マークが表示されています。
●前月ボタン、次月ボタンを押すと前の月や次の月を表示できます。
●今日ボタンを押すと当日の月のカレンダーが表示され、当日にカーソル表示されます。

■ **予定が登録されているときは**

前日と当日、待受画面に予定（掲示板）が表示され、バックライト消灯中はお知らせ確認ランプが点滅します。（日付・時刻の設定が正しくないと、正しく表示されません。）

■ **予定を確認するときは**

① ボタン切替 を押す
② 登録/機能 を押し、 で「おもしろ機能設定」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「カレンダー設定」を選ぶ
④ 決定 を押し、 で確認したい日を選ぶ
（登録されている予定が、画面上部に表示されます。決定 を押すと予定登録の画面になり、登録した予定を変更できます。）
⑤ 停止 を押す

5 で予定を登録したい日を選び、決定 を押す

6 予定登録 を押す

●予定（行事）のマークは、24種類内蔵されています。

7 で予定を選び、決定 を押す

●続けて２件目を登録するときは で２件目を選んでから予定登録ボタンを押してください。

8 停止 を押す

■ **予定の名前を変更するときは**
（☞4-56ページ）

■ **待受画面に掲示板を表示させない（通常の画面にする）ときは**

① ボタン切替 を押す
② 登録/機能 を押し、 で「おもしろ機能設定」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「カレンダー設定」を選ぶ
④ 決定 を押し、 掲示板削除 を押す
⑤ 停止 を押す
日付が変わったり、日付を変更したり、新しく予定を登録・消去すると、また待受画面に掲示板が表示されるようになります。

■ **待受画面にカレンダーを表示するときは**
（☞4-36ページ）

予定の名前を変える

操作のしかた

1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、 で「おもしろ機能設定」を選ぶ

3 決定 を押し、 で「カレンダー設定」を選ぶ

4 決定 を押し、 で予定を登録したい日を選ぶ

5 決定 を押し、予定登録 を押す

6 で名前を変えたい予定（行事）マークを選ぶ

7 予定名変更 を押し、名前（全角6文字／半角12文字まで）を入力し直す

8 決定 を押す

9 もう一度、決定 を押す

10 停止 を押す

■ 文字を入力するときは
（☞2-26～2-30ページ）

予定を取り消す

操作のしかた

1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、 で「おもしろ機能設定」を選ぶ

3 決定 を押し、 で「カレンダー設定」を選ぶ

4 決定 を押し、 で予定を消去したい日を選ぶ

5 決定 を押し、 で消去したい予定を選ぶ

6 予定取消 を押す

7 停止 を押す

予定（行事）マーク一覧

■ **過去の予定をすべて消去するときは**

① 待受画面で （キャッチ/消去・L回線断）を押し、 で「カレンダー予定消去（過去分）」を選ぶ

② （決定）を押す

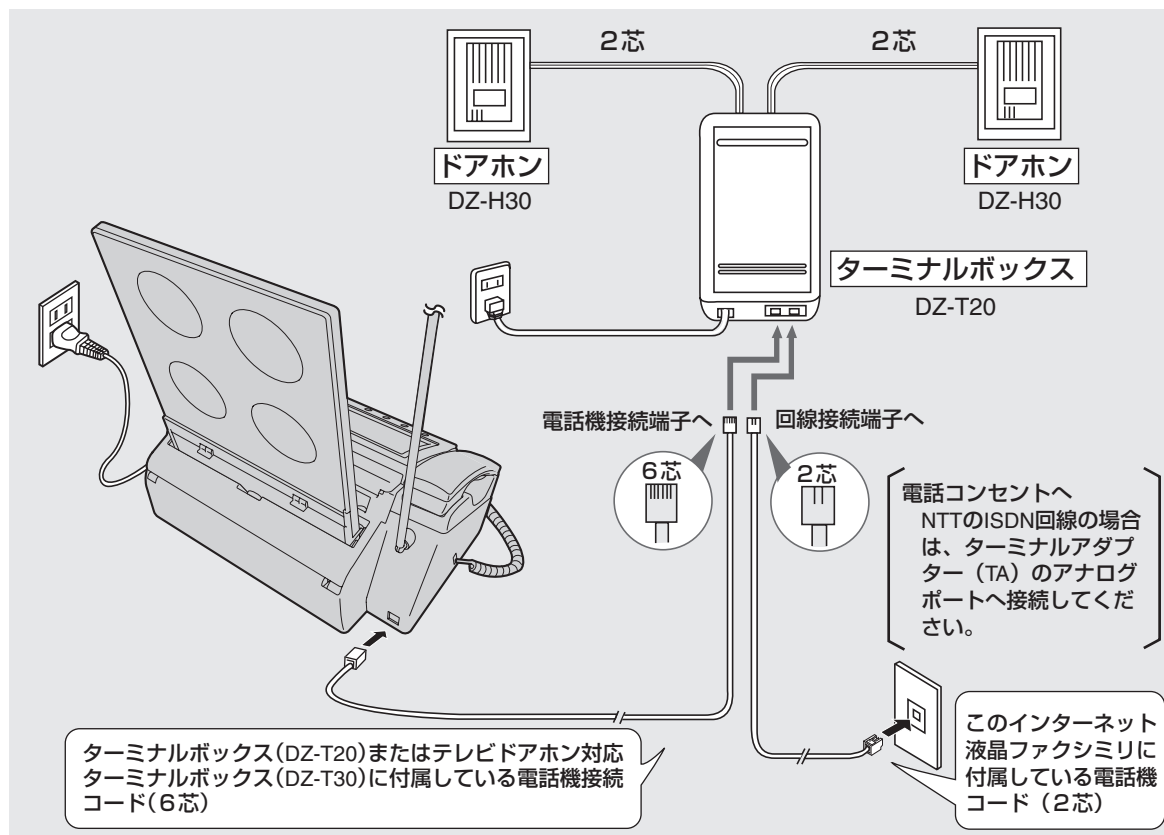
③ で「する」を選び、（決定）を押す

お知らせ

● 登録した予定は、その日が過ぎても自動的には消えません。必要に応じて消去してください。

ドアホンを接続する

別売りのターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大２台まで接続することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンをつなぐとき

■ **NTTのISDN回線をご利用のときは（☞ 1-25ページ）**

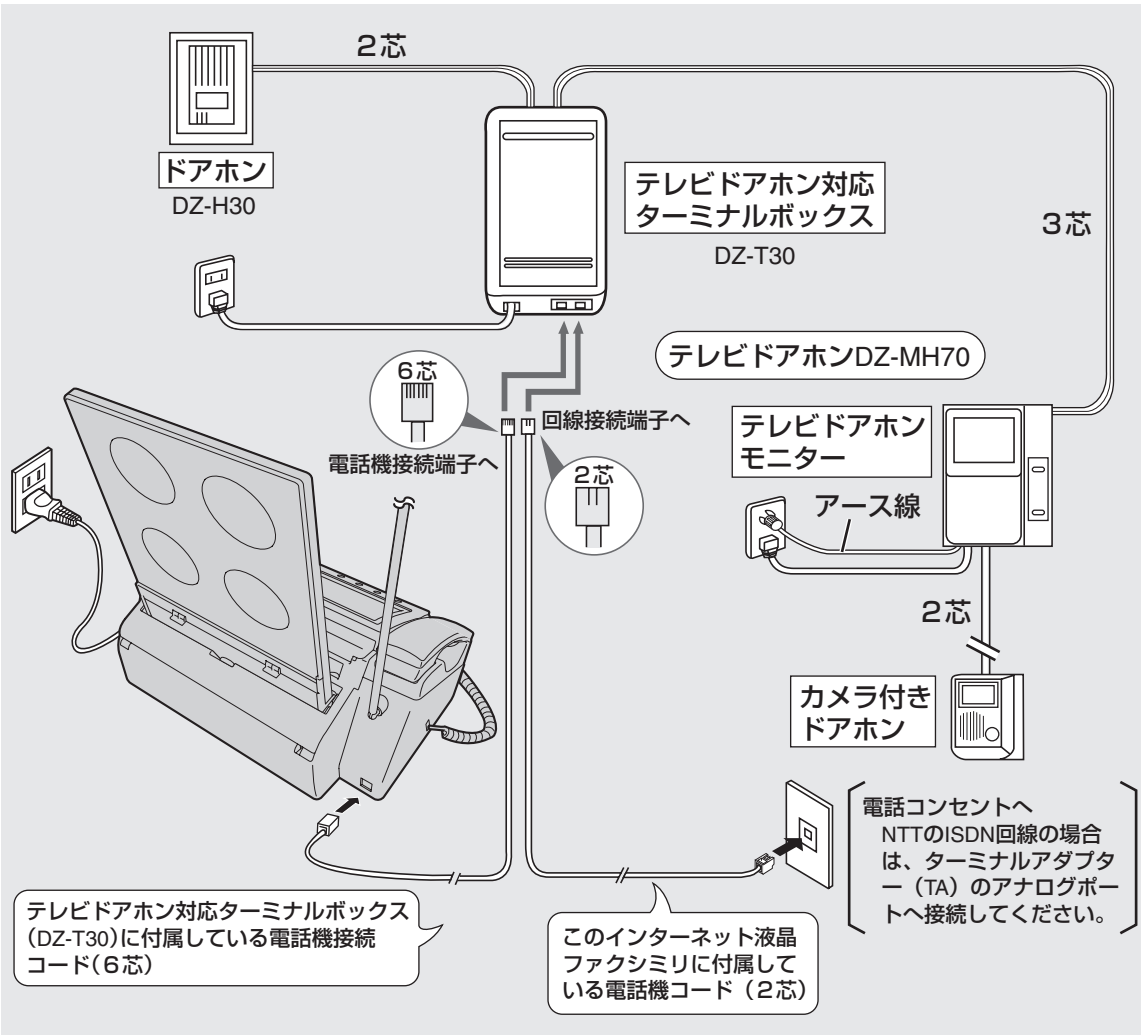
■ **現在お使いのドアホンが次の機種のときは**

専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。
（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）

メーカー名（50音順）	**適合するドアホン（室外機の機種名）**2003年12月現在
アイホン	IF-DA　IE-DA　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-CA　IF-DAW　IE-NXS　IE-NXBA　IE-NXM　IE-NXY　IE-NXC
岩通	ドアホンN
ＮＴＴ	E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D
松下通信工業	VF-521　VF-522　VF-523U　VF-523D　VL-568　VL-568G　VL-568U　VL-568K　VL-568KA　VL-568D　VL-568R　VL-568S　VL-568KAP　VL-568GL　VL-568UL　VL-569　VL-580D　VL-582A　VL-584D　VL-585D　VL-586P　VL-587P　VL-592　VL-593　VL-594A
松下電工	EJ-502　EJ-501W　EJ-102　EJ-503F　EJ-503A　EJ-106A　EJ-106S　EJ-1021B

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

カメラ付ドアホンをつなぐとき

テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。

■ **NTTのISDN回線をご利用のときは**
(☞1-25ページ)

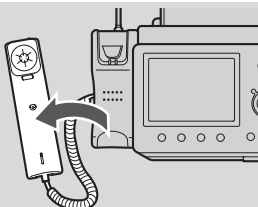
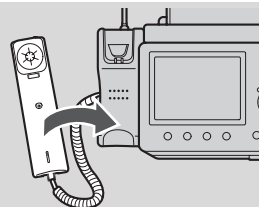
お知らせ

- カラーカメラドアホン（DZ-TH10）は使用できません。
- カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

親機で話すときは

1 着信音が「ピンポン」と鳴ったらディスプレイに「ドアホン着信1」または、「ドアホン着信2」と表示している間（30秒以内）に **受話器を取って通話する**

2 通話が終わったら **受話器を戻す**

子機で話すときは

1 着信音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に
（通話）**を押す**

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら
（切）**を押す**

■ **ドアホンの着信音について**

ドアホン1とドアホン2からの着信音は鳴り方が違います。

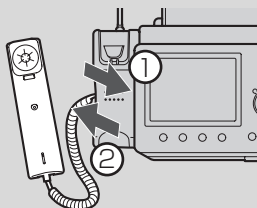
親機	ドアホン1	ピン　ポン
	ドアホン2	ピン　ポン　ピン　ポン
子機	ドアホン1	ピロ ピロ ピロ ピロ　ピロ ピロ ピロ ピロ
	ドアホン2	ピロ ピロ　ピロ ピロ　ピロ ピロ

お知らせ

- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中や「L モード」と通信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。また、親機の着信音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- 子機で優先呼出を設定していても、ドアホンの着信音は、親機・子機の両方で鳴ります。
- ドアホンの着信音が「ピンポン」と鳴ったあと約30 秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- ドアホンの受話音量はターミナルボックス側で調整することができます。詳しくはターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の着信音が聞こえたら**一度受話器を戻してから、受話器を取る**

●受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。（ドアホン通話には戻れません。）
●受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に

内線/保留 ◯ **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/保留 ◯ **を押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの着信音が「ピンポン」と１回聞こえたときは

1(あ @./-_) **を押す**

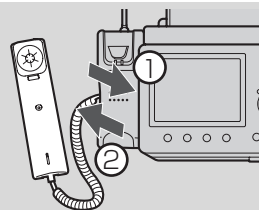
ドアホンの着信音が「ピンポン」と２回聞こえたときは

2(か ABC) **を押す**

● 1(あ @./-_) または 2(か ABC) （またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンと交互にお話ができます。

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に**一度受話器を戻してから、受話器を取る**

●受話器を戻すと、内線通話が切れます。
●受話器を取ると、ドアホン通話になります。

ドアホンと話す（ドアホン通話）

子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

1 電話の着信音が聞こえたら

（切）を押して、（通話）を押す

- 切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
- 通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に

内線/クリア（保留）を押す

- 通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/クリア（保留）を2回押す

- 電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの着信音が「ピンポン」と１回聞こえたときは

（1ア）を押す

ドアホンの着信音が「ピンポン」と２回聞こえたときは

（2カABC）を押す

- （1ア）または（2カABC）（またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンと交互にお話ができます。

子機で親機と内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に

（切）を押して、

子機のドアホンの着信音が聞こえたら

（通話）を押す

- 受話器を戻すと、内線通話が切れます。
- 受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機どうしでトランシーバー方式内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

- 呼び出し中や両者がトランシーバーボタンを押していないとき

1 内線通話が切れます。ドアホンの着信音が聞こえたら

（通話）を押す

- どちらかがトランシーバーボタンを押してお話ししているとき

1 お話を聞いている方の受話口から着信音が聞こえる

2 相手がメッセージを伝え終えてトランシーバーボタンを離したら

（切）を押す

3 ドアホンの着信音が聞こえたら

（通話）を押す

第5章
Ｌモード

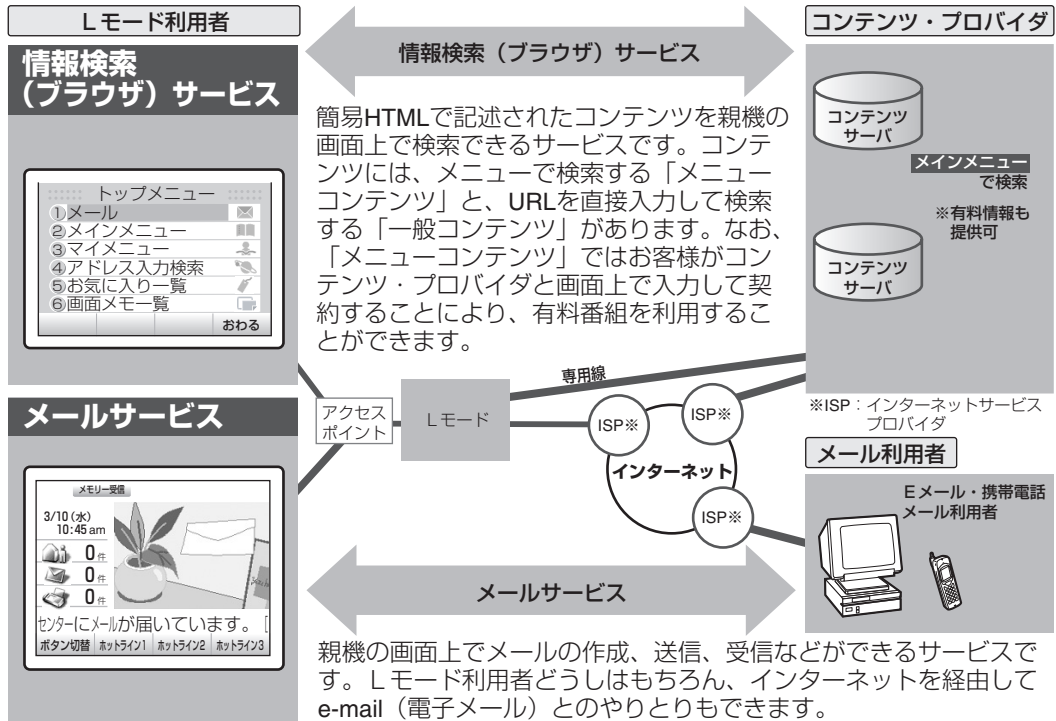
ページ

Ｌモードのメールについては ☞5-23 ページへ
Ｌモードのブラウザについては ☞5-57 ページへ

Ｌモードについて

Ｌモードって何？

Ｌモードとは、本商品からのメニュー操作により、電話感覚で「簡単・便利・安価」にブラウザサービスや、メールサービスをご利用いただけるサービスです。また、Ｌモードカードを利用する事により、街頭のICカード公衆電話機からもＬモードがご利用になれます。Ｌモードを利用するにはNTTとの契約が必要です。尚、契約と同時に月額使用料が必要となります。詳しくは、局番なしの116番またはNTTの営業所などへお問い合わせください。また、Ｌモードをご利用時は、必ずナンバー・ディスプレイの設定（☞6-3ページ）を「使用する」に設定したままお使いください。お買いあげ時は「使用する」に設定されています。

Ｌモードのしくみ

■ ブラウザサービスについて（☞5-57〜5-86ページ） ■ メールサービスについて（☞5-23〜5-56ページ）

Ｌモードの利用料金は？

月額使用料… Ｌモードへ申し込みをされ、利用契約をされると月額使用料がかかります。
通　信　料… 「Ｌモード」へ接続中は通信料がかかります。（接続中は、画面に マークが表示され、「Ｌモード接続中」ランプが点灯しています。）

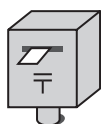
お知らせ

- 本商品から「Ｌモード」へ接続するときは、発番号（お客様の電話番号）を通知しないと接続できません。詳しくは、局番なしの116番またはNTTの営業所等へお問い合わせください。
- ブラウザサービスを利用するには、アクセスポイント電話番号（センター番号）が必要です。「はじめてＬモードを利用する」の操作を行い、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得してください。（☞5-5ページ）
- 「Ｌモード」と通信中はブラウザマークが点灯し通信料金がかかります。（☞5-8ページ）
- 「Ｌモード」と接続が失敗した場合でも通信料がかかります。
- 迷惑メール防止のためメールアドレスの変更をお勧めします。

Lモードを申し込む

Lモードをお使いになるときは、必ずNTTへの利用契約（お申し込み）を行ってください。
利用契約をいただくと月額使用料が必要となります。

Lモードの詳しいお問い合わせは
局番なしの **116** 番へ

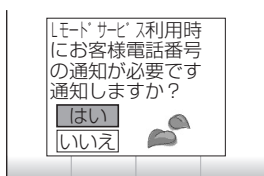
付属の申込書での方法

付属の「Lモードサービス兼Lモード接続サービス等申込書」に必要事項を記入し、ポストへ投函します。

数日後、Lモード使用説明書が届けられます。
（申し込み完了）

ファクス本体で、利用設定をします。（☞5-5ページ）
※初めてLモードをご利用になるときには、まず初めに利用設定をしてください。

親機から直接申し込む方法

親機から直接お申し込みいただけます。その際の通信費は無料です。（申込書の送付は不要です。）
●受付時間：午前9時～午後8時　年中無休（年末年始を除きます）

取扱説明書に記載のLモード画面の内容や操作手順は2003年12月現在のもので、予告なく変更される場合があります。

1 （L/決定）を押して、左記の画面が表示されたら「はい」を選んで、（L/決定）を押します。
※ご利用にあたっては、発信者番号が必要です。「いいえ」を選ぶとお申し込みできません。
※ L/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30～60秒程度かかります。

2 「OK」を選んで（L/決定）を押します。

次ページへ

3 「L モードかんたんお申込はこちら」を選んで、(決定)を押します。

4 画面をスクロールして内容を確認し、「承諾事項を読む」を選んで、(決定)を押します。

5 画面をスクロールして内容を確認し、「承諾事項の画面へ」を選んで、(決定)を押します。

6 承諾事項が表示されますので、画面をスクロールしてお読みください。ご確認されましたら、「承諾事項を承諾し、L モードを申し込む」を選んで、(決定)を押します。

7 「オペレータに接続する」を選んで、(決定)を押します。お申し込みをするためにオペレータに接続します。

8 オペレータへの電話番号が表示されますので、「はい」を選んで(決定)を押します。
オペレータに電話がつながります。受話器をあげてオペレータとお話ください。(無料)
必要事項をお伺いしますので、お答えください。
お申し込みが終了しましたら、受話器をおろして電話をお切りください。

9 NTT にて工事を行います。
(訪問による工事はありません)

ファクス本体で、端末機器自動設定(☞5-21 ページ)をします。
※初めてL モードをご利用になるときには、まず初めに端末機器自動設定をしてください。

はじめてＬモードを利用する

Ｌモードを利用設定する

Ｌモードを郵送や店頭で申し込まれたあと、Ｌモードをはじめてご利用になるには、設定センターからアクセスポイント電話番号（センター番号）を取得し、親機に登録するための操作を行います。Ｌモードを親機の操作で申し込まれた場合（☞5-3～5-4ページ）は、5-21ページの端末機器自動設定をしてください。

操作のしかた

1 （L/決定）を押す

2 「はい」を選び、（L/決定）を押す

- 「いいえ」を選択し、Ｌ/決定ボタンを押すと「Ｌモードサービスのご利用には発信者番号の通知が必要です」が表示され、サービス利用の設定ができません。「Ｌモード」をご利用になるときは、「はい」が選択されていることを確認し、Ｌ/決定ボタンを押してください。
- 自動的に設定センターへ接続され、アクセスポイント電話番号（センター番号）を取得します。

3 右の画面が表示されたら（L/決定）を押す

- アクセスポイント電話番号（センター番号）の親機への登録が終了します。

4 「トップメニュー」が表示される

- Ｌモードのサービスをご利用いただけます。（カーソルキー）で項目を選んでください。

5 （停止）を押す

- 待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

（停止）を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

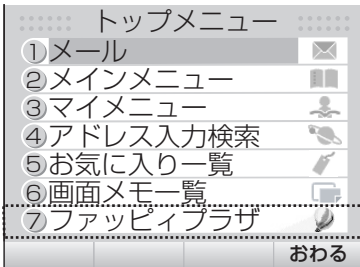
ブラウザマーク（ ）が表示および「Lモード接続中」ランプが緑色に点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **「接続に失敗しました。」と表示されたときは**

端末機器自動設定がうまく設定できませんでした。もう一度操作をやり直してください。または、登録メニューから設定してください。（「端末機器自動設定」☞5-21ページ）
また、「Lモード」を契約していないときも表示されます。

お知らせ

- 回線の状態によっては、まれに「Lモード」と接続できない場合があります。
- 端末機器自動設定中に、電話やファクスは使用できません。
- 引っ越しや移転などをしたときは、端末機器自動設定を行わないと「Lモード」に接続できなくなる場合があります。また、NTTの営業所などへご連絡ください。
- Ｌ/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30～60秒程度かかります。

Ｌモードのトップメニューについて

1 **メール** … メールの作成や送受信ができます。
2 **メインメニュー** … 生活に役立つ情報が取り出せます。
3 **マイメニュー** … お気に入りの番組をマイメニューに登録しておくと、すぐに表示させることができます。
4 **アドレス入力検索** … ホームページのアドレスを入力するとインターネット上のホームページを見ることができます。
5 **お気に入り一覧** … インターネットのアドレスを登録しておくと、すぐに表示することができます。
6 **画面メモ一覧** … 表示させた画面を保存することができます。
7 **ファッピィプラザ** … シャープスペースタウンの案内を表示します。

用語について

ゲートウェイ：
異なるプロトコルを持つネットワークを相互に接続するための、ハードウェアやソフトウェアのこと。

コンテンツ：
コンピュータで、画像、動画、音声、文章などを組み合わせて、一つの作品として仕上げたもの。

サイト：
サーバが設置された場所のこと。おもにインターネット上のサーバに対して使う。

ダウンロード：
他のコンピュータ上にあるデータを、ネットワークを通じて自分の端末側にコピーすること。

センター：
メールの送受信やブラウザページの閲覧をするために、回線を接続するところ。

タグ：
ファイルの中の特定の場所につけられた印のこと。そのタグを指定することで、その場所へ簡単に移動できる。

URL「ユーアールエル」：
Uniform Resource Locator の略。www で使われる、インターネット上の情報にアクセスする方法を示す表記。（インターネットの URL のことをアドレスと呼ぶこともある）
「http://www. ○○○ .co.jp/ △△△ /」というように、「プロトコル：// サーバ名 / パス名」と記述される。

Ｌモードやサイトによっては「パスワード」が必要になります。

● パスワードの変更のしかた（☞5-12〜5-13ページ）
　別途NTTからお届けする「Ｌモード使用説明書」もご覧ください。

お知らせ

- 停電などで電源が切れるとアクセスポイント電話番号（センター番号）が消去されます。もう一度操作をして登録し直してください。(☞5-5ページ)
- 端末機器自動設定中に、電話やファクスは使用できません。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど発信先の電話番号の先頭に0をつける必要がある通信機器を接続した場合は、Lモードをご利用いただけません。

※ 米国特許第4,558,302号および対応外国特許に基づくライセンスを取得しています。
※ この製品には、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。
※ Datalight is a registered trademark of Datalight,Inc.
FlashFX™ is a trademark of Datalight,Inc.
Copyright 1993-2000 Datalight,Inc.,All Right Reserved
U.S.Patent Office 5,860,082
※ 本製品は、RSA Security Inc.のRSARBSAFE™ SSL-C ソフトフェアを搭載しております。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
RSA Security Inc. All Rights Reserved.
※ 本製品は、ウエブソフト・インターナショナル株式会社の組込み用wwwブラウザ［Esprit for Lmode ver.1.2.2］を搭載しています。
［Esprit］はウエブソフト・インターナショナル株式会社の登録商標です。
All Rights Reserved, Copyright (C) Websoft International Inc. 2003
※ 本製品のメール機能は株式会社富士通ビー・エス・シーの組込み用メーラー MONACO for Lmode Ver.1.2を搭載しています。
All Rights Reserved, Copyright (C) FUJITSU BROAD SOLUTION & CONSULTING Inc. 2003

Ｌモード利用時のディスプレイ表示

「Lモード」利用時は液晶ディスプレイに次のように表示されます。各メニューやページ等で表示される内容が変わります。

（ブラウザマーク）
「Ｌモード」へ接続している間、表示または点滅しています。
表示中は通信料金がかかります。
「Ｌモード」との接続が切れると（ブラウザマーク）は消えます。

「Ｌモード」との接続を終了するときは
停止 を押します。

表示はそのままで「Ｌモード」との接続を切断するときは
キャッチ/消去 L回線断 を押します。

メニュー
メニューの項目が表示されます。選ばれている項目が（青色）のカーソルで表示されます。
項目を表示するには で項目を選んで 決定 を押します。
ただし、一部ご利用になれないサイトがあります。

00:05
接続時間の目安を分単位で表示します。

暗号化
暗号化通信中に表示します。

画面の読み込みが終わるまでの目安を目盛りで表示します。

方向表示
サイトを表示しているときや文字入力モードのときに、ページやカーソルの移動が可能な方向が表示されます。
は、画面がスクロールできる方向や選べる項目がある方向を表示します。 を押して操作してください。
は、１つ前のページに戻る、または１つ先のページに進むことができるときに表示されます。
１つ前に戻るときは を、
１つ先に進むときは を押してください。

戻る
戻る が表示されているときに、戻る を押すと、１つ前の画面を表示します。

おわる
おわる が表示されているときに、おわる を押すと、「Ｌモード」との接続を終了して待受画面に戻ります。

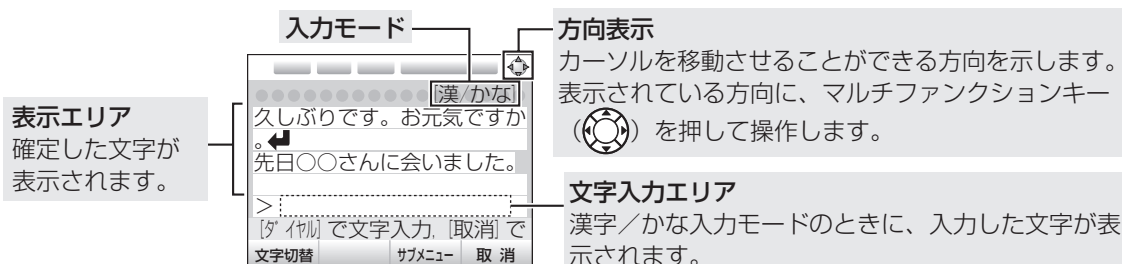
お知らせ

- コンテンツによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- コンテンツ提供者のサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 「Lモード」対応のページとは、「Lモード」に対応したタグ（ファイル中の特定の場所につけられた印）などで作成されたものです。文字のみのページや、画像（GIF、JPEG形式のみ）も表示できます。
- トップメニューを表示しているとき、「L モード」と回線が接続されている場合もあります。回線が接続されている場合は、ブラウザマークが表示されています。
- この取扱説明書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状が異なる場合があります。

Lモード利用時の文字入力について

メールの宛先（メールアドレス）・題名・本文やサイト（番組）のページなどで漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・絵文字などを入れることができます。

文字入力モード画面について

（例：メール本文の入力画面）

文字入力モードの切替え

文字切替 0 を押すごとに、入力モードが切り替わります。

絵文字一覧

文字を入力する

操作のしかた 漢字／かな入力モードで文字を入力する

1 で
文字を入力する入力欄を選ぶ

●選んだ入力欄は太線の枠で青色に表示されます。

2

●文字入力モードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで文字を入力する
(例)「ひさ」と入力します。

●変換しないときは、L/決定ボタンを押します。

4

●変換した文字が表示されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。(待受画面に戻ります。)

5 使いたい文字に変換されるまで 変 換 **または** 音 訓 **を押す**

●ボタンを押すたびに切り替わります。
　で選ぶこともできます。
●反転表示されている文字までが変換されます。
　で変換したい文字の範囲を調整することができます。

6 採 用 **を押す**

文字を削除するときは

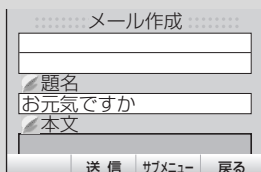
① で削除したい文字にカーソルを合わせる。
② 取消ボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

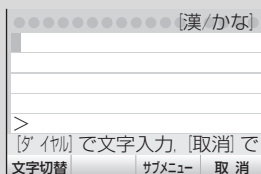
7 手順3～6を繰り返し行って文章を入力する

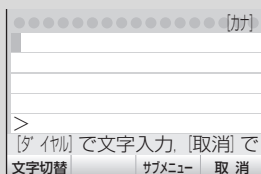
8 文章の入力が終わったら、

●文字入力モードが終了して手順1の画面に戻ります。

操作のしかた カナ・英字・数字モードで文字を入力する

1 で文字を入力する入力欄を選ぶ

●選んだ入力欄は太線の枠で青色に表示されます。

2 を押す

●文字入力モードに切り替わります。

3 文字切替 を数回押して入力モードを選ぶ

●選んだ入力モードが画面右上に表示されます。
●文字の入力モードが半[英]のとき を押すとサイト（番組）やメールのアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
を押して、文字を選んだあとL/決定ボタンを押します。

を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.or.jp」「.com」
「@pipopa.ne.jp」「www.」

4 ダイヤルボタンで文字を入力する

[カナ]
マイ
>
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
文字切替 サブメニュー 取消

●入力した文字は表示エリアに表示されます。次の文字を入力するか、文字切替ボタンを押すと入力した文字が確定します。

文字を削除するときは
① で削除したい文字にカーソルを合わせる。
② 取消ボタンを押すと選択した文字が削除される。
・削除した後ろの文字が詰まります。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。（待受画面に戻ります。）

■ **文字を挿入するときは**
で挿入したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて新しく文字を入力します。

■ **改行するときは**
で改行したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて、ダイヤルボタンで （改行）を押してください。表示エリアには ↵ が表示されます。（全角1文字分に相当します。）
メールの本文入力時のみ入力できます。ただし、数字入力モードや半角数字入力モードのときは「#」が入力されて改行は入力されません。

■ **定型文を挿入するときは**
文字入力モードが表示されている状態でサブメニューボタンを押して定型文を挿入する操作をしてください。（☞5-50ページ）

■ **区点モードで文字を入力するときは**
① 手順3で[区点]（区点入力モード）を選ぶ
② ダイヤルボタンで区点コードを入力する
区点コードは、区点コード一覧表（☞8-12～8-17ページ）を参照してください。
③ 入力した区点コードの文字が表示エリアに表示されます。

■ **絵文字モードで文字を入力するときは**
① 手順3で［絵文字］（絵文字入力モード）を選ぶ
② で入力したい絵文字を選ぶ
③ を押す
選択した文字が表示エリアに表示されます。

お知らせ
● 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

パスワードを変更／入力する

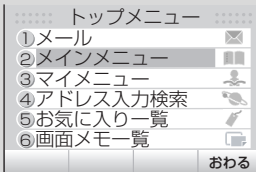
パスワードを変更する

Lモードのご利用にあたり、お客様の確認が必要な場合はパスワード（数字４ケタ）の入力が必要になります。ご契約時には「0000」に設定されていますが、他の方に不正に利用されることを防ぐために、お客様独自のパスワードに変更していただくことをおすすめします。詳しくは、別途NTTからお届けする「Lモード使用説明書」もご覧ください。

パスワードが必要な場合

（すべて同じパスワードを使用してください。）
- ◆有料番組の申込および解約
- ◆Ｌ案内メールサービスの申込および解約
- ◆パスワードの変更
- ◆各種サービス機能の変更や設定

操作のしかた

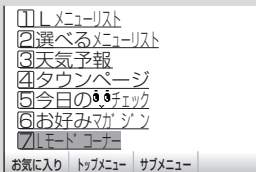
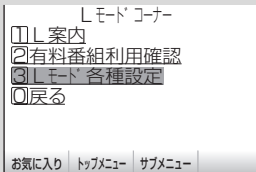
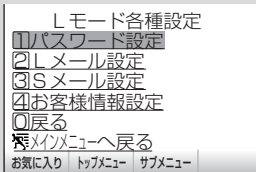
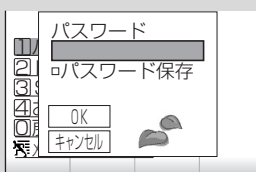
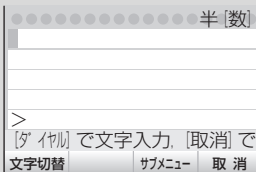
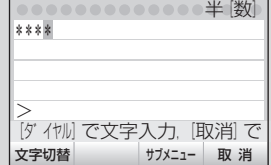
1 （決定）を押し、で「メインメニュー」を選ぶ

2 （決定）を押し、で「Ｌモードコーナー」を選ぶ

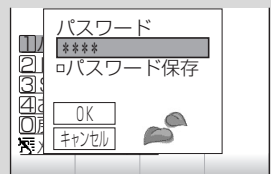
1Ｌメニューリスト
2選べるメニューリスト
3天気予報
4タウンページ
5今日のチェック
6お好みマガジン
7Lモードコーナー
お気に入り　トップメニュー　サブメニュー

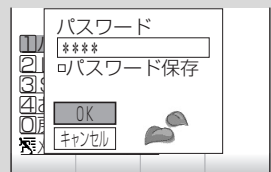
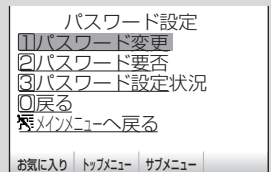
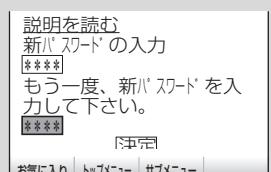
3 （決定）を押し、で「Ｌモード各種設定」を選ぶ

Ｌモードコーナー
1Ｌ案内
2有料番組利用確認
3Ｌモード各種設定
0戻る
お気に入り　トップメニュー　サブメニュー

4 （決定）を押し、「パスワード設定」を選ぶ

Ｌモード各種設定
1パスワード設定
2Ｌメール設定
3Ｓメール設定
4お客様情報設定
0戻る
メインメニューへ戻る
お気に入り　トップメニュー　サブメニュー

5 （決定）を押し、パスワード入力欄を選ぶ

6 （決定）を押す

7 変更前のパスワード（数字４桁）を入力する

- ●ご契約時は「0000」（数字４桁）に設定されています。
- ●２回目以降の変更の場合は、ご自分の設定されたパスワードを入力します。

8 （決定）を押す

●パスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。（ほかの方に見られるのを防ぐためです。）

9 で「OK」を選ぶ

10 （決定）を押し、「パスワード変更」を選ぶ

11 （決定）を押し、で項目を選び、新パスワード（数字４桁）を２回入力する

次ページへ→

→つづき

12 で「決定」を選ぶ

13 を押す

●パスワードが変更されました。

お知らせ

- パスワードを変更されない場合は「0000（数字4ケタ）」をパスワードとして設定されたと見なします。
- パスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。
- パスワードの変更方法や設定の状況を確認する方法については、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」をご覧ください。（2003年12月現在）

パスワードを入力する

ご契約後初めてお使いになるときは、パスワードが「0000」に設定されています。
「0000」以外のパスワードをお使いになる場合は、「パスワードを変更する」（☞5-12～5-13ページ）の操作でパスワードを変更することができます。

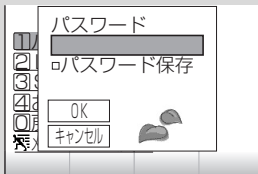
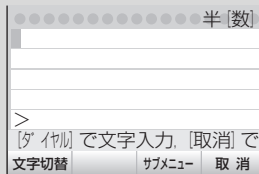
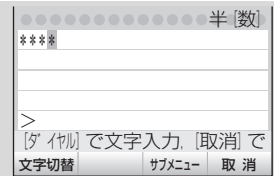
操作のしかた

1 パスワード入力画面が表示されたら、Ⓞ で パスワード入力欄を選ぶ

2 （決定）を押す

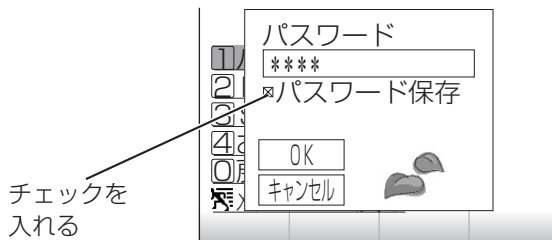
■ パスワード保存について

パスワードを入力するとき、Ⓞ で「パスワード保存」を選び、（決定）を押してチェックを入れると、パスワードが保存されます。

パスワードを保存すると、2回目からは入力の手間が省けます。
ただし、ほかの方もパスワードなしで操作できるようになるため、ご注意ください。

3 パスワード（数字4桁）を入力する

4 （決定）を押して Ⓞ で「OK」を選ぶ

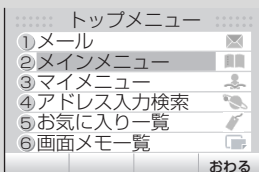
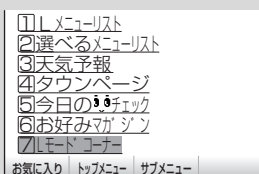
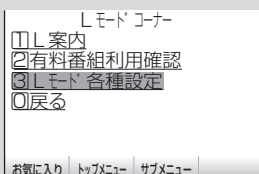
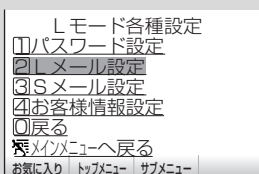
●パスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。（ほかの方に見られるのを防ぐためです。）

お知らせ

- 間違ったパスワードを入力した場合は再度パスワード入力画面が表示されます。この場合はパスワードをお確かめのうえもう一度パスワードの入力操作を行ってください。
- パスワードを４回連続して間違えて入力すると、メッセージが表示され、通信が自動的に切断されます。
- パスワードを保存した場合はご契約者本人以外の方が本商品からLモードを利用したときにも保存したパスワードが自動的に送信されます。
  本来パスワード入力が必要なサービスもご契約者と同様に利用可能となりますのでご注意ください。
- パスワード入力の要／不要を設定できる項目は、「マイメニューの利用」「メールサービスの利用」「サイト（番組）の閲覧」です。
  詳しくは、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。
- パスワードをお忘れになった場合については、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。

マイアドレスを変更する

メールアドレスは、ご契約時には「お客様の電話番号@pipopa.ne.jp」になっています。これを、「マイアドレス（お客様が任意に選ぶアドレス）@pipopa.ne.jp」に変えることができます。
不要なメール（迷惑メールなど）を受け取らないようにするために、マイアドレスへの変更をおすすめします。詳しくは、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」もあわせてご覧ください。

操作のしかた

1 **（決定）を押し、（方向キー）で「メインメニュー」を選ぶ**

2 （決定）を押し、（方向キー）で「Lモードコーナー」を選ぶ

3 （決定）を押し、（方向キー）で「Lモード各種設定」を選ぶ

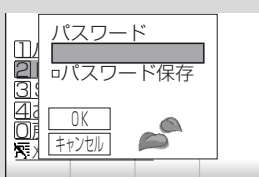
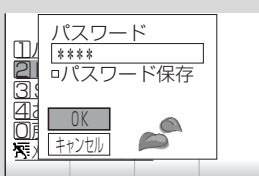
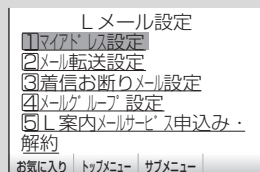
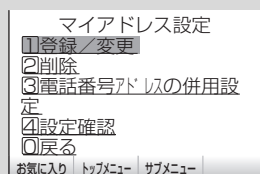
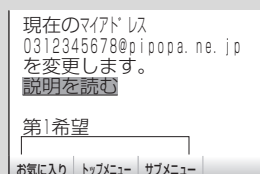
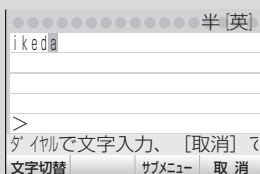
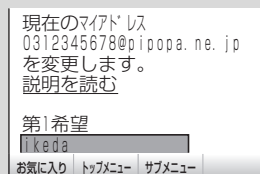
4 （決定）を押し、（方向キー）で「Lメール設定」を選ぶ

5 （決定）を押す

6 お客様の設定されたパスワード（設定していないときは数字の「0000」）を入力し、（方向キー）で「OK」を選ぶ

7 （決定）を押し、「マイアドレス設定」を選ぶ

8 （決定）を押し、「登録／変更」を選ぶ

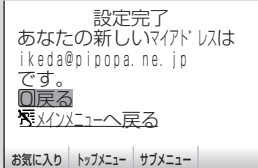
9 （決定）を押す

10 （方向キー）で「第1希望」の入力欄を選び、（決定）を押してから、マイアドレス（@より前の部分）を入力する

11 （決定）を押す

●第1希望の欄に入力したアドレスが表示されます。

次ページへ→

→つづき

12 第2希望、第3希望のマイアドレスも手順10～11と同じように入力する

13 すべて入力が終わったら、「決定」を選び、(決定)を押す

設定完了
あなたの新しいマイアドレスは
ikeda@pipopa.ne.jp
です。
0戻る
メインメニューへ戻る
お気に入り トップメニュー サブメニュー

- 登録したマイアドレスが表示されます。
- ほかのお客様が使用しているマイアドレスは登録できません。
- 画面に「ご希望のメールアドレスはすでに使用されています」と表示された場合は、メールアドレスの変更ができませんでしたので、再度別のマイアドレスの入力をお試しください。

■ **マイアドレスに使える文字**

使える文字　（2003 年 12 月現在）

半角英数字	A~Z（大文字、小文字の区別なし）0~9
記号	－（ハイフン） ＿（アンダーバー） .（ピリオド） ※ピリオドは最後の一文字には使用できません。
文字数	3文字以上16文字以内

マイアドレスの部分は、ご自分のお名前そのものや簡単な英数字の組み合わせ（例：ABCDe、1234A）など他の方に推測されやすいものは、迷惑メールや間違いメールが届く原因ともなりますので、文字の組み合わせには十分気をつけて、お選びください。
選ばれたマイアドレスが、既に他のお客さまに使われている場合には、そのアドレスはご利用いただけません。

お知らせ

- マイアドレスの設定には通信料がかかります。
- マイアドレスへの変更を完了しますと、すぐに新しいメールアドレスをご利用になれます。
- マイアドレスは何回でも変更することができます。
- マイアドレスを変更してから一定期間内は、変更したお客さまのみが変更前のマイアドレスに戻すことができます。その期間内は変更前のマイアドレスが他のお客さまへ提供されることはありません。

変更前マイアドレスのご利用期間	マイアドレス変更後に、変更前のマイアドレスに戻すことができる期間
1日未満（24時間以内）	なし
1日以上10日未満	マイアドレスを変更後10日間
10日以上	マイアドレスを変更後90日間

- メールアドレスの変更後も、アドレスを変更する前に届いていた未読メールを読むことができます。
- お引越しなどによりお客さまのご利用電話番号が変更になった場合、電話番号アドレス（ご利用電話番号@pipopa.ne.jp）は変わりますが、マイアドレスは変更されません。

迷惑メールを防止する

着信お断りメールのアドレスを登録する

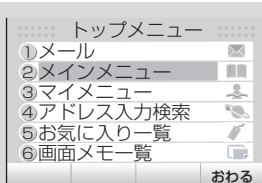
迷惑メールを防止するには次の２つの方法があります。

1 マイアドレスを設定する（☞5-15〜5-16ページ）
2 迷惑メールのお断り機能を利用する

※2については、送信元のメールアドレスがわかっている迷惑メールや勧誘メールなどの不要なメールをあらかじめ登録しておくと、登録したメールアドレスから送られてくるメールの受信を拒否することができます。

- 登録できるメールアドレスは最大30件までです。
- 詳しくは、別途NTTから提供される「Ｌモード使用説明書」をご覧ください。

操作のしかた

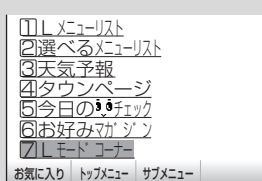
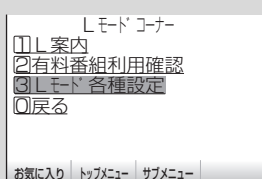
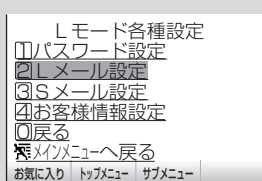
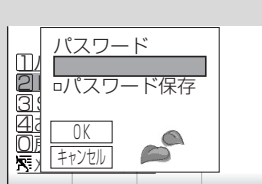
1 （決定）を押し、（◎）で「メインメニュー」を選ぶ

2 （決定）を押し、（◎）で「Ｌモードコーナー」を選ぶ

1 Ｌメニューリスト
2 選べるメニューリスト
3 天気予報
4 タウンページ
5 今日のチェック
6 お好みマガジン
7 Ｌモードコーナー
お気に入り｜トップメニュー｜サブメニュー

3 （決定）を押し、（◎）で「Ｌモード各種設定」を選ぶ

4 （決定）を押し、（◎）で「Ｌメール設定」を選ぶ

Ｌモード各種設定
1 パスワード設定
2 Ｌメール設定
3 Ｓメール設定
4 お客様情報設定
0 戻る
メインメニューへ戻る
お気に入り｜トップメニュー｜サブメニュー

5 （決定）を押す

6 お客様の設定されたパスワード（設定していないときは数字の「0000」）を入力し、（◎）で「ＯＫ」を選ぶ

パスワード
＊＊＊＊
□パスワード保存
OK
キャンセル

7 （決定）を押し、「着信お断りメール設定」を選ぶ

8 （決定）を押し、「お断りメールアドレスの登録」を選ぶ

着信お断りメール設定
1 お断りメールアドレスの登録
2 お断りメールアドレスの削除
3 設定確認
0 戻る
メインメニューへ戻る
お気に入り｜トップメニュー｜サブメニュー

9 （決定）を押す

次ページへ→

→つづき

10 で「お断りメールアドレスの入力」の入力欄を選ぶ

現在の登録されているお断りメールアドレスはありません。
あと30件登録できます。
説明を読む
お断りメールアドレスの入力
お気に入り トップメニュー サブメニュー

11 を押す

12 お断りメールアドレスを入力する

●登録可能なメールアドレスの文字は、半角で50文字以内です。

13 を押す

現在の登録されているお断りメールアドレスはありません。
あと30件登録できます。
説明を読む
お断りメールアドレスの入力
abcdefg@xxxx.yyy
お気に入り トップメニュー サブメニュー

●登録されているお断りメールアドレスの件数が表示されます。

14 で「決定」を選び、 を押す

設定完了
abcdefg@xxxx.yyy
を登録しました。
登録を続ける
0戻る
メインメニューへ戻る
お気に入り トップメニュー サブメニュー

●「登録を続ける」を選びL/決定ボタンを押すと続けてお断りのメールアドレスを登録することができます。
●お断りメールアドレスの登録が完了し、登録内容が表示されます。

■ **お断りメールアドレスを削除するには**

① 手順8で「お断りメールアドレスの削除」を選ぶ
② を押し、 でお断りメールアドレスが表示されている入力欄を選ぶ
③ を押し、 で削除するお断りメールアドレスを選ぶ
④ を押し、 で「決定」を選ぶ
⑤ を押し、「はい」を選ぶ
⑥ を押す
⑦ お断りメールアドレスの削除を続ける場合は、 で「削除を続ける」を選んで を押す
⑧ 上記の③から操作する

お知らせ

●「Lモード」と通信中は、通信料金がかかります。
● 各選択画面の項目や表示順などは、変更されることがあります。
● 着信お断りメール送信者が、グループアドレスを変更している場合、電話番号および任意のグループアドレスの両方に対して迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否します。
グループについては、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」を参照してください。
● 着信お断り機能を設定すると、マイアドレスと利用電話番号アドレスの併用をしている場合、利用電話番号アドレスおよびマイアドレスの両方に対して迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否します。
● 迷惑メールお断り機能が働き、メールの受信を拒否した場合、相手の方には送信されてきたメールに「こちらはLメールシステムです。受信者のご都合によりメールを送信できませんでした。」を付け加え返信します。
● マイアドレスと利用電話番号アドレスを併用している場合、送信するメールの送信元アドレスはマイアドレスとなります。(2003年12月現在)

各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの（マルチファンクションキー）で選びます。

表示文字サイズ

はたらき	メールの内容やブラウザで表示される文字のサイズを設定できます。 はじめは、「標準」に設定されています。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「L 設定」を選ぶ → 決定 → 「表示文字サイズ」を選ぶ → → 決定 → ⊙標準 ○小 のどちらかを選ぶ → 決定 → OK を選ぶ → 決定 → 決定

メール自動受信

はたらき	「L モード」に蓄積された新着メールを、自動的に受信する機能の設定ができます。 くわしい設定のしかたは、5-37 ～ 5-39 ページをご覧ください。 はじめは、「しない」に設定されています。

添付画像自動受信

はたらき	メール受信時に、受信されたメールに添付画像がある場合、自動的に縮小画像を読み込んで保存しておくことができます。 はじめは、「する」に設定されています。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「L 設定」を選ぶ → 決定 → 「添付画像自動受信」を選ぶ → → 決定 → ⊙する ○しない のどちらかを選ぶ → 決定 → OK を選ぶ → 決定 → 決定

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **前に戻るときは**

戻る を押します。

機能ロック

はたらき	Lモードの機能に4ケタの解除キー（暗証番号）でロックをかけます。メール機能、ブラウザ機能それぞれに設定できます。ロックしたあとは、機能の利用時に解除キーの入力画面が表示され、正しい解除キーを入力すると機能を利用することができます。 はじめは、メール機能、ブラウザ機能とも「ロックしない」に設定されています。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「L 設定」を選ぶ → 決定 → 「機能ロック」を選ぶ → 決定 » » ①情報検索 ②メール でロックする機能のどちらかを選ぶ → 決定 → ○1．ロックする ⊙2．ロックしない でどちらかを選ぶ → 決定 » 「1．ロックする」を選んだとき » で OK を選ぶ → 決定 → で解除キーの入力欄を選ぶ → 決定 » » 解除キーを入力する（数字4ケタ） → 決定 → で OK を選ぶ → 決定 → 決定 「2．ロックしない」を選んだとき » で OK を選ぶ → 決定 → 決定

※ ここで入力する解除キーは、ご契約後に設定するパスワード（☞5-12～5-13ページ）とは異なるものです。解除キーを忘れたときは、上記の操作で「ロックしない」に設定したあと、もう一度「ロックする」に設定し、新たに解除キーを入力してください。

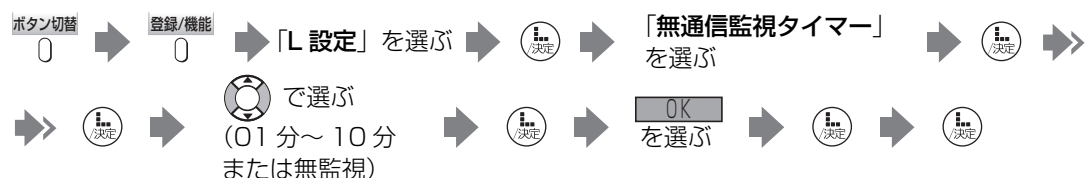
無通信監視タイマー

はたらき	「L モード」にアクセスしてから、回線が接続されたままで設定した時間がたつと、自動的に回線を切断します。（操作中やプリント中でも切断します。） 01 分～ 10 分または無監視に設定できます。無監視に設定した場合でも、「L モード」とデータのやりとりが一定時間ない場合は回線が切断されますのでご注意ください。 はじめは、「02分」に設定されています。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「L 設定」を選ぶ → 決定 → 「無通信監視タイマー」を選ぶ → 決定 » » 決定 → で選ぶ（01 分～ 10 分または無監視） → 決定 → OK を選ぶ → 決定 → 決定

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 前に戻るときは

戻る を押します。

端末機器自動設定

はたらき	Lモードをはじめてご利用になる場合、設定センターからアクセスポイント電話番号を登録します。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「**L 設定**」を選ぶ → 決定 → 「**端末機器自動設定**」を選ぶ → → 決定 → [Lモードサービス利用時にお客様電話番号の通知が必要です 通知しますか？ はい いいえ] → 「**はい**」を選ぶ → 決定 → [Lモードサービスの利用に必要な情報のダウンロードが終了しました OK] → 決定

センター番号確認

はたらき	端末機器自動設定で登録されたアクセスポイント電話番号をディスプレイに表示することができます。アクセスポイント電話番号が登録されていないときは、表示されません。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「**L 設定**」を選ぶ → 決定 → 「**センター番号確認**」を選ぶ → 決定 → （センター番号が表示されます。） → 決定

証明書設定

はたらき	暗号化通信（☞5-59、5-62 ページ）に必要な証明書を表示し、有効にする・無効にするの設定をします。無効にすると、その証明書が認証するサイトへ接続するときに、「接続先の認証に失敗しました　暗号化通信を終了します」と表示されます。（接続できなくなります。） はじめは、すべて「有効」に設定されています。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「**L 設定**」を選ぶ → 決定 → 「**証明書設定**」を選ぶ → 決定 → → 設定したい証明書を選ぶ → 確認（証明書の内容を確認できます） → 有効 無効 のどちらかを押す → 他の証明書も同じように設定する。すべて設定したら 停止 を押す。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **前に戻るときは**

戻る を押します。

電話帳送信

はたらき	親機に登録した電話帳の内容を「L モード」に送信して一時保管することができます。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「**L 設定**」を選ぶ → 決定 → 「**電話帳送信**」を選ぶ → 決定 → 「**はい**」を選ぶ → 決定 → 送信先メールアドレスを入力して、電話帳データを送信します。操作方法は 5-81 ページをご覧ください。

お気に入り送信

はたらき	親機に登録したお気に入りのデータを「L モード」に送信して一時保管することができます。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「**L 設定**」を選ぶ → 決定 → 「**お気に入り送信**」を選ぶ → 決定 → 「**はい**」を選ぶ → 決定 → 送信先メールアドレスを入力して、お気に入りデータを送信します。操作方法は 5-81 ページをご覧ください。

画像表示

はたらき	サイトやメッセージに含まれている画像を読み込まないようにできます。 はじめは、「表示する」に設定されています。
手順	親機で設定します ボタン切替 → 登録/機能 → 「**L 設定**」を選ぶ → 決定 → 「**画像表示**」を選ぶ → 決定 → ⊙表示する ○表示しない のどちらかを選ぶ → 決定 → OK を選ぶ → 決定 → 決定

■ **途中でやめるときは**

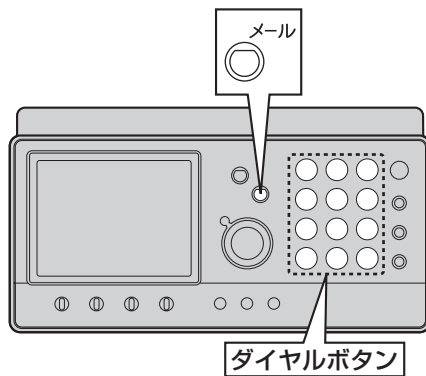
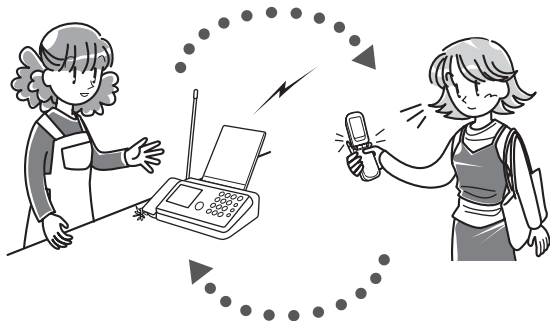
停止 を押します。

■ **前に戻るときは**

戻る を押します。

第5章
Lモード<メール>

メールについて

Lモードの利用者同士だけでなく、パソコンや携帯電話をお使いの方とも、メールのやりとりができます。

メールメニューについて

メール を押すとメールメニューが表示されます。（未読メールがある場合は受信メール一覧が表示されます。）

決定 を押し、「メール」を選んでから 決定 を押して表示することもできます。

便利なメールの設定や機能について

下記の設定の詳細については、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」もご覧ください。

● **パスワード設定（変更のしかた** **☞5-12 ～ 5-13 ページ****）**
メールやサイトによっては、パスワードが必要になります。

● **マイアドレス設定（設定のしかた** **☞5-15 ～ 5-16 ページ****）**
メールのメールアドレスは、ご契約時は「お客様の電話番号 @pipopa.ne.jp」となっています。

● **メール転送設定（「L モード使用説明書」をご覧ください）**
メールの転送機能の設定と、その際の転送先アドレスを登録することができます。

● **着信お断りメール設定（「L モード使用説明書」をご覧ください）**
受信したくない相手の方からのメールに対して、こちら側では受信を拒否していることを伝えるメールを自動的に返信することができます。あらかじめメールを受信したくない相手の方のメールアドレスを登録しておくことが必要です。これにより不要なメールの受信を避けることができます。

● **メールグループ設定（「L モード使用説明書」をご覧ください）**
同じ内容のメールを複数の相手（グループ）に送るとき便利な機能です。メールグループは 10 件まで設定でき、各メールグループには 49 件までの送信先アドレスを登録できます。

メールの送受信可能文字数

メールで送信／受信できる文字数は次のとおりです。

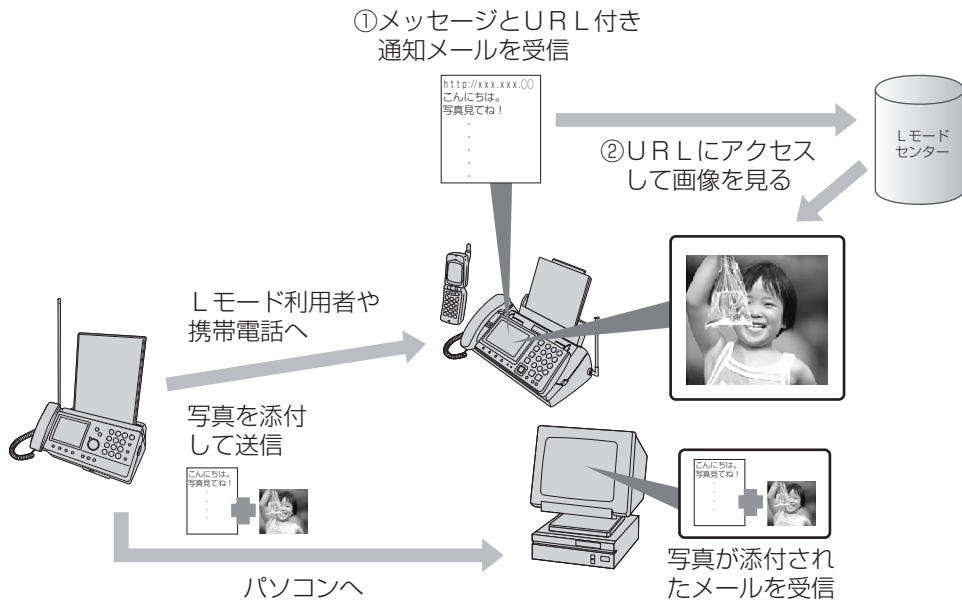
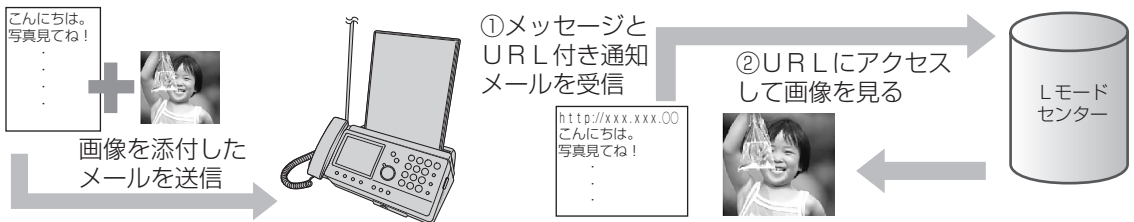
項　目	全角文字（漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字）の場合	半角文字（英字、数字、カタカナ）の場合
宛先 (メールアドレス)	25 文字	50 文字
題　名	30 文字	60 文字
本　文	2000 文字	4000 文字

● 半角カタカナのメールを送信／受信した場合、正しく表示されない場合がありますので、「Lモード」利用者どうしでのメールのやりとり以外には半角カタカナを使用しないでください。
● 本文が全角2000文字（半角4000文字）を超えるメールを受信した場合、全角2000文字目（または半角4000文字目）からは自動的に削除されます。全角2000文字を超えているときは（全角2000文字目に）「＊」が表示されます。
なお、画像付きメールのときは、本文に追加されるURLを含んで全角2000文字です。
● 宛先（メールアドレス）には、絵文字は使用できません。
● 文字 (スペース含む) には全角と半角がありますので、入力するときは間違えないように注意してください。
● 本文の改行マークは全角 1 文字として扱われます。

お知らせ
● e-mailからの添付ファイル（JPEG形式を除く）を受信することはできません。
●「Lモード」と通信中は、通信料金がかかります。

写真Ｌメール（画像を添付したメールの送受信）について

- 写真Ｌメールとは、Ｌモード利用者やパソコン、携帯電話をお使いの方との間で写真などの画像が添付されたメール（画像付きメール）の送受信ができるサービスのことです。

  ※写真Ｌメールのサービスご利用にあたって、Ｌモードの利用契約以外に、新たに申し込みや月額使用料などは発生しません。「Ｌモード」への接続中は通話料金がかかります。
- 本商品からＬモード利用者や携帯電話をお使いの方に画像付きメールを送ると、相手の方へは、メッセージとURL付き通知メールを送信します。受け取ったURLにアクセスすると送られてきた画像を見ることができます。
- 本商品からパソコンをお使いの方に画像付きメールを送ると、相手の方は、画像が添付されたメールを受け取ります。

- 本商品では、写真などの画像データ（JPEG形式）が添付されたメールを受け取ることができます。
  メッセージとURL付の通知メールを受け取り、そのURLにアクセスして、送られてきた画像を見たり、元データをダウンロードして保存することができます。

お知らせ

- 「Ｌモード」で送受信できる画像は200KBまでです。パソコンなどから200KBを超える画像が送られてくると削除されます。
- 「Ｌモード」でメールとは別に保存できる画像の合計容量は2MBまでです。（「Ｌモード」で受信可能な最大サイズ200KBの画像なら10枚程度、携帯電話から送信された画像なら最大100枚まで保存できます。）これを超えると、画像付きメールは受信できません。このとき、送信者には、「Ｌモード」から「こちらはＬメールシステムです。受信者のご都合によりメールを送信できませんでした。」という内容のメッセージが送信されます。

メールを新しく作って送信する

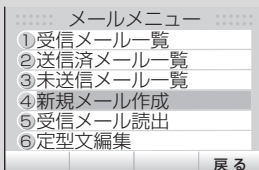
メールを作る

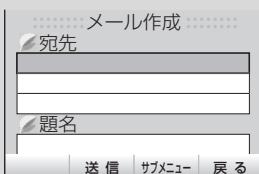
新規にメールを作成するには、「宛先（メールアドレス）」「題名」「本文」を入力します。作成したメールは、「Lモード」利用者やインターネットを経由して、e-mailをお使いの方へ送信します。

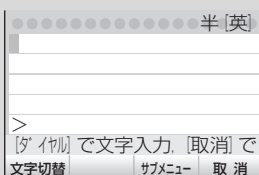
操作のしかた

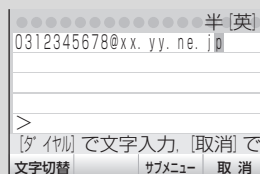
1 メール を押す

●メールメニューが表示されます。
●次の方法でもメールメニューが表示できます。L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す
●未読メールがある場合は受信メール一覧が表示されますので、戻る を押してください。

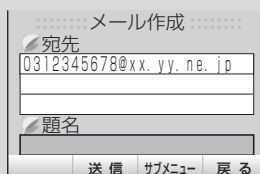
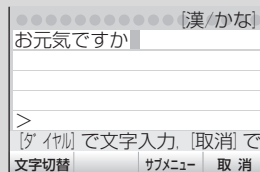
2 で「新規メール作成」を選ぶ

●「メールが満杯です　未送信・送信済メールを削除して下さい」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。
送信済メールと未送信メールは、合わせて50件まで保存できます。

3 決定 を押し、宛先の入力欄を選ぶ

●宛先の入力欄は3つあり、宛先を3件まで指定できます。それぞれの入力欄には1件の宛先のみ入力してください。

4 決定 を押す

●文字の入力画面になります。

5 宛先を入力する

●半角で50文字まで入力できます。
改行はできません。
スペースは使用しないでください。
●文字の入力モードが半[英]のとき を押すとサイト（番組）やメールのアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
を押して、文字を選んだあとL/決定ボタンを押します。

を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.or.jp」「.com」
「@pipopa.ne.jp」「www.」

6 決定 を押し、で題名の入力欄を選ぶ

7 決定 を押し、題名を入力する

●全角30文字分（半角60文字）まで入力できます。改行はできません。

次ページへ→

→つづき

8 （L/決定）**を押し、本文の入力欄を選ぶ**

9 （L/決定）**を押し、本文を入力する**

●全角2000文字（半角4000文字）まで入力できます。

10 （L/決定）**を押す**

●（送信）を押すと、「Lモード」に接続して、作成したメールを送信します。

■ **電話帳に登録しているメールアドレスを検索して宛先に設定するには**

①「メールを作る」（☞5-27～5-28ページ）の手順１～３までを操作する
② 宛先を選び（L/決定）を押す
③（サブメニュー）を押し、「電話帳呼出」を選ぶ
④（L/決定）を押す
⑤（方向キー）で送信先を選ぶ
⑥（L/決定）を押す
⑦ もう一度、（L/決定）を押す
メール作成画面に変わり、選んだ宛先が入力されます。

■ **不要なメールを削除するときは（☞5-56ページ）**

11（サブメニュー）**を押し、**（方向キー）**で「保存」を選ぶ**

メール作成
題名 / 1. 送信 / 2. 保存 / 3. 添付画像選択
お元気ですか
本文
久しぶりです。お元気ですか。
閉じる

●「送信」を選んでL/決定ボタンを押す→「はい」を選んでL/決定ボタンを押す、と操作すると、「Lモード」に接続して、作成したメールを送信します。

12 （L/決定）**を押す**

13「はい」を選んで（L/決定）**を押す**

●作成したメールが「未送信メール」として本機に保存されます。

■ **文字を入力するときは「Lモード利用時の文字入力について」（☞5-9～5-11ページ）**

■ **定型文を挿入するときは（☞5-50ページ）**

■ **途中でやめるときは**

（停止）を押します。（待受画面に戻ります。）

■ **電話帳1件表示からメールを作るときは**

①（方向キー）、（一覧表示）と押し、メールの宛先にしたい方を（方向キー）で選んで（詳細表示）を押す
②（方向キー）でメールアドレスを選ぶ
③（L/決定）を押す
選んだメールアドレスが入力済みのメール作成画面が表示されます。
④（方向キー）で題名の入力欄を選び、「メールを作る」（☞5-27～5-28ページ）の手順７から操作を行う

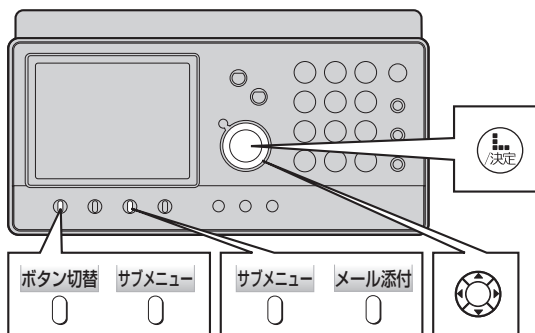
お知らせ

- 宛先、題名、本文それぞれの入力可能桁数を超えた場合は、新たに文字を入力できなくなります。
- 「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 回線が接続されていない状態でメール作成中にかかってきた電話を受けることができます。文字を入力中は、通話を終了すると手順6・8・10の画面に戻ります。
- 相手側が「Lモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側で正しく表示できない場合があります。
- 絵文字の利用は、メール送受信のときだけ可能です。（ただし、相手側が「Lモード」利用者以外の場合は、正しく表示できない場合があります。）

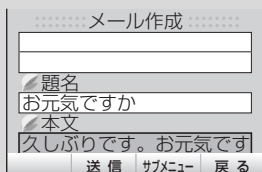
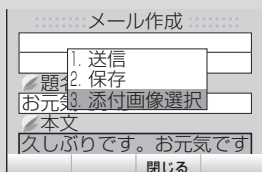
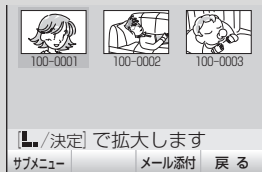
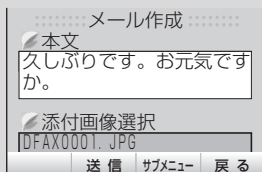
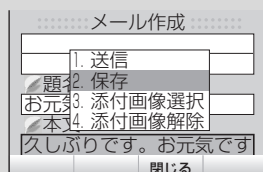
写真付きのメールを作る

メールで受信した画像や、SDメモリーカード対応のデジタルカメラや携帯電話で撮影した画像を、メールに添付して送ることができます。

●Lモード利用者や携帯電話宛てに送ると、相手側はメッセージとURL付きの通知メールを受け取り、そのURLにアクセスして画像を見ます。

●パソコン宛てに送ると、相手側は添付データとして受信します。

操作のしかた あらかじめ、送りたい画像が保存されているメモリーやフォルダを選んでおきます。(☞4-22、4-30ページ)

1 **SDメモリーカードに登録されている画像を送信するときは、親機にSDメモリーカードを取り付ける**

2 **「メールを作る」(☞5-27ページ)の手順1～10を行ってメールの「宛先」「題名」「本文」を入力する**

3 **サブメニュー を押して で「添付画像選択」を選ぶ**

4 **決定 を押す**

5 **で添付する画像を選び、メール添付 を押す**

6 **サブメニュー を押して で「保存」を選ぶ**

●「送信」を選んでL/決定ボタンを押す→「はい」を選んでL/決定ボタンを押す、と操作すると、「Lモード」に接続して、作成したメールを送信します。

7 **決定 を押す**

8 **「はい」を選び、決定 を押す**

●作成したメールが「未送信メール」として保存されます。

■ 画像を選んでからメールを添付するには

① ボタン切替 を押す

② 登録/機能 を押す

③ 写真メニュー を押す

④ で添付する画像を選び メール添付 を押す

⑤メールの「宛先」「題名」「本文」を入力する

⑥ 操作のしかた の手順6～8の操作をする

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。(待受画面に戻ります。)

■ メールを作るときは (☞5-27～5-28ページ)

■ **画像を添付したメールを編集するときは**
（「メールを編集する」 ☞5-52〜5-53ページ）

お知らせ

- 宛先、題名、本文それぞれの入力可能桁数を超えた場合は、新たに文字を入力できなくなります。
- 一つのメールに対して添付できる画像は1件のみです。
- 「ダウンロード コピー不可」フォルダ(☞4-30ページ)に保存されている画像データは添付できません。
- 画像データを添付するときに、サイズ変換などの処理が行われるため、元の画像と送信される画像に多少の違いが生じることがあります。その結果、200KBを超えたときは添付できません。なお、画質の異なる画像も、この処理により、同程度の画質になります。また、大きなサイズの画像は、640×480ドット程度になります。
- 送信メールに添付した画像は親機の「本体画像メモリー」に登録されます。(☞4-30ページ)
  メモリーが一杯になったときは、画像が添付されたメールなどを削除してメモリーを空けてください。
- 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側で正しく表示できない場合があります。
- Ｌモード以外のメールサービスをご利用の方とメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
- 絵文字の利用は、メール送受信のときだけ可能です。（ただし、相手側が「Ｌモード」利用者以外の場合は、正しく表示できない場合があります。）
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- Ｌモードの通信中に、回線の通信状況などによりメールの送受信ができない場合も、通信料がかかります。
- Ｌモード利用者や携帯電話をお使いの方に送信した画像データは、「Ｌモード」に14日間保存されます。
- 画像を添付したメールの送信には、数分かかることがあります。
- 相手の方がお使いの端末によっては、画像がうまく表示できないことがあります。また、画像によっては、見えにくいことがあります。
- メール送信中に、SDメモリーカードを取り外さないでください。

メールを送信する

操作のしかた 送信メールを作成してから操作します。

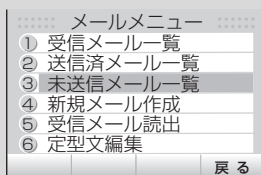
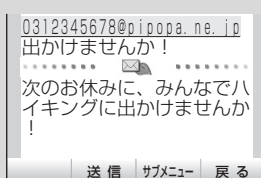
1 メール ボタンを押す

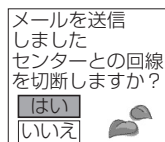
- メールメニューが表示されます。
- 次の方法でもメールメニューが表示できます。L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す
- 未読メールがある場合は受信メール一覧が表示されますので、戻る ボタンを押してください。

2 上下ボタンで「未送信メール一覧」を選ぶ

3 L/決定ボタンを押し、上下ボタンで送信したいメールを選ぶ

4 L/決定ボタンを押し、メールの内容を表示する

■ **送信メールを作成するには**
（☞5-27〜5-30ページ）

5 送信 ボタンを押し、送信が終わったら「はい」を選ぶ

6 L/決定ボタンを押す

- 回線が切断され、メールメニューに戻ります。
- 送信したメールは「送信済メール」として本機に保存されています。

アドバイス！

メールの設定が正しいかどうかを確認するためにまず、ご自分宛にメールを作成して送信してみることをおすすめします。受信のしかたは5-40ページをご覧ください。

■ **途中でやめるときは**

停止 ボタンを押します。（待受画面に戻ります。）

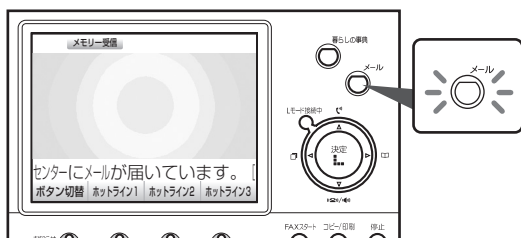
お知らせ

- Ｌモード利用者や携帯電話をお使いの方に送信した画像データは、「Ｌモード」に14日間保存されます。
- 画像を添付したメールの送信には、数分かかることがあります。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- メール送信中など回線が接続されているときは、電話やファクスを使用できません。
- 回線の状態によっては、「Ｌモード」と接続できない場合があります。「Ｌモード」と接続できなかった場合は、「接続に失敗しました」と表示されます。
- Lモード以外のメールサービスをご利用のお客さまとメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
- Lモードの通信中に、回線の通信状況等によりメールの送受信ができない場合も、通信料がかかります。

メールを受信する／表示する

メールが届いたときは

● メッセージ到着お知らせサービス（メッセージあり通知）を利用すると、「Ｌモード」に新着メールが蓄積されたときに、ディスプレイに「センターにメールが届いています。…」と表示され、メール◎ が赤色に点灯します。点滅しているときは未読メールがあります。

※「Ｌモード」に新着メールが届くと、以下のように表示されます。（画面は緑色に表示されます。）

※ 新着メールが届くと、親機のみメロディーでお知らせします。メール到着通知音を「あり」に設定してください。（はじめは、「あり」に設定されています。☞5-34 ページ）

※「Ｌ モード」での新着メール保管件数は最大約 200 件、保管期間は 14 日間です。14 日間を超えた新着メールは自動的に削除されます。

●「センターにメールが届いています。…」と表示されただけでは、まだ本機にメールは受信されていません。メール自動受信の設定（☞5-37～5-39ページ）が、「センターにメール到着時」になっているときは、続いて自動的にメールを受信します。メール自動受信をしない設定のときは、「メールを手動受信する」（☞5-40ページ）の操作でメールを受信してください。（はじめは、「しない」設定になっています。）
受信したメールは親機に保存されて、内容を見ることができます。

※ メール自動受信でメールを本機に受信すると、親機のみメロディーでお知らせします。メール受信完了音を「あり」に設定してください。
（はじめは、「あり」に設定されています。☞5-41 ページ）

お知らせ

● メール到着通知音、メール受信完了音の音量は、親機の着信音量と連動しています。「親機の着信音量を変える」（☞1-32ページ）の操作で変更できます。また、「親機の着信音を鳴らさないようにする」（☞1-32ページ）の操作で最小の音量になります。
● 受信メールの本文は全角で2000文字（半角4000文字）まで受信できます。（画像付きメールのときは、URLの文字数も含みます。）
● 受信メール一覧やメールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは ◎ でスクロールさせて表示してください。
● 保存できる受信メールは99件までです。99件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外の古いメールから自動的に削除されます。
● メールを受信したとき、未読メールと保護メールの件数が合わせて99件を超えると「メールが満杯です　受信メールを削除して下さい」と表示されます。そのときは、未読メールの内容を確認するか、保護メールを解除して不要なメールを消去してください。
●「Ｌモード」に受信メールがなかったときは、「受信メールがありません」と表示されます。
●「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。

Lモード利用時のメッセージ到着お知らせサービスについて

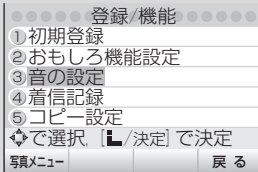
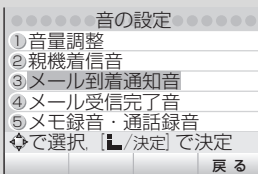
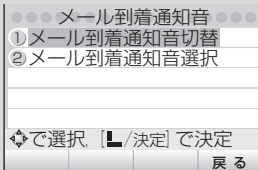
- Ｌモードにはメッセージ到着お知らせサービスが含まれています。
- メッセージ到着お知らせサービスは一部地域ではご利用いただけません。この場合は使用料（20円）は不要です。
- メッセージ到着お知らせサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの機能設定が「使用する」になっていることを確認してください。（☞6-3ページ）
- メッセージ到着お知らせサービスは、ナンバー・ディスプレイを契約されていなくても利用することができます。
- 通信中や操作中は、メッセージあり通知を表示しません。
- 停電時、メッセージ到着お知らせサービスは利用できません。
- 「センターにメールが届いています。…」を表示中に停電し、その後復旧すると「センターにメールが届いています。…」の表示はしません。
- 「センターにメールが届いています。…」の表示は、メッセージセンターからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 「センターにメールが届いています。…」が表示されていないのにバックライト消灯時にお知らせ確認ランプが点滅しているときは、7-23〜7-24ページをご覧ください。
- 端末機器自動設定（☞5-5、5-21 ページ）が正しく設定されていない場合、メッセージ到着お知らせサービスのメッセージが正常に表示されないことがあります。
- センターにメールが届いているときは、受話器を取り上げたときに「ツー」という音とは違う「ツッ」という短い音が聞こえることがあります。これはセンターにメールが届いていることをお知らせしているもので故障ではありません。

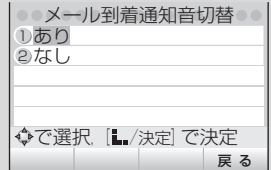
メール到着通知音の設定を変更する

「Ｌモード」に新着メールが蓄積されたことをお知らせする、メール到着通知音のあり・なしを変更することができます。はじめは「あり」に設定されています。

操作のしかた

1 **を押す**

2 登録/機能 **を押し、** **で「音の設定」を選ぶ**

3 決定 **を押し、** **で「メール到着通知音」を選ぶ**

4 決定 **を押し、** **で「メール到着通知音切替」を選ぶ**

5 決定 **を押し、** **でいずれかの項目を選ぶ**

メール到着通知音切替
①あり
②なし
で選択, [/決定] で決定
戻る

●メール到着通知音を鳴らさないときは「なし」を選びます。

6 決定 **を押す**

●選んだ項目に設定されます。

7 停止 **を押す**

■ **1つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **メール到着通知音の種類を変更するときは**

① ボタン切替 を押す

② 登録/機能 を押し、 で「音の設定」を選ぶ

③ 決定 を押し、 で「メール到着通知音」を選ぶ

④ 決定 を押し、 で「メール到着通知音選択」を選ぶ

⑤ 決定 を押し、 で設定したい通知音を選ぶ

②〜⑥の項目は、「Ｌモード」からメロディーをダウンロード（☞5-65ページ）すると表示されます。

⑥ 決定 を押し、 で「登録する」を選び 決定 を押す

「演奏する」を選んで 決定 を押すと、通知音を試聴することができます。

⑦ 停止 を押す

メール自動受信とは

「Lモード」からメッセージあり通知を受けたり、あらかじめ設定した時刻になるごとに、自動的にメールを受信できます。自動受信をするたびに通信料金がかかりますので、ご注意ください。

メール自動受信の例

センターにメール到着時

9時
メール１「Lモード」着
本機に通知「センターにメールが届いています」
自動受信：メール１を受信

メール２「Lモード」着
1時
本機に通知「センターにメールが届いています」
自動受信：メール２を受信

メール３「Lモード」着
本機に通知「センターにメールが届いています」
自動受信：メール３を受信
5時

設定した時刻（午後５時に設定）

メール１「Lモード」着
本機に通知「センターにメールが届いています」
メール２「Lモード」着
本機に通知「センターにメールが届いています」
メール３「Lモード」着
本機に通知「センターにメールが届いています」
自動受信：メール１、２、３を受信

※メールがないときでも設定時刻になると受信動作をします。

設定時刻にセンターにメールが到着していたとき（午後５時に設定）

メール１「Lモード」着
本機に通知「センターにメールが届いています」
メール２「Lモード」着
本機に通知「センターにメールが届いています」
メール３「Lモード」着
本機に通知「センターにメールが届いています」
メッセージあり通知を確認
自動受信：メール１、２、３を受信

■ **メール自動受信を設定するには**
(☞5-37〜5-39ページ)

■ **アップロードした電話帳やお気に入りのデータ(☞5-81ページ)があるときは**

これらのデータは、メール自動受信ではダウンロードできません(受信時に破棄されます)。
電話帳やお気に入りのデータをアップロードしたときは、必ず手動受信(☞5-40ページ)でダウンロードしてください。

■ **メール機能のロック時(☞5-20ページ)に自動受信を設定するときは**

ロック時に設定した解除キー(☞5-20ページ)を入力し、ロックを解除してから自動受信を設定します。

お知らせ

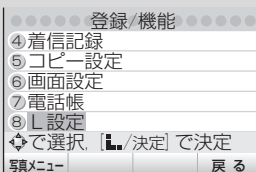
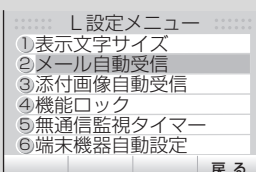
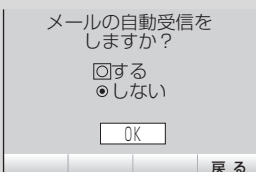
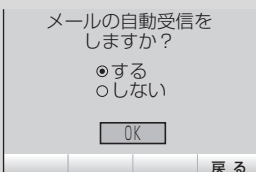
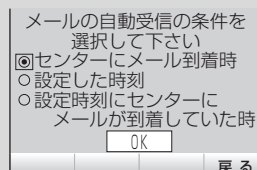
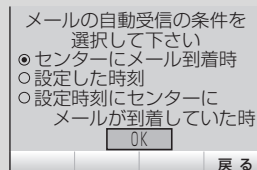
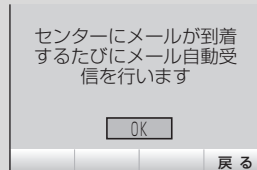
- メール自動受信を正常に動作させせるには、親機の日付・時刻設定(☞1-22〜1-23ページ)を正しく行ってください。
- メール自動受信をご利用になる前に、あらかじめ手動でメールを受信して、正常にメールが受信できることを確かめてください。
- 設定時刻に親機を使っているとき(通話やコピーなど)は、親機の動作が終了してからメール自動受信が動作します。
- すでに未読メールと保護メールがあわせて99件あるときは自動受信できません。
- エラー表示が表示されたときは、手動でメールを受信してください。エラー表示はL/決定ボタンやメールボタンを押すと消えます。
- エラー表示が表示されていなくても、メール自動受信が正常に動作していないときは、手動でメールを受信してください。
- 親機の電源が入っていないときは、メール自動受信は働きません。また、停電があった場合も、正常に働かない場合があります。
- メールを利用するときにパスワード入力が必要な設定にしていると、メール自動受信ができない場合があります。
- パスワード入力の要／不要の設定については、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」をご覧ください。
- 停電などで電源が切れたときは、メール自動受信の設定が工場出荷時の「しない」の設定に戻ります。
- 停電などで電源が切れたときは、電源が復旧したあとに端末機器自動設定(☞5-21ページ)を行ってください。電源復旧後に「メール自動」マークが点灯していても、端末機器自動設定を行なわないとメール自動受信はできません。
- 自動受信機能で「Lモード」に接続し、応答がないときは、無通信監視タイマー(☞5-20ページ)の設定を「無監視」にしていても、約3分程度で回線を切断します。

メール自動受信を設定する（センターにメール到着時）

メール自動受信を設定すると、「Ｌモード」からメッセージあり通知を受けたり、設定した時刻になるごとに、自動でメール受信の操作をします。下記の手順で、メッセージあり通知ごとにメール受信をするよう設定できます。
はじめは、自動受信をしない設定になっています。

操作のしかた

1 **を押す**

2 登録/機能 **を押し、**
で「Ｌ設定」を選ぶ

3 決定 **を押し、**
「メール自動受信」を選ぶ

4 決定 **を押し、**
「する」を選ぶ

5 決定 **を押し、**
で「OK」を選ぶ

6 決定 **を押し、**
「センターにメール到着時」を選ぶ

7 決定 **を押し、**
で「OK」を選ぶ

8 決定 **を押す**

9 決定 **を押す**

- 「Ｌモード」からメッセージあり通知を受けるごとに、メールを自動受信する設定になります。

10 停止 **を押す**

お知らせ

- 自動受信で「Ｌモード」に接続されると、新着メールがないなどの理由でメールを受信できなかったときでも、通信料金がかかります。
- 自動受信を設定していても、手動受信（☞5-40ページ）で必要なときに受信操作をすることができます。
- メッセージ到着お知らせサービスが利用できない地域でお使いのときは、「センターにメール到着時」を設定しないでください。
- メールを利用するときにパスワード入力が必要な設定にしていると、メール自動受信ができない場合があります。

メール自動受信を設定する（設定時刻ごと）

設定時刻になると、自動的にメール受信をするように設定できます。
また、設定時刻にメッセージあり通知を確認し、通知を受けているときのみ受信する設定を使うこともできます。

操作のしかた

1 ボタン切替 **を押す**

2 登録/機能 **を押し、** **で** **「L設定」を選ぶ**

3 **を押し、「メール自動受信」を選ぶ**

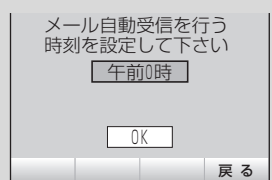
4 **を押し、「する」を選ぶ**

5 **を押し、** **で「OK」を選ぶ**

6 **を押し、** **で「設定した時刻」または「設定時刻にセンターにメールが到着していた時」を選ぶ**

7 **を押し、** **で「OK」を選ぶ**

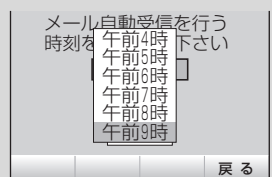
「設定した時刻」を選んだとき

8 **を押し、時刻の項目を選ぶ**

9 **を押し、** **で設定時刻を選ぶ（午前0時～午後11時）**

次ページへ→

→つづき

10 (決定) **を押し、** (十字キー) **で「OK」を選ぶ**

11 (決定) **を押す**

12 (決定) **を押す**

●手順６で…

「設定した時刻」を選んだとき
指定時刻にメールを自動受信する設定になります。

「設定時刻にセンターにメールが到着していた時」を選んだとき
指定時刻にメッセージあり通知を受けているときのみ、メールを自動受信する設定になります。

13 停止 **を押す**

お知らせ

- 自動受信で「L モード」に接続されると、新着メールがないなどの理由でメールを受信できなかったときでも、通信料金がかかります。
- 自動受信を設定していても、手動受信（☞5-40ページ）で必要なときに受信操作をすることができます。
- メールを利用するときにパスワード入力が必要な設定にしていると、メール自動受信ができない場合があります。

メールを手動受信する

メール自動受信をする設定にしていても、必要なときにメールを手動で受信することができます。
メール自動受信の設定を変更するときは、5-37～5-39ページをご覧ください。

操作のしかた

1 メール を押す

●メールメニューが表示されます。
●センターにメールが届いているときは、「センターにメールが届いています。…」と表示され、メール が点灯しています。このときは、メール を押して受信メール読出を行うことができます。
●次の方法でもメールメニューが表示できます。L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す
●未読メールがある場合は受信メール一覧が表示されますので、メール受信 を押して手順4へ進んでください。

2 で「受信メール読出」を選ぶ

3 /決定 を押す

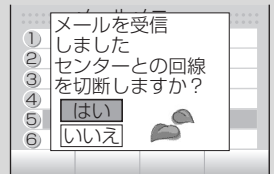
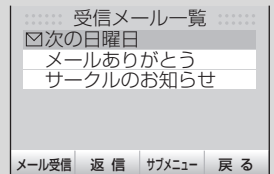
●「メールが満杯です受信メールを削除して下さい」と表示したときは、受信メール（未読メールと保護メール）が一杯で新しいメールを保存できません。L/決定ボタンを押すと受信メールの一覧が表示されますので、未読メールの内容を確認するか、保護メールを解除して、不要なメールを削除してください。
●「Lモード」に接続し、メールを受信します。
●「接続に失敗しました」と表示したときは、L/決定ボタンを押すと受信メールの一覧が表示されます。ただし、新しく受信されたメールは表示されません。

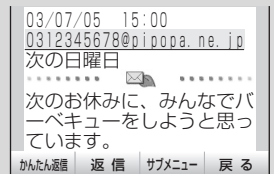
■ **「Lモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **受信メールの内容を印刷するには**
操作のしかた の手順6から「ページプリントする」操作（☞5-79ページ）を行ってください。
操作のしかた の手順6のあとに コピー/印刷 を押しても印刷することができます。

■ **不要なメールを削除するときは（☞5-56ページ）**

■ **メール受信完了音の種類を変更するには（☞5-41ページ）**

4 受信完了のメッセージが表示されたら、「はい」を選ぶ

5 /決定 を押す

●ディスプレイに受信メール一覧が表示され、最新の受信メールが選択されています。
●受信メールの識別マークについて次の識別マークを表示して、メールの状態を表しています。
✉……………まだ読んでいないメール
（空白）………すでに読んだメール
🔑………保護されているメール

6 /決定 を押す

●メールの内容が表示されます。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **メールを利用するときに、パスワード入力が必要な設定にしているときは（別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」をご覧ください。）**
操作のしかた の手順3のあとパスワード入力画面で、Lモードご契約時に設定したパスワード（☞5-12～5-13ページ）を入力してください。

お知らせ

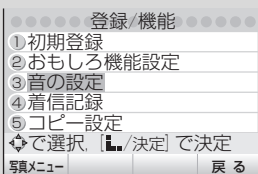
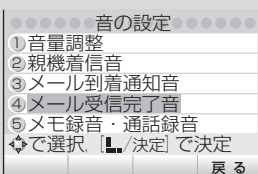
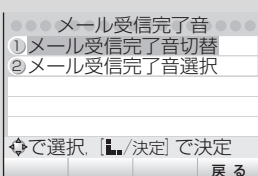
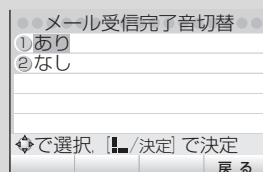
●「Lモード」以外のメールサービスをご利用のお客さまとメールの送受信を行う場合、内容が正しく表示されないことがあります。
●「Lモード」の通信中に、回線の通信状況等により、メールの受信ができない場合も、通信料金がかかります。

メール受信完了音の設定を変更する

本機に新しいメールを受信したことをお知らせする、メール受信完了音のあり・なしを変更することができます。はじめは「あり」に設定されています。

操作のしかた

1 ボタン切替 を押す

2 登録/機能 を押し、◎で「音の設定」を選ぶ

3 （決定）を押し、◎で「メール受信完了音」を選ぶ

4 （決定）を押し、「メール受信完了音切替」を選ぶ

5 （決定）を押し、◎でいずれかの項目を選ぶ

●メール受信完了音を鳴らさないときは「なし」を選びます。

6 （決定）を押す

●選んだ項目に設定されます。

7 停止 を押す

■ **1つ前に戻るときは**

戻る を押します。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **メール受信完了音の種類を変更するときは**

① ボタン切替 を押す

② 登録/機能 を押し、◎で「音の設定」を選ぶ

③ （決定）を押し、◎で「メール受信完了音」を選ぶ

④ （決定）を押し、◎で「メール受信完了音選択」を選ぶ

⑤ （決定）を押し、◎で設定したい完了音を選ぶ

③〜⑦の項目は、「Lモード」からメロディーをダウンロード（☞5-65ページ）すると表示されます。

⑥ （決定）を押し、◎で「登録する」を選び（決定）を押す

「演奏する」を選んで（決定）を押すと、完了音を試聴することができます。

⑦ 停止 を押す

メールを表示する

保存しているメール（受信メール（☞5-32ページ）・送信済メール・未送信メール）の内容を表示します。

操作のしかた （例）受信メールを表示するとき

1 （メール）を押す

- メールメニューが表示されます。
- 次の方法でもメールメニューが表示できます。L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す
- （メール）が点灯しているときは、（メール）を押すと受信メール読出を行います。

2 表示したいメール一覧（受信メール一覧・送信済メール一覧・未送信メール一覧）を選ぶ

3 （L/決定）を押す

- 保存されているメールの一覧が表示されます。
- 受信メールの識別マークについて
  次の識別マークを表示して、メールの状態を表しています。
  ✉……………まだ読んでいないメール
  □（空白）………すでに読んだメール
  ⚷………保護されているメール
  📎…画像が添付されているメール
- を押すと、受信していないメールを受信することができます。

4 （カーソル）で表示したいメールを選び、（L/決定）を押す

- メールの内容が表示されます。

■ **途中でやめるときは**
（停止）を押します。

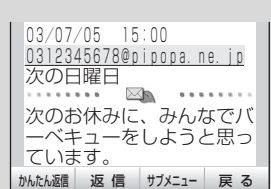
■ **メールの内容を印刷するには**
操作のしかた の手順4から「ページプリントする」操作を行ってください。（☞5-79ページ）
操作のしかた の手順4のあとに（コピー/印刷）を押しても印刷することができます。

■ **未読メールがあるときは**
待受画面に「未読メールがあります。[メール] を押してください」と表示されているときは、（メール）を押して「受信メール一覧」を表示することができます。

■ **送信済メール・未送信メールを編集するときは（☞5-52〜5-53ページ）**

■ **未送信メールを送信するときは（☞5-54ページ）**

■ **メールを削除するときは（☞5-56ページ）**

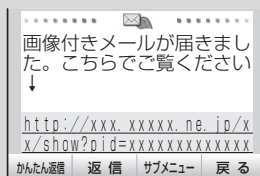
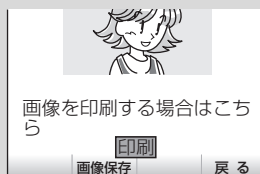
■ **画像が添付されているメールを見るときは（☞5-43ページ）**

お知らせ

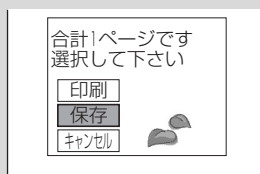
- メールの内容を表示したときに、画面に表示されていない部分があるときは（カーソル）でスクロールさせて表示してください。
- 未送信メール・送信済メール・受信メールの内容を表示しているときは、（右）で1つ前の、（左）で次のメールを表示します。
- 題名のないメールを受信すると、受信メール一覧に「無題」と表示されます。
- 題名を入力せずにメールを保存または送信すると、未送信メール一覧・送信済メール一覧に「無題」と表示されます。
- 未送信メール・送信済メールは合わせて50件まで保存できます。
- 親機で表示できる文字数は全角で2000文字（半角で4000文字）までです。この文字数を超えているときは「＊」が表示されます。

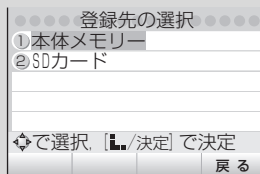
画像付きメールの画像を表示する

この製品では、写真などの画像データが添付されたメールが送られてくると、メッセージとURL付きの通知メールを受け取ります。「添付画像自動受信」の設定が「する」になっているときは、メール受信時に縮小画像も受け取ります。
「Lモード」に保存されている画像の元データをダウンロードしたり、印刷するときは、通知メールのURLにアクセスします。

操作のしかた

1 画像付きのメールを表示し、でURLを選ぶ（青色に反転します）

2 （決定）を押し、「印刷」を選ぶ

●送られてきた画像の縮小画像が表示されます。
●「添付画像自動受信」の設定を「しない」にしているときは、「Lモード」に接続します。

3 （決定）を押し、「保存」を選ぶ

●「Lモード」に接続します。
●「保存」したあと、印刷することもできます。

4 （決定）を押し、登録先を選択する

5 （決定）を押す

●添付画像の元データがダウンロードされます。
●ダウンロードには、数分かかることがあります。
●ダウンロードした画像データは、本体メモリーのときは「ダウンロード コピー可」フォルダへSDメモリーカードのときは「ダウンロード」フォルダへ保存されます。

6 停止 を押して「Lモード」との接続を切る

7 ボタン切替 登録/機能 写真メニュー と押す

8 「ダウンロード コピー可」フォルダの中にあるダウンロードしたデータを見る（SDメモリーカードのときは「ダウンロード」フォルダ）

※実際の画面とは異なることがあります。

■ **受信メールを表示するときは（☞5-42ページ）**

■ **画像を印刷するときは**

操作のしかた の手順3で「印刷」を選び、決定を押します。

■ **「ダウンロード コピー可」フォルダや「ダウンロード」フォルダへ切り替えるときは（☞4-22、4-30ページ）**

■ **縮小画像を保存するときは**

操作のしかた の手順２で 画像保存 を押します。
「ダウンロード コピー可」フォルダへ縮小画像が保存されます。

お知らせ

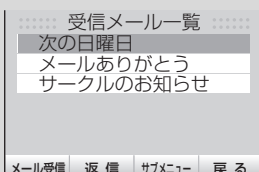
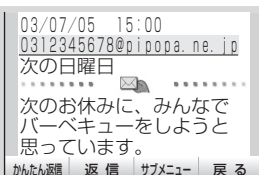
- URLにアクセスして画像を見ている間は（「Ｌモード」と通信中）、通信料がかかります。
- 通信を中断したとき、または画像が正しく表示されなかった場合でも、通信料がかかりますのでご注意ください。
- 受信したデータは、「Ｌモード」に14日間保存されています。
- 画像の大きさや画像形式は、本商品に合わせて自動で変換されています。
- 本商品でダウンロードして保存できる画像データの種類は、JPEG形式のデータのみです。また、容量は200KBまでです。一つのメールに対して１件の画像データを受信できます。
  なお、GIF形式のデータは「Ｌモード」に接続して表示・印刷ができます。
  また、TIFF形式のデータは表示することはできませんが、「Ｌモード」に接続して印刷できます（一部のTIFF形式は印刷できないことがあります）。
- 本体メモリーにダウンロードして保存できる画像データの件数は、最大100件までです。なお、容量は「デジタルカメラ」フォルダと「ダウンロード　コピー可」フォルダ、「ダウンロード コピー不可」フォルダ、「お気に入り画像登録」、「送信メールの添付画像」を合わせて約2.0MBまでです。
- Ｌモードに接続してブラウザ上で表示できる画像サイズと、画像を保存したあと表示できる画像サイズは異なります。（☞4-22ページ）このため、Ｌモードに接続したときに表示されていた画像が、保存後に表示できないことがあります。
- 画像によっては、正しく表示・印刷できないことがあります。

メールを保護する

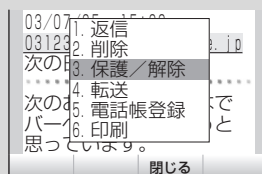
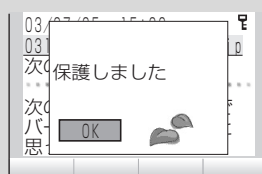
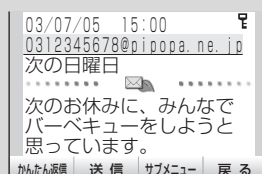
残しておきたい受信メールや送信済メールを保護しておくと、誤って削除することを避けられます。保護を解除することもできます。

操作のしかた

1 受信メール一覧や送信済メール一覧を表示する

2 で保護したいメールを選ぶ

3 を押す

●メールの内容が表示されます。

4 **を押す**

5 で「保護/解除」を選ぶ

6 を押す

7 を押す

8 戻る を押す

●選択したメールに保護機能が設定され、受信メール一覧や送信済メール一覧のメール名の先頭に、 が表示されます。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。（待受画面に戻ります。）

■ 保護されているメールを削除するときは

① 受信メール一覧や送信済メール一覧を表示する
（☞5-42ページ　手順1～3）
② で、削除したい保護メールを選ぶ
③ を押す
④ サブメニュー を押す
⑤ で「削除」を選ぶ
⑥ を押す
⑦ で「はい」を選ぶ
⑧ を押す
⑨ で「はい」を選ぶ
⑩ を押す
⑪ を押す
⑫ 停止 を押す

■ メールの保護を解除するときは

再度手順1～6の操作を行うと保護が解除されます。

■ 受信メール一覧や送信済メール一覧を表示するときは

（☞5-42ページ手順1～3）

お知らせ

● 保護機能が設定できるのは、受信メールの場合は、すでに読んだメールと未読メールをあわせて50件までです。送信済メールの場合は25件までです。
● 99件を超えるメールを受信したときは、未読メールと保護メール以外の古いメールから自動的に削除されます。

メールに返事を出す／転送する

メールに返事を出す（返信）

メールをもらった相手に返事を出すことができます。（返信メール）
相手の方のメールアドレスと題名は、受信したメールを利用して自動的に設定されますので、本文を入力するだけで送信できます。

操作のしかた

1 受信メールを表示する

2 返 信 を押す

- 返信メール入力画面が表示されます。
- 「メールが満杯です　未送信・送信済メールを削除して下さい」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。
  送信済メールと未送信メールは合わせて50件まで保存できます。

3 本文を入力して、送信する

- 返信メールの題名には自動的に「Re>」が付加されます

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **「Ｌモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **受信メールを表示するときは**
（☞5-42ページ）

■ **不要なメールを削除するときは**
（☞5-56ページ）

■ **メールの本文を入力するときは／送信するときは**
（☞5-27〜5-31ページ）

お知らせ

- 返信メールの宛先や題名を編集することができます。
- 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。
- 絵文字は本文と題名に利用可能です。

定型文を使って簡単に返信する（かんたん返信）

定型文を使って、簡単に返信メールを作り、送ることができます。

操作のしかた

1 受信メールを表示する

03/07/05 15:00
0312345678@pipopa.ne.jp
次の日曜日
次のお休みに、みんなでバーベキューをしようと思っています。
かんたん返信 返 信 サブメニュー 戻 る

2 かんたん返信 を押す

■ **定型文以外にも文章を追加したいときは**

本文の入力欄を選んで（決定）を押し、文章を追加・変更します。

■ **あらかじめ登録されている定型文を編集したいときは（☞5-51ページ）**

3 （方向キー）で定型文を選び、（決定）を押す

メール作成
題名
Re>次の日曜日
本文
行きます。
送 信 サブメニュー 戻 る

4 送 信 を押す

●メールが送信されます。

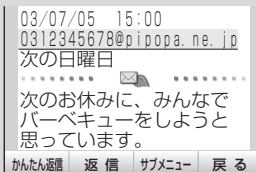
5 「はい」を選び、（決定）を押す

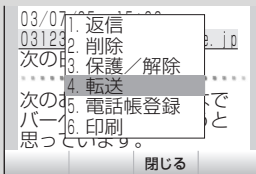
メールに返事を出す／転送する

5 Lモード メール ブラウザ

メールを他の宛先に転送する

受信したメールの内容を他の人に知らせたいときに、受信したメールを転送することができます。
転送するとき、受信メールの題名と本文は自動的に入力されていますので、転送したい相手のメールアドレスを入力するだけで送信できます。

操作のしかた

1 受信メールを表示する

2 サブメニュー を押す

3 で「転送」を選ぶ

● 「メールが満杯です　未送信・送信済メールを削除して下さい」と表示したら、不要な送信済メールまたは未送信メールを削除してから、もう一度操作してください。
送信済メールと未送信メールは、合わせて50件まで保存できます。

4 決定 を押す

●メール入力画面が表示されます。

5 宛先を入力して、送信する

●転送するメールの題名には自動的に「Fw>」が付加されます。
●文字の入力モードが半［英］のとき トーン を押すとサイト（番組）やメールのアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
トーン を押して、文字を選んだあとＬ/決定ボタンを押します。

トーン を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.or.jp」「.com」
「@pipopa.ne.jp」「www.」

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **「Ｌモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および、「Ｌモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **受信メールを表示するときは（☞5-42ページ）**

■ **不要なメールを削除するときは（☞5-56ページ）**

■ **宛先の入力／メール送信するときは（☞5-27～5-31ページ）**

お知らせ

● 転送するメールの題名や本文を編集することができます。
● 送信したメールは送信済メールとして保存されます。
● 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
● メールアドレスに絵文字は使用できません。

受信した相手のメールアドレスを登録する

受信メールを利用して、発信者のメールアドレスを電話帳に登録します。その場合、新たに電話帳が追加されます。

操作のしかた

1 アドレスを登録したい受信メールを表示する

03/07/05 15:00
0312345678@pipopa.ne.jp
出かけませんか！
か！
次のお休みに、みんなでハイキングに出かけませんか！
かんたん返信 | 返 信 | サブメニュー | 戻 る

2 サブメニュー を押す

3 ◎で「電話帳登録」を選ぶ

4 決定 を押す

●電話帳登録画面が表示されます。
●「これ以上登録できません」と表示されたときは、すでに電話帳に100件登録されていて、新しく登録することができません。L/決定ボタンを押すと受信メール内容表示に戻ります。不要な電話帳を消去してからもう一度操作をやり直してください。

5 電話帳に名前、読み、電話番号を登録する

6 決定 を押す

●登録が終わると「ピー」という音が鳴り、受信メールを表示します。

7 登録が終わったら 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **受信メールの本文の中にある電話番号やメールアドレスを電話帳に登録するときは**
※tel:～やmailto:～のような形式になっていないものは登録できません。
① ◎ で登録する電話番号などを選ぶ
② 手順２以降を行う

■ **受信メールを表示するときは（☞5-42ページ）**

■ **電話帳に名前などを登録するときは（☞2-20～2-21ページの手順4～10）**

■ **不要な電話帳を消去するときは（☞2-25ページ）**

お知らせ

● 電話帳の登録は最大100件です。あらかじめ3件の番号が登録されています。

定型文を入れる

定型文を入れる

メールの「宛先」「題名」「本文」を入力や編集するときに、定型文を挿入することができます。定型文は、あらかじめ15件登録されていて、編集することもできます。

操作のしかた

1 文字入力モードに切り替える

[漢/かな]
>
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
文字切替 ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ 取 消

2 サブメニュー を押し、「定型文挿入」を選ぶ

①定型文挿入
②戻る
で選択, [/決定] で決定
戻 る

3 /決定 を押す

4 で挿入したい定型文を選ぶ

定型文一覧
少し遅れそうです。
了解しました。
自宅に電話してください。
今日は何時ごろ帰ってきます
昨日はどうもありがとうござ
で選択, [/決定] で決定
戻 る

5 /決定 を押す

●選択した定型文が表示エリアに表示されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。（待受画面に戻ります。）

■ **文字入力モードに切り替えるときは**
（☞5-9～5-11ページ）

お知らせ

● 挿入した後の定型文を編集することができます。
● 定型文を挿入したときに、入力可能な文字数を超えた場合、入力可能な文字数だけ挿入されます。

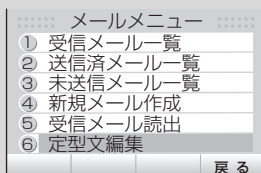
定型文を編集する

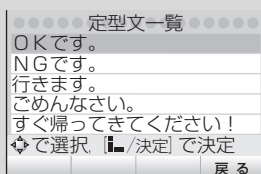
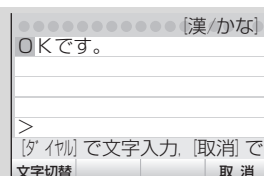
登録されている定型文を編集し、登録（上書き）することができます。
編集すると、かんたん返信機能（☞5-47ページ）の定型文も変わります。

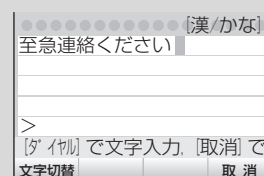
操作のしかた

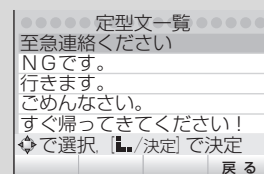
1 メール を押す

●メールメニューが表示されます。
●次の方法でもメールメニューが表示できます。L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す
●メール が点灯しているときは、メール を押すと受信メール読出を行います。

2 で「定型文編集」を選ぶ

3 L/決定 を押し、 で編集したい定型文を選ぶ

4 L/決定 を押す

●文字入力モードに切り替わります。

5 定型文の文字を編集する

●編集は、１件あたり全角25文字（半角50文字）の範囲で行えます。

6 L/決定 を押す

●編集された定型文が登録されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。（待受画面に戻ります。）

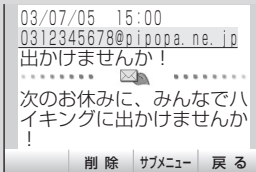
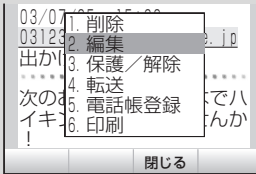
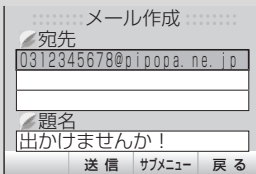
■ **文字を入力するときは（☞5-9～5-11ページ）**

メールを編集する

送信済メールを編集する

送信済メールの内容を編集して未送信メールとして保存することができます。編集前のメールもそのまま残ります。

操作のしかた

1 編集したい送信済メールの内容を表示する

2 サブメニュー を押す

3「編集」を選ぶ

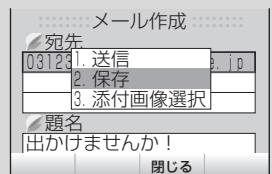
4 決定 を押す

●メールの入力画面が表示されます。

5 内容を修正する

①　で修正する項目を選ぶ
②決定 を押す
③文字を修正する
④決定 を押す

6 サブメニュー を押す

7　で「保存」を選ぶ

●送信するときは、「送信」を選びます。

8 決定 を押す

9「はい」を選んで 決定 を押す

●新しい未送信メールとして保存されます。編集前のメールもそのまま残ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **送信済メールの内容を表示するときは（☞5-42ページ）**

■ **文字を修正するときは（☞5-9〜5-11ページ）**

お知らせ

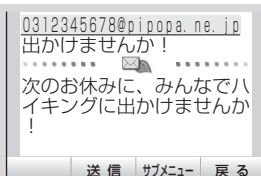
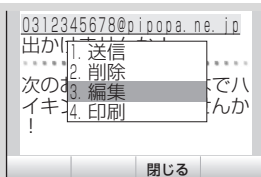
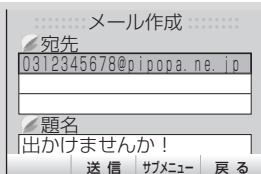
● 手順４で「メールが満杯です　未送信・送信済メールを削除して下さい」と表示されたときは、すでに未送信メールと送信済メールが合わせて50件保存され、新しいメールが保存できない状態にあります。不要な未送信メールまたは送信済メールを削除して（☞5-56ページ）からもう一度操作をやり直してください。

● 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

未送信メールを編集する

未送信メールの内容を編集して新しい未送信メールとして保存することができます。（編集前のメールに上書きされます。）

操作のしかた

1 編集したい未送信メールの内容を表示する

2 サブメニュー を押す

3 「編集」を選ぶ

4 決定 を押す

●メールの入力画面が表示されます。

5 内容を修正する

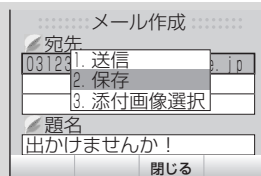
① で修正する項目を選ぶ

② 決定 を押す

③ 文字を修正する

④ 決定 を押す

6 サブメニュー を押す

7 で「保存」を選ぶ

●送信するときは、「送信」を選びます。

8 決定 を押す

9 「はい」を選んで 決定 を押す

●編集前のメールに上書きして保存されます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **未送信メールの内容を表示するときは**
（☞5-42ページ）

■ **文字を修正するときは****（☞5-9～5-11ページ）**

お知らせ

● 相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、半角カタカナや絵文字を使用しないでください。相手側でうまく表示できない場合があります。

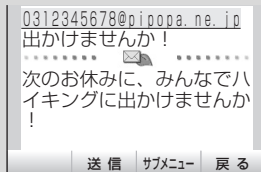
未送信メールを送信する

未送信メールを送信する

まだ送信していない保存メールを送信します。

操作のしかた

1 未送信メールの内容を表示する

0312345678@pipopa.ne.jp
出かけませんか！
次のお休みに、みんなでハイキングに出かけませんか！
送 信　サブメニュー　戻 る

2 送 信 を押す

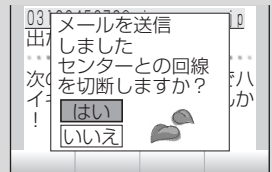
●「Lモード」と回線がつながっていなかった場合でも、自動的に回線を接続してメールを送信します。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 未送信メールを一括して送信するときは
（☞5-55ページ）

■ 未送信メールの内容を表示するときは
（☞5-42ページ）

3 送信が終わったら「はい」を選ぶ

●選んだ未送信メールが送信されます。
●「いいえ」を選んでL/決定ボタンを押すと回線が切断されずにメールメニューに戻ります。

4 L/決定 を押す

●メールメニューに戻ります。

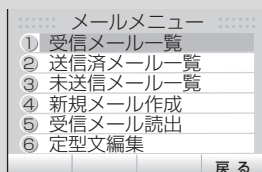
お知らせ

●「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。

未送信メールを一括送信する

保存されている未送信メールを一度の操作ですべて送信することができます。(一括送信)

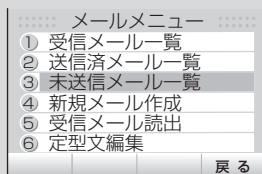
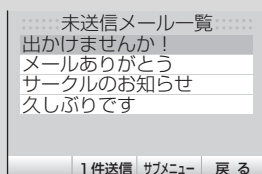
操作のしかた

1 メール を押す

●メールメニューが表示されます。

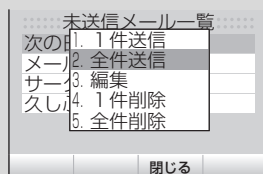
●次の方法でもメールメニューが表示できます。L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す

●メール が点灯しているときは、メール を押すと受信メール読出を行います。

2 で「未送信メール一覧」を選ぶ

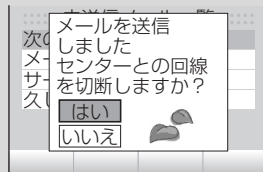
3 決定 を押す

●いずれかのメールを選んで 1件送信 を押し、選んだメールだけを送信することもできます。

4 サブメニュー を押す

5 で「全件送信」を選ぶ

6 決定 を押す

●未送信メールがすべて送信されます。

●「Lモード」と回線がつながっていなかった場合でも、自動的に回線を接続してメールを送信します。

7 送信が終わったら「はい」を選ぶ

●「いいえ」を選んでL/決定ボタンを押すと回線が切断されずにメールメニューに戻ります。

8 決定 を押す

●メールメニューに戻ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **メールの送信を途中で止めるときは**

「接続中」の表示が出ている間に 決定 を押してください。送信が中止されてメールメニューに戻ります。「メール送信中」の表示が出ている間に 決定 を押すと、メール送信が完了したメールは未送信メール一覧から削除されています。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

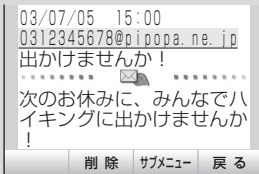
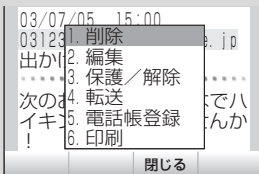
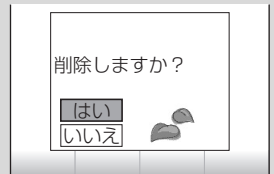
お知らせ

●「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。

メールを削除する

受信メール・送信済メール・未送信メールを削除することができます。保護したメールを削除することもできます。

操作のしかた　（例）送信済メールを削除する場合

1 削除したいメールの内容を表示する

2 **を押し、**
で「削除」を選ぶ

3 （決定）を押し、
で「はい」を選ぶ

●削除をやめるときは、「いいえ」を選んでください。

4 （決定）を2回押す

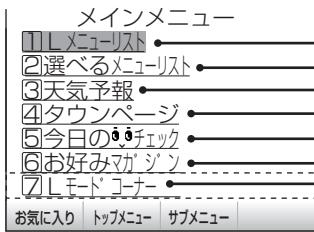
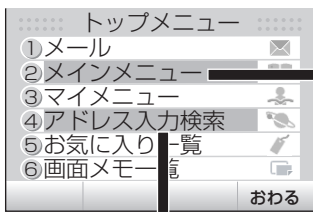
■ **途中でやめるときは**
（停止）を押します。

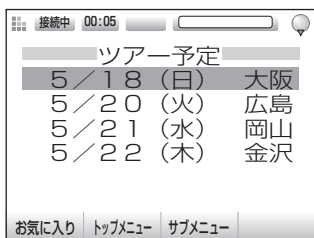
■ **受信メール／送信済メール／未送信メールをすべて削除するときは**
① 5-42 ページの 操作のしかた 手順1～3の操作で削除したいメールの一覧（受信メール一覧／送信済メール一覧／未送信メール一覧）を表示する
② （サブメニュー）を押し、「全件削除」を選ぶ
③ （決定）を押し、「はい」を選ぶ
④ （決定）を押す
削除をやめるときは、③で「いいえ」を選び、（決定）を押してください。
（保護メールや未読メールがある場合は、「保護メールを削除しますか？」「未読メールを削除しますか？」と表示されます。「はい」を選んで（決定）を押すと保護メールや未読メールもすべて削除されます。）

■ **削除したいメールの内容を表示するときは**
（☞5-42ページ）

第5章
Ｌモード<ブラウザ>

ブラウザサービスについて

天気予報やタウン情報など生活に役立つ情報を取り出すことができます。
また、アドレス（URL）を入力するとインターネット上のホームページなども見ることができます。

※実際の画面と異なる場合があります。

ホームページなどのアドレスを入力します。

- 取り出した情報は、そのサイト（番組）を登録したり、ページを保存・印刷することができます。
  ① **ページやサイトを登録して素早く表示する（☞5-66〜5-69ページ）**
  ② **サイトのページを保存する（☞5-75〜5-76ページ）**
  ③ **表示したページをプリントする（☞5-79ページ）**
- サイト（番組）から着信メロディーを取り込む（ダウンロードする）こともできます。
  着信メロディーを取り込む（☞5-65ページ）

アドバイス！

※「無通信監視タイマー」（☞5-20ページ）

この機能は、「Ｌモード」へ接続中に何も操作しなかった時、自動的に「Ｌモード」との接続を切断する機能です。
「Ｌモード」との接続を切り忘れて、通信料金がかかるのを防ぎます。
ご購入時は、「2分」に設定されています。

※通信料金を節約してサイト（番組）のページを見る

インターネットなどで見たいサイト（番組）のページを表示している時に キャッチ/消去 L回線断 を押すと、表示しているページはそのままで、「Ｌモード」との接続を切断することができます。表示しているページを通信料金をかけずに見ることができるので通信料金を節約できます。
(ただし、短時間にひんぱんに切断と接続をくり返すと、かえって通信料金がかかることがあります。)

お知らせ

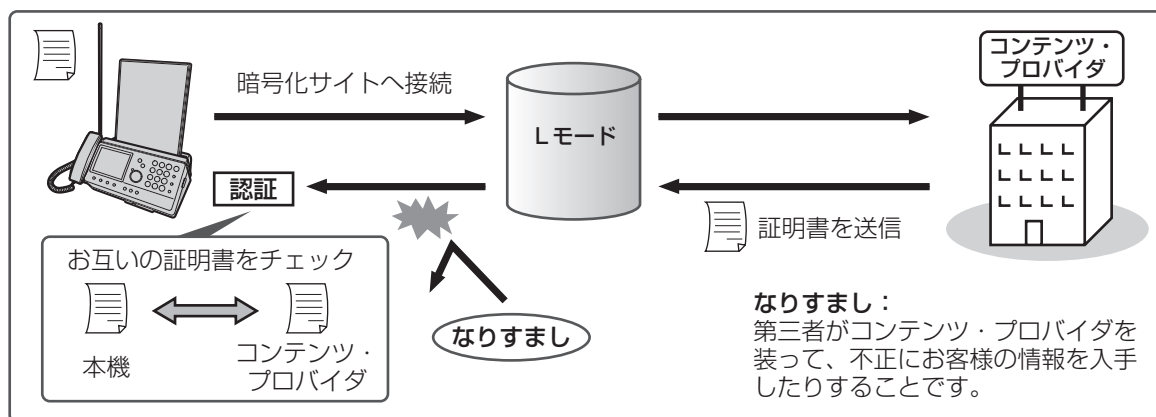
- ブラウザサービスをご利用の際には、利便性の向上のため、ユーザー ＩＤおよび地域識別コード、また通信機器に関わる情報を、コンテンツ・プロバイダに通知することがあります。
- 「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
- 「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。

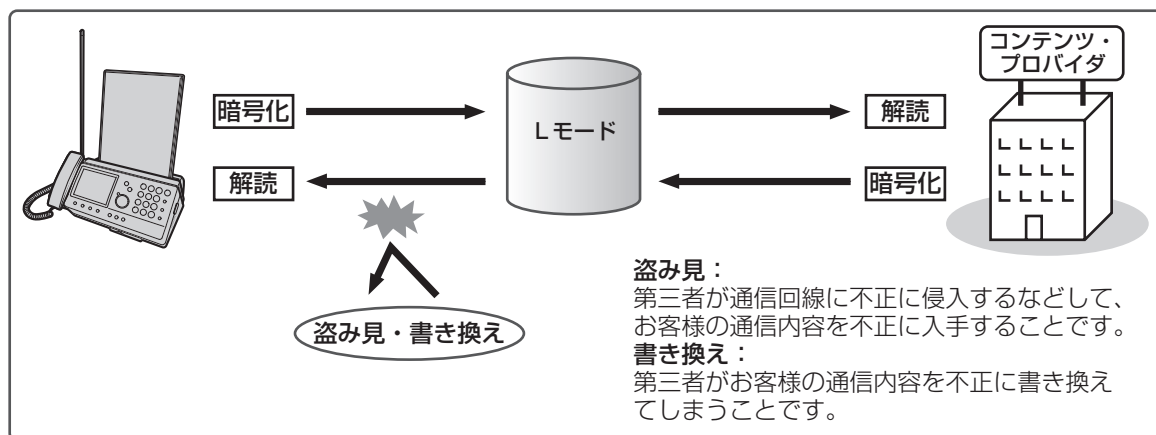
暗号化通信について

本機から特別な操作なしに、対応サイト（暗号化サイト）と暗号化通信を行うことができます。
暗号化通信とは、認証や暗号の技術を使用することで、プライバシーを保護して安全なデータ通信を行う通信方式です。本機と暗号化サイトとの間で、データ通信前に証明書による認証を実施するとともに、データを暗号化して送受信することで、第三者による“なりすまし”や通信途中でのデータの“盗み見”“書き換え”を防止し、クレジットカードや住所など、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

暗号化通信のしくみ

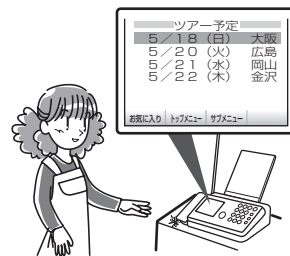
認証機能

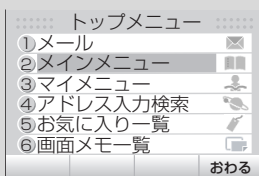
実際にデータのやり取りを行う前に、コンテンツ・プロバイダ（情報提供者）から送られてくる証明書（認証局という公的な機関が、コンテンツ・プロバイダの本人性を証明するために発行するもの）と、本機が持つ証明書をチェックし、双方の証明書が、確かに同一の認証局から発行されたものであるかを確認します。
また、コンテンツ・プロバイダから送られてきた証明書を表示し、その内容を確認することで、第三者による“なりすまし”を防止することができます。

暗号機能

コンテンツ・プロバイダの認証後に、データを暗号化して送受信します。暗号化したデータは、本機とコンテンツ・プロバイダ以外は解読することができませんので、第三者によるデータの盗み見や書き換えを防止することができます。

お知らせ

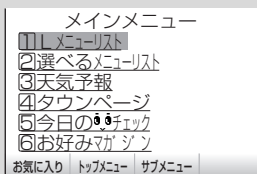
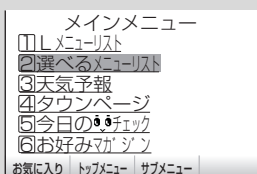
- Lモードの暗号化通信は、SSL（Secure Socket Layer）という認証／暗号技術を使用しています。
- 暗号化通信を正常に動作させるには、親機の日付・時刻設定（☞1-22〜1-23ページ）を正しく行ってください。

サイト（番組）を表示する

サイト（番組）をご覧になるときは、まず目次にある「メインメニュー」を表示させせます。「メインメニュー」からお好きな項目を選択していき、サイト（番組）を表示します。

操作のしかた

1 [決定] を押し、[方向キー] で「メインメニュー」を選ぶ

●親機の電源が「切」になったり、停電になったりしたときは、再度Ｌモードの利用設定をしてください。

2 [決定] を押す

3 [方向キー] でお好きな項目を選ぶ

4 [決定] を押す

5 見たいサイトが表示されるまで手順３～４の操作を繰り返す

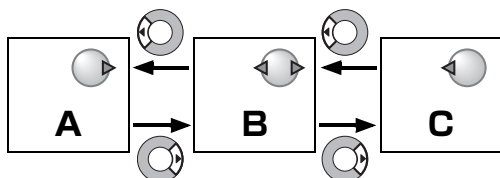
●Ｌ回線断ボタンを押すと、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

※実際の画面とは異なることがあります

■ **Ｌモードの利用設定をするときは（☞5-5ページ）**

■ 1つ前の画面に戻るときは

が表示されているときは を押してください。

（例）ページをA→B→Cと表示してきた場合

■「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■「Lモード」との接続を終了するときは

停止 を押します。

■ 画像データを表示させたくないときは

画像表示で画像データを表示させないようにすることができます。（☞5-22ページ）

■ 表示したページをプリントするには
（☞5-79ページ）

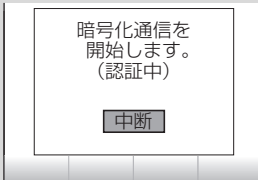
お知らせ

● L/決定ボタンを押して接続中画面になってから、センターとの接続に約30〜60秒程度かかります。
● 回線の状態によっては、まれに「Lモード」に接続できない場合があります（「接続に失敗しました。」が表示されます）。
● 回線の状態によっては、サイトが表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。
● 回線の状態によっては、まれに「Lモード」との接続が切断されることがあります。
また、「Lモード」に接続しているときにキャッチホンやキャッチホン・ディスプレイの割り込み音が入ると、通信が不安定になり切断されることがあります。
（「切断されました」と画面表示され、表示していたブラウザマークが消えます。）
この場合は、L/決定ボタンを押して「切断されました」の画面表示を消し、もう一度L/決定ボタンを押して「Lモード」への接続の操作を始めてください。
●「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
●「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
● 通信を中断した場合、あるいはホームページが正しく表示されなかった場合でも、通信料がかかりますので、ご注意ください。
● 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているかどうかを確認してください。
●「Lモード」と接続が失敗した場合でも通信料金がかかります。
● GIF、JPEG 形式以外の画像データを表示することはできません。その場合、画像の位置に ☒ を表示します。GIF、JPEG形式の画像データであっても表示できない場合があります。

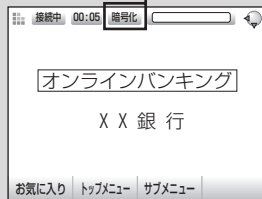
暗号化サイトへ接続する

暗号化サイトとは、データをやりとりする際に、暗号化通信を行うことで、データの盗み見や書き換え、なりすましを防ぐ、安全性の高いサイトです（確実な安全性を保証するものではありません）。暗号化サイトに接続すると、確認画面が表示された後、暗号化通信が開始されます。

操作のしかた

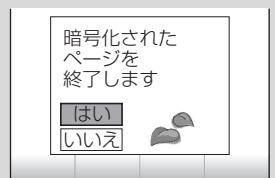
1 暗号化サイトを表示する

- 暗号化サイトへの接続前に、認証中画面が表示されます。
- 「中断」を選んでＬ/決定ボタンを押すと、接続を中止して前の画面に戻ります。

2 暗号化サイトが表示される

暗号化サイト接続中に点灯します。

- 暗号化通信が開始され、画面上部に 暗号化 マークが点灯します。

3 他のサイトへ移動する

- 通常のサイトへ移動しようとすると、確認画面が表示されます。

4 「はい」を選ぶ

5 (決定) を押すと、暗号化通信が終了する

- 暗号化 マークが消灯します。

■ **暗号化サイトを表示するときは**
(☞5-60～5-61ページ)

■ **暗号化サイトの証明書を表示するには**

① 暗号化サイトの表示中に、(サブメニュー) を押します。

②「証明書表示」を選んで (決定) を押します。

■ **証明書の有効／無効を設定するには**

「証明書設定」（☞5-21ページ）で設定します。

■ **「サイトの認証に失敗しました　暗号化通信を終了します」と表示されたときは**

・ サイトの証明書に本機の証明書が対応していない
・ サイトの証明書の有効期限が切れている
・ 本機の証明書の有効期限が切れている
・ 親機の日付･時刻設定が正しく設定されていない

などの理由により、上記の確認画面が表示されることがあります。
このときは、「OK」を選んで (決定) を押します。
接続を中止して前の画面に戻ります。

お知らせ

- 暗号化通信を正常に動作させるには、親機の日付・時刻設定（☞1-22～1-23ページ）を正しく行ってください。

画面上での操作のしかた

画面に表示された選択肢の中から項目を選んで操作する方法は、チェックボックス、ラジオボタン、プルダウンメニューがあります。それぞれ操作方法や選択できる数などが異なります。

チェックボックス付き項目を選択する

チェックボックスは、選択肢の中から複数の項目を選択できるときに、項目名の前につけられるマークです。

①ページ表示中に ◎ で、選択するチェックボックス（ □ ）に操作対象の選択を移動する

選ばれた枠が太線枠に変わります。すでに選択されている項目は ☒ で表示されています。

操作対象の選択がされているときは太線枠で囲まれます。

選択してください。
□ 野球
☒ サッカー
□ ゴルフ
□ テニス
お気に入り | トップメニュー | サブメニュー

② 決定 を押す

項目が選択され、□ が ☒ に変わります。
複数の項目を選択できます。
選択を取り消すには、取り消す項目（ ☒ の項目）に操作対象の選択を移動して 決定 を押します。
☒ が □ に戻ります。

ラジオボタン付き項目を選択する

ラジオボタンは、選択肢の中から１つだけ選択できるときに、項目名の前につけられるマークです。

①ページ表示中に ◎ で、選択するラジオボタン（ ○ ）に操作対象の選択を移動する

選ばれたラジオボタンが太線枠で囲まれます。

② 決定 を押す

項目が選択され、「大阪」の ○ が ⊙ に変わります。
同時に「東京」の ⊙ が ○ に変わります。
複数の項目を選択することはできません

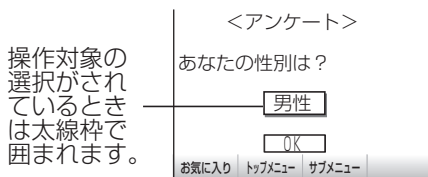
お知らせ

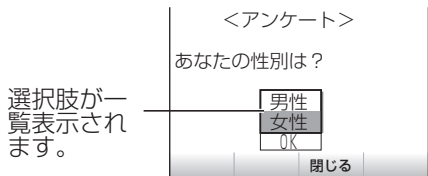
- パスワードの入力画面で「 □ 保存する」のチェックボックスを ◎ で選択してＬ/決定ボタンを押すと、入力したパスワードが保存されます。この操作を行っておくと以降のパスワードの認証処理が自動的に行われますので、次回からパスワードを入力する必要がなくなります。
（パスワードを保存すると、パスワードを知らない人でも自由に操作できるようになりますので、保存する際は、充分に注意してください。）

プルダウンメニューから項目を選択する

プルダウンメニューは、選択肢が見えない状態で表示されるメニューです。
ページ内では影付きで表示され、プルダウンメニューを選ぶと、選択肢が一覧表示されます。

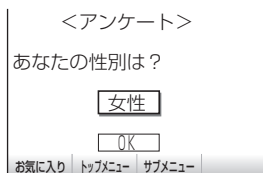
①ページ表示中に ◎ で、操作対象の選択をプルダウンメニュー（ 男性 ）に移動する

選ばれた枠が太線枠に変わります。

② （決定） を押す

選んだプルダウンメニューが一覧表示されます。
一度にすべての選択肢が表示されない場合があります。
その場合は、◎ で全選択肢を順に表示できます。

③ ◎ で項目を選ぶ

選んだ項目が反転表示されます。
項目を選ばずに一覧を閉じるには 戻る を押します。

④ （決定） を押す

選んだ項目が確定されます。

着信メロディーを取り込む（着信メロディーダウンロード）

サイトなどから着信メロディーを取り込む

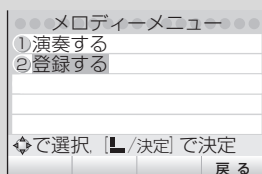
「Lモード」に接続して着信メロディーサービスを提供している情報サービス提供者から着信メロディーを取り込む（ダウンロードする）ことができます。
５曲までダウンロードできます。

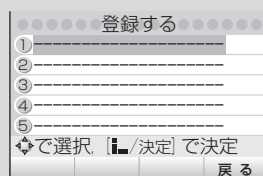
操作のしかた

1 着信メロディーが掲載されているサイトを表示する

2 着信メロディーをダウンロードする

●着信メロディーのダウンロード方法は各サイトで異なります。

3 ⬡で「登録する」を選ぶ

4 (決定) を押す

5 ⬡で保存する場所を選ぶ

●１～５に保存することができます。
１～５は「親機着信音選択」の7～1１になります。
すでに着信メロディーが保存されているときは、タイトルが表示されています。（最大全角10文字）

6 (決定) を押す

●すでに保存されている着信メロディーを選んだときは、上書き保存確認画面が表示されます。

■ **「Lモード」と通信中は**
ブラウザマーク（ ）が表示および「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **ダウンロードした着信メロディーを着信音に設定するには（☞1-33ページ）**

■ **サイトを表示するときは（☞5-60～5-61ページ）**

お知らせ

●「Ｌモード」と通信中は通信料金がかかります。
●「Ｌモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。

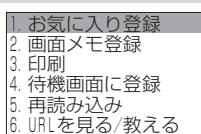
ページやサイトを登録して素早く表示する

ページやサイトをお気に入りに登録する

ページやサイトのアドレス（URL）を、短いタイトルをつけて登録しておくことができます。（お気に入り）
よく見るページを登録しておくと、お気に入りを選択するだけで簡単にそのページを表示できます。

操作のしかた

1 ページを表示中に サブメニュー を押す

2「お気に入り登録」を選ぶ

3 決定 を2回押す

●表示されていたページがお気に入りに登録されます。

■ **登録されているお気に入りを確認するときは**

① 待受画面を表示中に 決定 を押す
② 方向キーで「お気に入り一覧」を選ぶ
③ 決定 を押す
登録したお気に入り一覧が表示されます。

■ **登録されているお気に入りを削除するときは**

① お気に入りを確認する操作をする
② 方向キーで削除したいお気に入りを選ぶ
③ サブメニュー を押す
④ 方向キーで「一件削除」を選ぶ
⑤ 決定 を押す
⑥「はい」を選び、決定 を押す
お気に入りが削除され、お気に入り一覧画面になります。

■ **登録されているお気に入りをすべて削除するときは**

① お気に入りを確認する操作をする
② サブメニュー を押す
③ 方向キーで「全件削除」を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤「はい」を選び、決定 を押す
お気に入りがすべて削除されます。

■ **「これ以上登録できません」と表示されたときは**

すでに20件登録されています。新しく登録するときは不要なお気に入りを削除してください。

■ **お気に入りと画面メモ（☞5-75～5-76ページ）の違い**

お気に入りからページを表示するときは、「Lモード」を介して最新の内容を受信し、表示します。画面メモを表示するときは、通信は行われずに保存時の内容がそのまま表示されます。内容の更新が多いページは、お気に入りに登録すると常に最新の状態を表示できます。

お知らせ

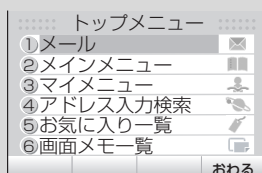
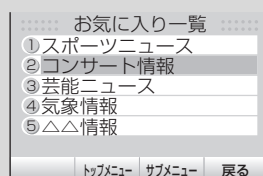
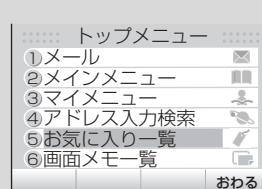
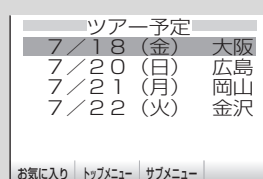
- お気に入りは最大20件まで登録することができます。
- お気に入りのタイトルは、全角8文字（半角16文字）まで登録できます。全角8文字を超えるタイトルの場合、9文字目からは登録されません。
- タイトルが無いページを登録したときは、そのページのURL（アドレス）が登録されます。
- 登録したお気に入りは停電があっても保存されています。

お気に入りからサイトを表示する

操作のしかた

1 （決定）を押す

2 （方向キー）で「お気に入り一覧」を選ぶ

3 （決定）を押す

●お気に入り一覧画面が表示されます。

4 （方向キー）で表示したいお気に入りを選ぶ

5 （決定）を押す

●「Ｌモード」に接続して、お気に入り登録されているページが表示されます。

■ **お気に入りのタイトルを編集するときは**
（☞5-68～5-69ページ）

■ **ページ表示中にお気に入りからサイトを表示するには**

① ページを表示中に（お気に入り）を押す

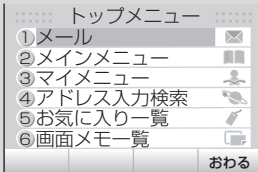
② （方向キー）で表示したいお気に入りを選んで、（決定）を押す。
お気に入り登録されているページが表示されます。

お知らせ

● お気に入り一覧画面で、タイトルの前の番号をダイヤルボタンで入力してサイトを表示させることができます。

お気に入りのタイトルを編集する

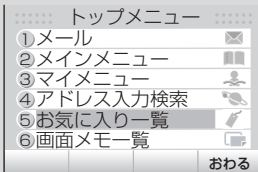
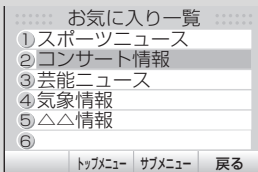
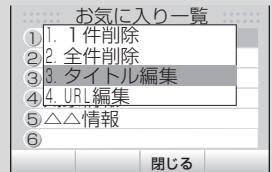
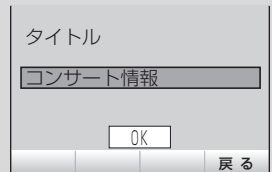
操作のしかた

1 （決定）**を押す**

2 （方向キー）**で「お気に入り一覧」を選ぶ**

3 （決定）**を押す**

●お気に入り一覧画面が表示されます。

4 （方向キー）**で編集したいお気に入りを選ぶ**

5 サブメニュー **を押す**

6「タイトル編集」を選ぶ

7 （決定）**を押す**

●タイトル編集画面が表示されます。

●タイトル名が表示されない場合があります。

次ページへ→

→つづき

8 （決定）**を押す**

●文字入力モードに切り替わります。

9 新しいタイトルを入力する

10 （決定）**を押し、**（方向キー）**で「OK」を選ぶ**

11 （決定）**を押して決定し、もう一度**（決定）**を押す**

●お気に入りの画面に戻ります。

■ **お気に入りのURL（アドレス）を編集するには**

登録されているお気に入りのURL（アドレス）を編集することができます。文字数は最大で、全角250文字（半角500文字）までです。

① 「お気に入りのタイトルを編集する」操作の手順５までを行う
② （方向キー）で「URL編集」を選ぶ
③ （決定）を押す
④ URLの入力欄が選択されている状態で（決定）を押す
URL編集画面が表示されます。
⑤ URLを編集する
文字の訂正や入力は5-9～5-11ページを参照してください。
⑥ （決定）を押す
⑦ （方向キー）を押して「OK」を選択する
⑧ （決定）を押す
⑨ もう一度（決定）を押す

■ **文字を入力するときは**
（☞5-9～5-11ページ）

お知らせ

● お気に入りのタイトルを編集した場合、登録できるのは全角８文字（半角16文字）までです。
● お気に入りのタイトルを編集しても登録されている順序は変更されません。
● フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
● 情報量が多いページは「ページサイズが大きすぎます」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
● GIF、JPEG形式以外の画像は表示できません。

マイメニューを使う

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。マイメニューは「Lモード」に登録されます。
マイメニューの登録については、別途NTTから提供される「Lモード使用説明書」もご覧ください。

操作のしかた

1 登録するサイトを表示する

2 でサイト内の「マイメニュー登録」を選ぶ

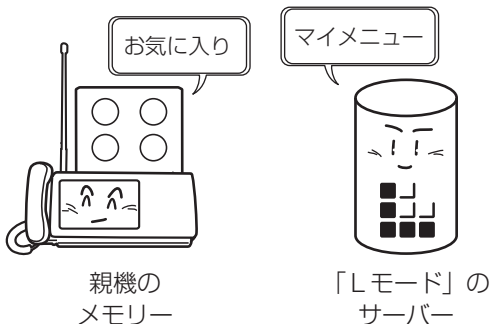
●サイトによりページ構成が異なります。該当する項目（契約や登録など）を選んでください。

3 **を押す**

●マイメニューにサイトが登録されます。

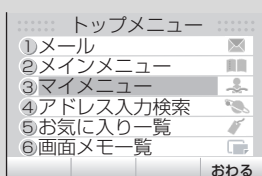
■ **サイトを表示するときは**
（☞5-60～5-61ページ）

■ **お気に入り（☞5-66～5-69ページ）とマイメニューの違い**

お気に入りとマイメニューは、URLのデータを登録する場所が異なります。
お気に入りのデータは、親機に登録されるのに対し、マイメニューは、「Lモード」に登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

操作のしかた

1 決定 を押し、 で「マイメニュー」を選ぶ

トップメニュー
1メール
2メインメニュー
3マイメニュー
4アドレス入力検索
5お気に入り一覧
6画面メモ一覧
おわる

2 決定 を押す

●サイトによりページ構成が異なります。該当する項目（契約や登録など）を選んでください。

3 で表示したいマイメニューを選ぶ

4 決定 を押す

●登録されているサイトが表示されます。

■ マイメニューの登録を解除するときは

登録したサイトを表示し、「マイメニュー解除」（解約や削除など、サイトにより異なります）を選びます。

■「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

キャッチ/消去 L回線断 を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

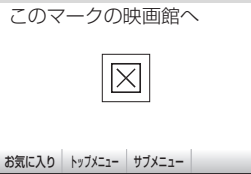
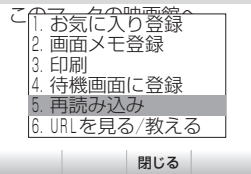
お知らせ

- ● 有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。
- ● マイメニューに登録できないサイトもあります。
- ● フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- ● 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- ● GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

ページを再読み込みする

表示中のページの内容を受信し直します。画像が正常に表示できなかったときや、ページの内容を最新のものに更新するときなどに行います。

操作のしかた

1 再読み込みするページが表示された状態で サブメニュー を押す

2 (方向キー) で「再読み込み」を選ぶ

3 (決定) を押す

●再読み込みした情報で、表示中のページが再表示されます。

■「Lモード」との接続を終了させるときは

(停止) を押します。

■「Lモード」と通信中は

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ 回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは

(キャッチ/消去 L回線断) を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、(キャッチ/消去 L回線断) を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

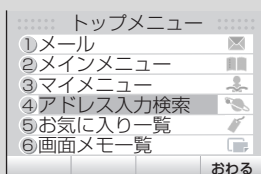
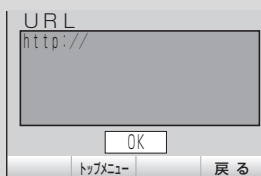
- ●「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- ● フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScriptなどを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- ● 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます。」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- ● GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

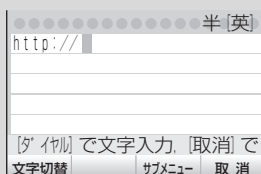
URLを入力してページを表示する

ページには「URL」と呼ぶアドレスが付いています。これを入力して、個人、団体、企業などが開設しているさまざまなページを表示できます。

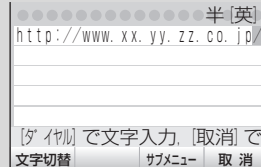
操作のしかた

1

（決定）を押し、
で「アドレス入力検索」を選ぶ

2 （決定）を押す

- ●URLの入力欄が太線の枠で青色に表示されていないときは、 でURLの入力欄を選んでください。
- ●２回目からは、前回入力したURLが表示されます。別のページを表示するには以下の手順で修正（変更）してください。

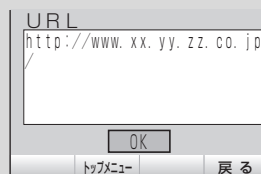
3 URLの入力欄が選ばれていることを確認して
（決定）を押す

- ●２回目からは、前回入力したURLが表示されます。

■ **文字を入力するときは**
（☞5-9〜5-11ページ）

4 URL（アドレス）を入力する

- ●入力するときは、大文字と小文字、全角と半角に注意してください。
- ●変更するときは、取消ボタンを押して不要な文字を消してから、入力しなおしてください。

5 （決定）を押す

6 を押して、「OK」を選ぶ

7 （決定）を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **URL（アドレス）に使用できる文字と文字数は**

URLに使用できる文字は、漢字、全角かな、全角カナ、全角英字、全角数字、半角カナ、半角英字、半角記号、半角数字、区点です。文字数は最大全角250文字（半角500文字）までです。

■ **表示しているページのURLを確認するには**

①ページを表示中に サブメニュー を押す

② で「URL を見る／教える」を選ぶ

③ 決定 を押す

■ **「Lモード」との接続を終了させるときは**

停止 を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

キャッチ/消去 L回線断 を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに キャッチ/消去 L回線断 を押すとページは表示されたまま回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

お知らせ

- 指定できるURLは１回に１つです。
- URL を入力したあと回線接続中に操作を中止するときは、「接続中」または「取得中」と画面表示されている間にL/決定ボタンを押してください。
- 操作のしかた の手順３のあと、入力欄には「http://」が自動的に入力されています。
- 入力する URL の先頭には必ず「http://」または「https://」を付けてください。「http://」または「https://」がないとページに接続できません。
- 「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。
- フレーム（画面分割機能）、Java、JavaScript などを含んだページは正しく表示できない場合があります。
- 情報量の多いページは「ページサイズが大きすぎます」と表示され、表示可能なサイズ分の情報のみ表示されます。
- GIF、JPEG形式以外の画像は表示されません。

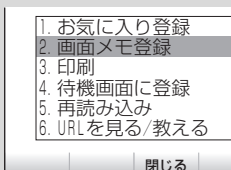
サイトのページを保存する（画面メモ）

表示中のサイト（番組）のページを「画面メモ」として保存することができます。保存した画面メモは「Lモード」と接続せずにいつでも表示できますので、たとえば、料理のレシピや乗換案内など、一度表示した画面をあとから利用したいときに便利です。

画面メモを保存する

操作のしかた

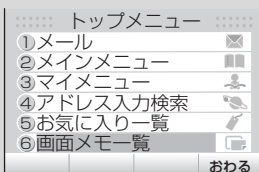
1 ページを表示中に サブメニュー を押す

2 ◎ で「画面メモ登録」を選ぶ

3 決定 を押す

●すでに画面メモが30件登録されているときは、「これ以上登録できません」と表示され新しく画面メモを保存できません。

画面メモを表示する

操作のしかた

1 待受画面を表示中に 決定 を押し、◎ で「画面メモ一覧」を選ぶ

2 決定 を押し、◎ で表示したい画面メモを選ぶ

画面メモ一覧
1今日のメニュー
2乗換案内
3天気予報
お気に入り　トップメニュー　サブメニュー

●保存されている画面メモが一覧表示されます。画面メモが保存されていないときは、「画面メモはありません」と表示されます。

3 決定 を押す

4 画面メモを見る

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

画面メモを削除する

操作のしかた

1 削除したい画面メモを表示する

2 サブメニュー を押す

3「削除」を選ぶ

4 （決定）を押す

5 で「はい」を選ぶ

●削除をやめるときは「いいえ」を選んでください。

6 （決定）を押す

●画面メモを削除すると、画面メモ一覧が表示されます。
残り１件の画面メモを削除したときは「登録されていません」と表示されます。

■ **画面メモを表示するときは**
（☞5-75ページ）

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **画面メモに保存している画像を待受画面として使用するときは（☞5-77～5-78ページ）**

お知らせ

● 画面メモは30件まで保存できます。ただしページの情報量によっては保存できる件数が少なくなることがあります。
● リンク先のあるページも画面メモに保存することができます。画面メモからリンク先を選択すると、「Ｌモード」に接続され、リンク先のページが表示されます。
● 画像表示（☞5-22ページ）を「表示しない」に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。（その後画像表示設定を「表示する」にしてから画面メモを表示させても、画像は表示されません。）
● 画面メモ内からも、PHONE TO･MAIL TO･FAX TO・WEB TO機能が使えます。（☞5-84～5-85ページ）

画面メモを親機の待受画面に使用する

画面メモ（☞5-75～5-76ページ）に保存している画像や、サイト内の画像を待受画面（待機画面）として使用することができます。

操作のしかた

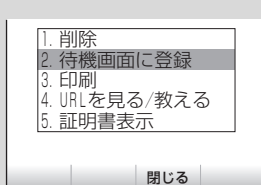
1 **待受画面を表示中に（決定）を押し、（十字キー）で「画面メモ一覧」を選ぶ**

2 **（決定）を押し、（十字キー）で表示したい画面メモを選ぶ**

●保存されている画面メモが一覧表示されます。画面メモが保存されていないときは、「画面メモはありません」と表示されます。

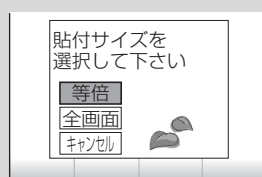
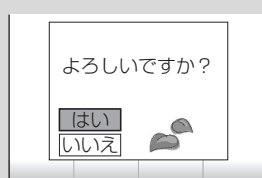
3 **（決定）を押す**

4 **サブメニュー を押す**

5 **（十字キー）で「待機画面に登録」を選ぶ**

6 **（決定）を押し、画像を選択する**

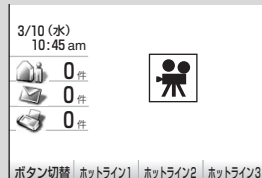
●選択されている画像データが枠で囲まれます。

●他の画像を選択するときは、（十字キー）で枠を移動させます。

7 **（決定）を押し、（十字キー）で貼り付けサイズを選択する**

8 **（決定）を押し、「はい」を選ぶ**

9 **（決定）を押す**

●登録に少し時間がかかることがあります。画面下側のソフトボタンが表示されたら、手順10に進みます。

10 **（停止）を押す**

11 **待受画面の設定を「ダウンロード画像」にする**

●「からくり時計」「内蔵アニメーション」「カレンダー」「お気に入り画像」に設定されていると、選択した画像が表示されません。

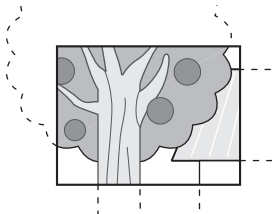
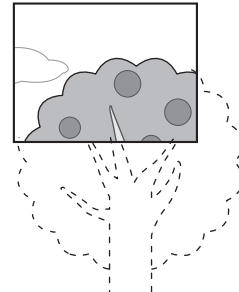
■ **待受画面を変えるときは**
（☞4-36ページ）

■ **待受画面の表示のされかた（表示形式）**

●等倍表示
画像サイズが待受画面より小さいとき

画像サイズが待受画面より大きいとき

（中央より待受画面に入る
部分まで表示）

●全画面表示
画像サイズが待受画面より小さいとき

画像サイズが待受画面より大きいとき

（左上から待受画面に入る
部分まで表示）

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **サイト内の画像を親機の待受画面に使用するときは**

① 使用したい画像のあるサイトを表示する
（☞5-60ページ）

② サブメニュー を押す

③ で「待機画面に登録」を選ぶ

④ 操作のしかた の手順6～11の操作をする

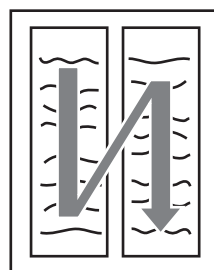
お知らせ

● 選択した画像が１画面を超える場合は、表示不可能な部分が削除されます。

● 操作のしかた の手順８で L/ 決定ボタンを押したあとに、着信があったり受話器を上げたりした場合、待受画面に登録できない場合があります。また、すでに保存されていた画像が消えてしまうことがあります。

画面に表示したページをプリントする

メールの内容や、サイトのページを記録紙に印刷することができます。(ページプリント)

● 長いページ(コンテンツ)をプリントするときは、左右に並べてプリントするため経済的です。(メールは左右に並べてプリントできません)

操作のしかた

1 印刷したいメールの内容やページを表示する

●L回線断ボタンを押すと、表示しているページはそのままで回線を切断することができます。続けて手順2から操作してください。
●印刷したいページを表示させたあと、コピー/印刷ボタンを押しても印刷することができます。

2 サブメニューを押し、で「印刷」を選ぶ

3 (決定)を押す

4 で「はい」を選ぶ

●印刷をしないときは、「いいえ」を選びます。

5 (決定)を押す

●印刷が始まります。

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **記録紙がつまったときは(☞7-7ページ)**

お知らせ

● ページを記録紙に印刷するときは、あらかじめ親機に記録紙をセットしておいてください。
● プリント中は、子機の使用はできません。

サイトからダウンロードしたデータをプリントする（コンテンツ印刷）

サイトからダウンロードした印刷用データを、記録紙にプリントすることができます。（コンテンツ印刷）Lモードサイトの内容をプリントするページプリント（☞5-79ページ）とは異なり、コンテンツ印刷では、ダウンロードした印刷専用データをプリントします。

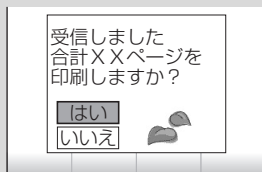
操作のしかた

あらかじめ記録紙をセットしておいてください。

1 印刷用データを提供しているサイトを表示する

2 サイトから印刷用データをダウンロードする

●ダウンロードの方法はサイトによって異なります。各サイトの案内にしたがって操作してください。

3 「はい」を選ぶ

●印刷をしないときは、「いいえ」を選んでL/決定ボタンを押します。

4 [L/決定]を押し、「はい」を選ぶ

●「いいえ」を選んでL/決定ボタンを押すと、回線を切断せずに印刷します。

5 [L/決定]を押す

●ダウンロードした印刷用データがプリントされます。

●「無通信監視タイマー」の設定時間がたつと自動的に回線を切断します。

■ **途中でやめるときは**

[停止]を押します。

■ **印刷中に記録紙がつまったときは**

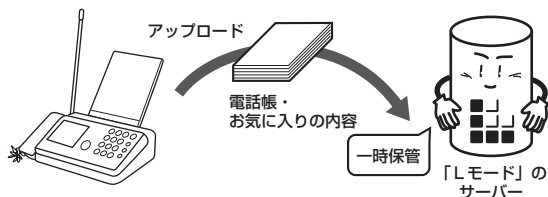
印刷中のデータは消去されます。

つまった記録紙を取り除いてから（☞7-7ページ）、再度プリントしてください。

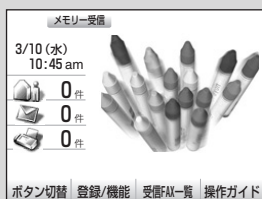
お知らせ

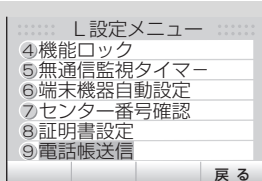
- コンテンツ印刷用にダウンロードしたデータは、画面に表示されません。
- ダウンロードしたデータに異常があると、正しくプリントできないことがあります。
- ダウンロードしたデータのサイズによっては、印刷に数分程度かかることがあります。
- コンテンツ印刷をするときは、あらかじめ親機に記録紙をセットしておいてください。
- プリント中は、子機の使用はできません。
- サイト内のファクス番号にダイヤルし、ファクスを受信するFAX TO機能（ファクス受信の通信料金が別途必要　☞5-85ページ）とは異なり、Lモードの通信料金のみでご利用いただけます。
- JPEG形式の画像データのみ、本体メモリーの「ダウンロード　コピー不可」フォルダへ保存することができます。SDメモリーカードへは保存できません

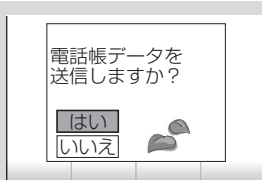
電話帳やお気に入りデータをアップロード（送信）する

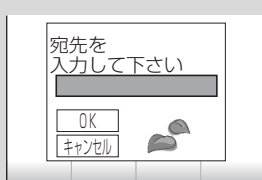
親機に登録されている電話帳やお気に入りの内容を「Lモード」に送信して一時保管することができます。（データアップロード）「Lモード」用端末の買い換えや修理のときに便利です。買い換えや修理後に一時保管したデータをダウンロード（☞5-82ページ）すると引き続き電話帳やお気に入りの登録内容をご利用になれます。

操作のしかた

（例）電話帳データをアップロードする場合

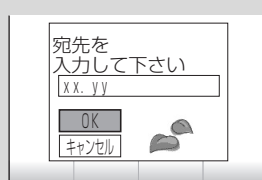
1 **を押す**

2 登録/機能 **を押し、** **で「L設定」を選ぶ**

3 決定 **を押し、** **で「電話帳送信」を選ぶ**

●お気に入りデータをアップロードするとき で「お気に入り送信」を選択してください。

4 決定 **を押し、** **で「はい」を選ぶ**

●L/決定ボタンを押したあと、「データがありません」と表示されるときは、アップロードしようとした電話帳またはお気に入りデータが登録されていません。

5 決定 **を押す**

6 送信先メールアドレス（お客様の「Lモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力欄が選択されていることを確認する
②L/決定ボタンを押す
③お客様の「Lモード」のメールアドレスを入力する。（メールアドレスは“@”より前の部分のみ入力しても送信できます）
●送信先メールアドレス（お客様の「Lモード」のアドレス）は、間違わないように入力してください。
お客様以外の方へ送信されることがあります。

7 入力が終わったら 決定 **を押し、** **で「OK」を選ぶ**

8 決定 **を押す**

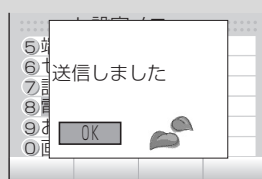
9「Lモード」に接続され、データがアップロードされる

●L/決定ボタンを押すとL設定メニューに戻ります。

■ **途中でやめるときは**

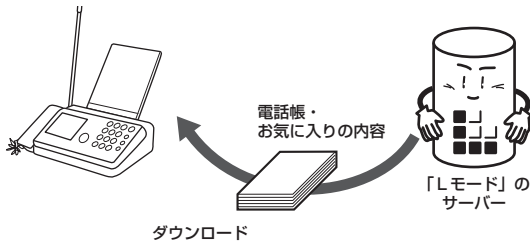
停止 を押します。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

●「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。
●アップロードしたデータを自動受信でダウンロードすると、データが消去されますのでご注意ください。データをアップロードする場合は、必ずメール自動受信をしない設定にしてください。（☞5-37～5-39ページ）

電話帳やお気に入りデータをダウンロード（受信）する

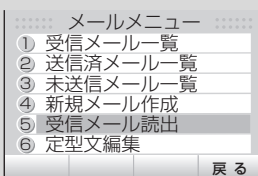
「Lモード」に保存している電話帳や
お気に入りデータを、メールを受信する操作を行って
親機にダウンロードします。

**データをダウンロードするときは、必ず手動受信（☞5-40ページ）でダウンロードしてください。自動受信でダウンロードすると、「Lモード」にアップロードしたデータが消去されます。（親機に登録されているデータは消去されません。）
アップロードする場合は、メール自動受信をしない設定にしてください。**

操作のしかた

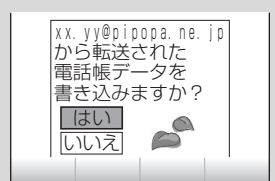
（例）電話帳データをダウンロードする場合

1 メール を押す

- メールメニューが表示されます。
- センターにメールが届いているときは、「センターにメールが届いています。…」と表示され、メール が点灯しています。このときは、メール を押して受信メール読出を行うことができます。
- 次の方法でもメールメニューが表示できます。L/決定ボタンを押す→「メール」を選んでL/決定ボタンを押す
- 未読メールがある場合は受信メール一覧が表示されますので、メール受信 を押して手順4へ進んでください。

2 で「受信メール読出」を選ぶ

3 L/決定 を押す

- 「接続に失敗しました」と表示したときは、L/決定ボタンを押すと受信メール一覧が表示されます。このときは、ダウンロードは行われません。

4 「はい」を選んで L/決定 を押す

- 「いいえ」を選んでL/決定ボタンを押すと、データの削除確認画面が表示され、受信したデータを削除することができます。

5 L/決定 を押し、コピー元のアドレス（お客様の「Lモード」のメールアドレス）を入力する

①アドレス入力欄が選択されていることを確認する
②L/決定ボタンを押す
③お客様の「Lモード」のメールアドレスを入力する

- アドレスは“@”より前の部分のみ入力しても受信できます。

6 入力が終わったら L/決定 を押し、 で「OK」を選ぶ

次ページへ→

→つづき

7 決定 **を押す**

●自動的にデータをダウンロードします。ダウンロードは、**1回のみ**です。ダウンロードをした後「Lモード」に保存していたデータは自動的に削除されます。

8 「メールを受信しました センターとの回線を切断しますか？」と表示されたら、決定 を押す

●受信メール一覧に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

9 停止 **を押す**

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

お知らせ

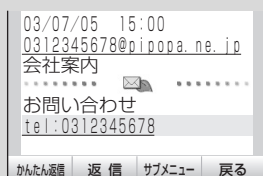
● 登録されている電話帳やお気に入りがあった場合、ダウンロードしたデータは追加されます。ただし、電話帳やお気に入りが一杯でダウンロードしたデータが追加できない場合、ダウンロードしたデータは追加されずに、削除されます。

●「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。

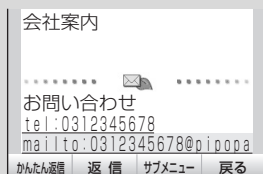
PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能を使う

◆ PHONE TO：メールやサイト、画面メモ内にある、電話番号に簡単に電話をかけることができます。
◆ MAIL TO：　メールやサイト、画面メモ内にある、メールアドレスにメールを送ることができます。
◆ FAX TO：　メールやサイト、画面メモ内にある、FAX 番号に接続しファクスを受信することができます。
◆ WEB TO：　メールやサイト、画面メモ内にある、URL（アドレス）に接続しページを表示することができます。

PHONE TO・MAIL TO・FAX TO・WEB TO機能が使えるのは、カーソルを移動したときに青色に反転する電話（ファクス）番号やURL（アドレス）などです。

PHONE TO機能を使う

受信メールやサイト内にある電話番号（青色に反転しているもの）に電話がかけられます。

- **で電話番号を選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。**
- **電話番号を確認してから操作してください。**自動的に電話番号にダイヤルします。
- 相手の方が出たら受話器を取ってお話しします。
- 通話が終わったら受話器を戻します。

MAIL TO機能を使う

受信メールやサイト内にあるメールアドレス（青色に反転しているものなど）あてのメールを作成できます。

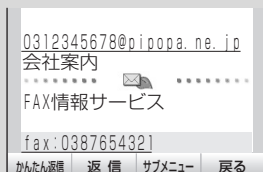
- **でメールアドレスを選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。**
- 「メールが満杯です　未送信・送信済メールを削除して下さい」と表示されたときは、未送信メールと送信済メールが合わせて５０件保存されていて、新しくメールを作成することができません。L/決定ボタンを押したあと不要な未送信メールまたは送信済メールを削除してからもう一度操作をやり直してください。
- メール作成画面が表示されたときは、メールアドレスがすでに入力された状態になっています。
- メールアドレス（宛先）を確認してから送信してください。

■ メールを作って送信するときは
（☞5-27～5-31ページ）

■ メールを削除するときは**（☞5-56ページ）**

お知らせ

- サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合PHONE TO・MAIL TO機能は使えないことがあります。
- 発信後の通話には通話料金がかかります。
- PHONE　TO機能による発信とメッセージ到着通知等の着信が同時に行われた場合、正しく動作しないことがあります。
- PHONE　TO機能で電話をかけたときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

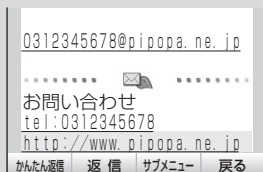
FAX TO機能を使う

受信メールやサイト内にあるファクス番号（青色に反転しているもの）に接続し、ファクスを受信できます。

●**でファクス番号を選び、L/決定ボタンを押したあと、画面のメッセージに従って操作します。**

●**ファクス番号を確認してから操作してください。**自動的にファクス番号にダイヤルします。

●ファクス受信時は原稿をセットしていない状態で操作してください。

●ファクス受信確認画面（[FAXスタート] を押します）が表示されます。相手先につながってからFAXスタートボタンを押すと、ファクスを受信します。受信が終わると待受画面が表示されます。

WEB TO機能を使う

受信メールやサイト内にあるURL（アドレス）を、で選び、決定を押すと、ページが表示されます。

■ **途中でやめるときは**

停止を押します。

■ **1つ前の画面に戻るときは（☞5-61ページ）**

が表示されているときに、を押してください。ただし、受信メールを表示しているときにを押した場合は、１つ後に受信したメールが表示されます。

■ **回線を切断して表示しているページ内容を見たいときは**

キャッチ/消去 L回線断を押します。

回線を接続した状態でページを表示しているときに、キャッチ/消去 L回線断を押すとページは表示されたままで回線を切断します。

表示しているページを通信料金をかけずに見ることができます。

■ **「Lモード」と通信中は**

ブラウザマーク（ ）が表示および、「Lモード接続中」ランプが点灯している間は、電話やファクスは使えません。

■ **表示したページを記録紙にプリントするには（☞5-79ページ）**

お知らせ

● サイトやメールによっては反転表示されない場合があります。この場合、FAX TO・WEB TO機能は使えません。

● 発信後のファクス受信には通信料金がかかります。

● FAX TO機能による発信とメッセージ到着通知等の着信が同時に行われた場合、正しく動作しないことがあります。

● FAX TO機能でファクスを送信したときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

● 情報検索サービスのご利用後は、回線が切断されているか確認してください。

●「Lモード」と通信中は通信料金がかかります。

●「Lモード」対応のページ以外は正しく表示されない場合があります。